

# 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

## 第2回（議事録）

日時：平成27年10月2日（金） 13:30～15:50

会場 市役所東館4階 第1委員会室

### 0. 開会

#### （司会）

- ・ ホシザキ電機の坪井委員は欠席。愛知県政策企画局の飯田課長に代わり松井様、学校法人藤田学園の星長様に代わり都築様にご出席をいただいている。
- ・ 資料確認

### 1. 挨拶

#### （委員長）

- ・ 前回、皆さんに自由に豊明市についての考えをお伺いしたところ、豊明は条件的に恵まれており、色んな可能性があるという話であった。ただ、のんびりしているようなところがあるということだったので、これから徐々に変えていくことになると思う。
- ・ 前回、皆さんから30近くの色々なアイデアを出していただいた後、市民の皆さんへのアンケートや、ヒアリングを行った。市民の方がどんな考えを持ち、提案をしていかれるのかについて、把握していきたいと思っている。
- ・ それらを踏まえ、本日は戦略として、骨組みや具体的なものまで検討することを目的としている。活発なご意見をお願いしたい。

#### （市長）

- ・ 大変お忙しい中、豊明市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定のために、ご協力いただき感謝申し上げます。
- ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略は、既に、少子・超高齢化に直面しており、人口問題が喫緊の課題になっている本市として、皆様のご協力がなければ、市役所だけでは解決できないという思いがあり、この策定委員会が設けられている。
- ・ 委員会は本日が2回目だが、1回目と2回目の間に、皆様からのアイデア、ご提案をいただき、その他、アンケートやヒアリング等についても、皆さんに快くご協力いただきました。
- ・ 市役所の内部でも色々な形で、具体的な施策について検討を進めているが、それらの施策についても、皆さんのご協力がないと実のあるものにならない。引き続き、活発なご意見をお願いしたい。

### 2. 議題

#### （1）アイデア提案について（資料①）

##### （小串課長）

- ・ 6/30 委員会終了後、皆様より29の事業アイデア提案をいただいた。
- ・ 駅前、観光・ブランディング、住宅地についての提案を多くいただき、本市の地方創生

事業におけるポイントになっていくと考えている。

- ・うち、分野においては、活性化、子育て、高齢者の提案が多く、本市の課題が見てとれる。
- ・事業提案をお願いした背景としては、地方創生先行事業の上乗せ交付金（全国で300億円規模）があり、市町村は、2事業まで3000～5000万円が交付されるということで、この交付金を得て、本市の先行事業を実施したいと考えていたが、申請を行うにはいたらなかった。
- ・対象事業となる条件のハードルが高く、人材育成・確保、地域のブランド化に事業が絞られていること、事業の先駆性などの条件を満たす事業が用意できなかったことが原因である。
- ・No.26（一部No.25の内容も含む）の、UR豊明団地を取り巻く環境の中において、外国人を除くと、30%を越えた高齢化率となっており、本市の課題と捉えている。今回、創生事業として、藤田保健衛生大学病院とUR都市機構の連携による、高齢者の自立に関する事業の提案ということで、最後まで模索したが、年度内の事業終了が厳しく、申請日の最終日に断念をした。
- ・ここでいただいた事業提案は、次年度以降の創生事業の交付金に向け、しっかりと準備をしていきたい。

#### （委員長）

- ・29というアイデアをいただいた。委員が15名なので、1人2つずつは、アイデアを考えていただいたことになる。残念ながら、交付金の上乗せには至らなかったが、これについて、ご意見・ご質問等あればお願いしたい。
- ・No.26がとても有望だということである。

#### （岩田委員）

・前日も、URの話は出ていた。今、お話があったように、今回の上乗せは、アイデアがあっても、半年でやらなければいけないというタイトなスケジュールなので、そういった理由で断念されるところもあると聞いている。再度、リバイスをして、次回に向けて出していければいいと思う。

#### （委員長）

- ・またアドバイスをお願いしたい。
- ・今回出された意見は、豊明のことについて把握した、今後の構想を示す上では、それぞれをやれば、豊明市は本当によくなるだろうと期待させるものだと思う。また、なんらかの形で、活かしていただきたい。

## （2）アンケート結果等について（資料②、資料③-1～3、資料④-1～5）

#### （委員長）

- ・前回、我々が話し合った豊明市に関する感想あるいは課題、今回出てきているアイデア集と、とてもよく似ていると思う。皆、よく豊明市の状況を捉えているのではないか。
- ・若い人は、これからの豊明がどうあるべきか、素直に感じていると思う。社会のこれか

らの動きについても、柔軟に考えられておりとてもいい意見がある。

- ・「バランスがいい町」という高校生からの意見があるが、確かに、豊明を示す言葉として、ふさわしい。これを、特徴あるものにしていくことが重要である。

(安藤委員)

- ・転出者アンケート P9 の再居留意向について、「良い生活環境があれば」という答えが多いが、このニュアンスはどういったイメージか？生活環境が悪いから、戻ってこないという意味ではないと思うのだが。

(MURC 永柳)

- ・選択肢として、職場、住宅、子育て、生活環境、交通、医療等あるが、生活環境でイメージされるものは、買い物の場、日常的に子供を遊ばせる場等ではないかと思う。

(安藤委員)

- ・日常の買い物がしづらいという理解でいいか？

(事務局)

- ・P4 に、本市から転出した具体的な理由があるが、こういった理由により、豊明を離れたということである。この中には、この理由により、離れざるを得なかったという方がそこそこいて、そういった方が、P9 の再居留意向の回答で、条件が合えばという回答になっているとみている。
- ・もちろん、買い物や交通の便等も影響しているとみている。

(委員長)

- ・転出者アンケート P9 はとても重要なことだと思う。転出したが、条件が合えば住みたいと回答した方が、半分以上いるので、豊明市は支持されているといえる。しかし、実際は、流出している状況にあるので、内訳にあるような、職場、住宅、生活環境を改善していけば、十分、豊明市に住み続けることができ、または、戻って来ると考えていいと思う。
- ・転出者アンケート P4 について注目すべきなのは「親族に近い場所に住みたかった」という回答が多いことである。親の近くに住まざるを得ない事情で出て行かれる方もおり、これについては、引き戻すことは困難であると考ええる。
- ・これを除くと、豊明市は随分住む場所として、評価される場所であると考えられる。職場、住宅、環境を改善していけば、もっと人は増えると考えていいのではないか。また、医療については、もっと宣伝していく必要がある。
- ・この調査を見ると、企業の育児環境については、もっと制度整備をされてもいいと思う。

(安藤委員)

- ・転出者アンケート P4 だが、「豊明市に希望する価格の土地や住宅が見つからなかった」という回答が 31.1%と一番多いが、このニュアンスとしては高いという意味でのミスマッチという理解で良いか。

#### (事務局)

- ・このアンケート以外に、転出の年齢層を確認しているが、30代後半～40代の段階で、住居取得により転出されているケースが多い。子どもが小学校にあがるタイミングで、子供が部屋を持ちたいという理由で、住宅購入し、そのきっかけをタイミングとして出て行かれていると分析している。
- ・価格も否定はできないが、圧倒的に住宅そのものが不足していると考えており、今後、その点においての施策を進めていきたい。

#### (委員長)

- ・この調査の中では、持ち家かマンションかは触れていないが、住宅取得のタイミングで転出しているという分析であった。
- ・企業が社宅を減らしている状況も影響しているのではないか。
- ・持ち家の政策は考えなければならないが、持ち家を量としてどう確保していくか。新しく区画整理をして宅地を生み出すのか、空き家を活用して回転させていき、住宅の戸数を確保していくのか、そういったことも検討すべき重要な問題であると考えている。

#### (行政経営部長)

- ・ご指摘のとおり、豊明市には空き家が多いが、住宅取得年齢である30代後半～40代前半の方々のニーズにあうような広い空き家が少ない。
- ・賃貸住宅でも、10年を超すと借り手が見つからなくなり、出ていってしまうという現象が起きており、家主は、回転率のいい、学生用の小さなアパートをたくさん建てる方が多い。
- ・一方、子供が大きくなって、一戸建や4LDKくらいの広さを持った住宅を探そうと思うと、借家ではない。じゃあ、分譲でというと、供給がされていないということが、様々なアンケートやヒアリング調査で分かってきたことである。

#### (委員長)

- ・今のご指摘は、前回、話にあった社会減という形で、豊明市以外に出て行っている状況を表している。
- ・一方、周辺自治体を見ると、大府や刈谷は社会増となっている。これは、おそらく、住宅供給を行っていることが背景としてあると思う。しかし、郊外に新しい持ち家を建てても、いずれ高齢化が進んだときに、郊外に高齢者が住めるのか、また、戸数自体も減少していくので、郊外にもまた空き家が出てくるという問題が出てくるだろう。そういったことを考えると、どう判断するかが、自治体にとっての大きな決断だろうと思う。

#### (近藤委員)

- ・今の話のように、宅地を造成して住宅供給をしたり、企業から進出用地や駐車場などが欲しいという要望が出てきたとしても、豊明市はどの程度それに応えられるのか？制度等はあるのか？
- ・駅の近くの便利がいいから開発された場所に、空き家が増えているので、そこを上手く

循環させ、新しい住宅地に再生する方法はあるのか？

**(経済建設部長)**

- ・空き家の話については、不動産業者等の意見も聞きながら施策を考えていきたいと思っている。空き家バンクまではできないので、そのあたりは、民間の力を借りて実施したい。
- ・企業の進出用地要望についてだが、企業でも色々な業種があり、当然、市街化区域の中は土地の値段が高いので、調整区域の中に進出したいという話になる。ただ、調整区域は農業振興との兼ね合いがあり、難しい。
- ・現在、都市マスタープランを策定中であり、その中で、有る程度、一定の区域を決めながら、産業系と住居系と地域を絞って、調整区域内でやれる方向を検討していきたい。

**(委員長)**

- ・重要な事項として慎重に検討中だということである。
- ・開発は、環境破壊にもつながるので量的にも制約されるし、内容等も踏まえながら、慎重に検討していかなければならない。
- ・重要な問題であるので、また、委員会でも検討していきたい。

**(鈴木委員)**

- ・ホシザキ電機で組合の役員をやっているが、組合員は500人いる。そのうち、豊明市在住者が108人、緑区110人である。20年前は、豊明市が120人、緑区が80人であった。今、急成長しているのは東郷町で、20年前は10人弱であったが、現在は、40人程度に増えている。
- ・先ほどから、豊明は交通の便が悪いからという意見がいくつかあったが、東郷町の方が交通の便は悪いと思う。公共交通機関として、電車は走っておらず、バスしかない。その中で、東郷町が伸びているのは、絶対数の問題だと思う。豊明に近いところが新興住宅街になっており、新しいで若者向けの住宅が開発されているという印象がある。一概に、交通の便が悪いから住みにくいとはいえないのではないかな。もう少し、違うところに原因があると思う。

**(委員長)**

- ・供給の量や土地の価格については重要な問題であり、都市の形態としても重要な事項なので、他の都市の状況とも比較しながら、慎重に検討していきたい。
- ・新規供給に加え、空き家対策・活用について、URのリノベーションも含め、市として検討していただきたい。

**(3) 人口ビジョン骨子案、総合戦略骨子案について (資料⑤、資料⑥)**

**(委員長)**

- ・基本的には、人口を増やしていくためには何が必要かということである。

**(鈴木委員)**

- ・人口ビジョン骨子案について、地域構造の強みに「通勤環境に恵まれている」と書いてあるが、アンケート結果では「交通関係がよくなれば」という問題が出ており、乖離がある。アンケートの回答者どちらが思っている考えが違うのではないかな？
- ・強みの部分は、名鉄電車が走っているとか、高速道路が近いというところがあると思うのだが、実際に、アンケートを答えた人は、そうは思わないという乖離はどこにあるのかな？

#### (MURC 永柳)

- ・アンケートでは、交通環境と一括りになっているが、ヒアリングを通じて私どもが理解しているのは、市外からの通勤環境は良いが、駅からの交通条件が悪く、市内企業と駅との通勤環境が悪いという内容であった。
- ・交通環境が良い悪いというのは、事業所の立地場所、通勤ルートによって意見が違う。
- ・ここでは、名古屋市、西三河のアクセスの関係で書いており、周辺市町との関係では、通勤環境は恵まれているが、駅から工場・事業所までは、交通環境が悪いということが課題してあるだろうということで、課題の部分に記載する必要があると思う。

#### (竹内委員)

- ・人口ビジョン骨子案について、自然増減の課題の中に、ファミリー層転出があり、これは住宅取得が契機となっているということだったが、あえて、自然増減の中の課題に入れているのは、ファミリー層の人口が少なくなることで、出生数も少なくなるというような関係で書いてあるという理解でよいか？
- ・また、後期高齢者の増加が見込まれ、超高齢社会が到来するということが、その結果、死亡する方が増えるので人口が減るという理解でよいか？
- ・長期的には、推計上はそういった係数が左右するということがあると思うが、意味合いとして分かりにくい。
- ・また、社会増減のところ、「※5階建、エレベーターのない豊明団地は、若いファミリー層の受け皿になりにくい」と書かれているが、これは、必ずしも、若いファミリー層がエレベーターがない家には住まないということにならないのではないかな。少なくとも、我々はそういった認識は持っていないので、指摘としていかなものかな。
- ・バリアフリー化されていないということで、高齢者の方の新たな住まいとしてはネックになるケースがあると思うが、必ずしも若い人はそうではない。ただ、小さいお子さんのいらっしゃる方は、ベビーカーや荷物を持って階段を上がるのが大変というのは、あるかと思う。しかし、それが、入居が少ない原因だとは思っていない。
- ・ハード的な制約がある中で、住宅の利便性、家賃の減額措置等により、比較的入居が順調で、愛知県の中でも極めて稼働率が高いと感じている。

#### (MURC 永柳)

- ・統計的に調べているわけではないので、今の様な実態であれば、訂正をさせていただくが、高校生ヒアリングの際に、エレベーターの無い5階の団地はどうかと聞くと、ちょっとおしゃれ感がないとか、子供が生まれた時に、5階までベビーカーや買い物袋をしょっていくのは大変だという意見が出た。弊社の若手の職員にも聞いたが、ベビーカー

を持って5階は勘弁してほしいという話がかかなり出たので、本当に、5階が若者の層としていいかどうかと思っており、※として記載した。

**(星長委員代理(都築氏))**

- ・実際に、豊明団地の5階に住んでいる。ベビーカーや重い荷物は厳しいし、高齢者は特に買い物が困難で、50～60歳になってそろそろ低層に代わりたい、要支援・要介護になると、施設に入るかどうか、上層階で悩んでいる方は多くいる。
- ・ただ、若い人が4～5階に住んでいないかというところではない。何と比較するかだと思う。
- ・外国人の方も多くいて、入居率95%は県内のURの中でも高く優秀な団地であると言える。それだけ人気があるのは、4～5階であっても家賃が安く、階段を上っていく苦労はあっても、それに対する対価として自分達の生活の条件を満たすだけの価値があるので、これだけの方が入居されていると思う。
- ・今、自宅(実家)に住んでいる高校生たちが、5階まで子供を抱きながら上がって下がってを想像すると苦しいのかもしれないが、実態を見てみて、ここに課題としてあげるのはいかがでしょうか？
- ・当大学の学生もここに住んでおり、一緒に会議をやったのだが、来年以降も住みたいかと聞くと、全員が住みたいと言う。大学に近いという理由もあるが、階段を苦にする学生は1人もいなかった。それは何に価値を置いているかということであり、逆に、階段を上がることで住民とあいさつできたり、見える関係がそこにあるということも言える。1人暮らしでアパートに住んでおり、隣近所が全く分からないよりも、団地の方がいいという子もおり、親御さんも安心だと言う意見もあるので、そこは捉え方の問題ではないか。

**(委員長)**

- ・既存住宅の住みよさも評価されているので、※として書かれていることは、具体的かつ主観的すぎる印象を受ける。
- ・上の項目は、新規住宅の供給が課題となっているので、ここの部分はストックのことをあげられたらどうか？ UR や駅に近い空き家など、良好な住宅ストックを、リノベーションでいい住宅にしていくという内容に変えられたらどうか？

**(星長委員代理(都築氏))**

- ・前回の提案時に、市内の空き家を調べたが、県内の空き家の平均が10%で、市内の平均は9.5%であった。市内に世帯数が28,000あって、住宅もおおよそ28,000ある。戸建の空き家が2,600、賃貸の空き家が1,500で、合わせると4,000くらいの空き家がある。
- ・豊明市は県内の平均に比べ、空き家が多すぎるかというところ、そうでもない。しかし、今後、世帯の構成が変わり、単身独居の老人が増えると、必ずしも新規開拓し、住宅供給だけをすればいいわけではなく、独居の方が、独居のまま住み続けるような場所を提供することも必要である。そういった意味で、団地をどう捉えるかも重要であると考えている。

**(委員長)**

- ・団地の良さは住宅だけではなく、共用の施設や共有の場所が作れるのが良さだと思う。共用の場所を作る事により、地域に貢献していくことができる。そういう意味では、とても大きな財産であろう。リノベーションすることにより、ずっと使い続けていかなければいけないだろうと思う。URにも頑張ってもらいたい。先進的に豊明で、他の自治体に誇れるような、いい住宅づくりを行っていただきたい。それがポイントになるだろうと思う。

**(酒井委員)**

- ・駅周辺に戸建マンションが結構建っているのだが、その売れ行き具合は市の方では分からないか？名古屋市内に比べるとお値打ちで、設備も結構いい感じである。それが、どのぐらいの率で回って行くのかが知りたいが、やはり、業者でないかと分からないか？

**(経済建設部長)**

- ・実態は分からない。建物を建てる際には、都市計画課の方には色々な相談があり、開発行為に関する指導要綱に基づいて指導はしている。
- ・ただ、建てる際に、モデルルームを作るが、前後駅周辺は、モデルルームの段階から完売というような状況もあると聞いている。

**(酒井委員)**

- ・では、そういうものが建てば、必ず入居するということですね。

**(近藤委員)**

- ・人口ビジョン骨子案の課題の確認だが、「市街化区域内の人口密度が高く、新たな住宅供給の余力がない」とあるが、この人口密度が高いところの内訳はどうなっているのか？
- ・豊明団地が入ると人口密度が高くなると思うが、それ以外の普通の住宅地と分けた調査や課題の話はあるか？

**(経済建設部長)**

- ・豊明の市街化区域は702haあり、人口密度が高いというのは、73.4人/haだからである（一般的には60人/haとなっている）。決して、豊明団地があるから人口密度が高いという意味ではない。今後、おそらく、人口を増やしていくためには、例えば71,000人という数字があるが、将来、2000人程度増やすとすると、25haくらいは開発していかないと、3000人規模にはならない。
- ・付け加えて、市街化区域ではなく、調整区域の中で住宅地を作るとすると、駅から1キロ圏内は開発する方向でいけると考えているので、そこで事業をやっていただくと、その分が増えるのではないかと思う。

**(委員長)**

- ・今お話があったのが、2枚目のケース1で検討している区画整理事業による新たな住宅地を考えているケースである。

- ・今まで、いくつかの点についてご質問があったが、人口ビジョンの骨子案に集中している。それ以外の総合戦略の骨子案についても、ご意見があればお願いしたい。
- ・人口ビジョンとしての3項目、「人の流れを変える」「出生率を向上させる」「活力ある地域」のところには、まちづくり、医療福祉のところが入っている。
- ・地域目標としてあげられた4項目、「しごとと活力」「住みたいまち」「子供の学びと育ち」「暮らしの魅力」のところについてはいかがか？

(酒井委員)

- ・豊明団地は95%と入居率が高いし、市内でも空き家が売り出されればすぐに住宅が建ち、すぐ誰かが住み始める。マンションもモデルルームの段階で埋まってしまうということを知っていると、建てば人が入って来るような感じがする。流出は、モノがないから流出してしまうところにいきついているのではないか？学校も結構あるし、大学もあるし、出生率はちょっと少ないが、流出をストップするには、物件があればストップできるような気がしてきたのだが、いかがか？

(委員長)

- ・住宅の新規供給、空き家対策、URの改善といったものが、ここでも入っているということだね。

(安藤委員)

- ・非常に網羅的に作られているので、いいと思う。しいていえば、総合戦略②「地方への新しい人の流れをつくる」ということで、「住みたいまち創生プロジェクト」とあるが、住みたいまちという言い方をすると、全体にかかってしまい、ここだけレベルが大きいという印象がある。しごとと活力創生にもつながるし、子どもの学びにもつながる。もう具体的に少し絞り込んだ書き方が出来るといいのではないか。②を具体的に書けるといいと思う。

(委員長)

- ・もう少し具体的に検討していただければと思う。

(竹内委員)

- ・資料6については、全体としてバランス良くまとまっているという印象を受ける。おそらく、具体的なイメージがあるのだろうが、それに比べて①「しごとと活力創生」については、“若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる”ということで、右側のハコのような取組みがあるが、耳触りのいい言葉が並んでいるだけのような感じを受ける。
- ・5カ年という戦略の中で、具体的な取組がKPIに現れるような成果が出るかどうかということについては、正直、どこにでも出てくるような文言になっていて、どうだろうかという印象がある。おそらく、もう既に見込んでいる事業があるのだろうとは思いますが、やや総花的な印象を持った。

(委員長)

- ・①の右側の具体的な施策のところだね。これについては、これからどんな仕事が生まれてきそうかという書き方があっても良い。例えば、情報化とか、産業とか、農業と連携した仕事や産業を作っていくとかね。

#### (竹内委員)

- ・どのような産業分野に力を入れるか。そこをある程度目標とした戦略があって、というところが必要だと思う。おそらく、これはどこの自治体でも書くことと変わらない。豊明市ならではのものがイメージしにくい。

#### (大越委員)

- ・用途地域についてはよく分からないが、土地はたくさんある気がするので、分譲(宅地)を増やせる可能性があるのではないか。
- ・子育て支援に関しては、周りの市と比べ、これだけは豊明は他に負けないというものが増えていけばよいと思う。

#### (委員長)

- ・競馬場があるということで、これを地域にどう活かしていったらいいか、また、観光的なものとも結びつくと思う。また、子供も教育、運動等とも結びつくと思うが、そういったところで提案があればお願いしたい。

#### (大越委員)

- ・競馬直結ではなかなか難しいが、競馬場内の構内で乗馬ができるような施設もあるし、馬場の内側は公園のようになっており、現在も地元の小学校や幼稚園の方に利用いただいているので、そういった面では協力させていただけると思う。

#### (委員長)

- ・馬と仲良くする教室を作るとか、そういうことはできると思う。

#### (岩田委員)

- ・人口ビジョンの2枚目に、リニア新幹線供用を見据えた取組と書いてある。これは、具体的には、リニア新幹線が供用される中で、豊明としてはどのようなインパクトが市にあると捉えており、それをどのように人口ビジョンに反映させるかというストーリーが読み取れなかった。事務局でストーリーをお持ちであれば、教えていただきたい。
- ・発想としてはいいと思う。名古屋周辺の市町村は、リニア新幹線が来る事を非常に期待しているが、それがどう活かしていくのかは模索中である。豊明としては、ここなのだ！ということがあれば、非常にインパクトがあると思う。
- ・基本的には、国の戦略に基づいて、丁寧に戦略を作っていただきたいと思っている。1つ1つの具体的なアクションはこれからお決めになると思うが、豊明としてはどんな産業で町を活性化していくのか、また、産業ではなく働き方でもいいと思うが、魅力ある働き場の提供という点で、何が豊明の売りなのか出していけるとよい。
- ・外からの人の流入を促し、その後も豊明に引き続き住んでいただくとすると、豊明を自

分の町として愛していただくことが大切である。

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の「子どもの学びと育ち創生プロジェクト」の中にも結び付くかもしれないが、現在豊明に住んでいる子供達に対し、また、外から来られた方々に対して、豊明を我がまちとして愛していただけるような取組みをいかにやっていけるかというあたりもあるといいと思う。
- ・先ほどのアンケートや商工会の事業所の方へのヒアリングにおいて、製造業の方は40～50社くらい、約半分くらいかと思うが、今は人の確保が大変だという中で、女性が子育てをしながら働くことを望むというアンケートがあるにもかかわらず、女性の復職環境がなかなか整っていない現状があり、そのあたりに、まだまだ事業所と保育園等と一緒にあって、働く環境を整えていく必要があると感じる。
- ・「子供の学びと創生プロジェクト」のところのKPIに、男性の育児休業取得数が挙げられているが、かなり高い目標だと思う。あえてこれを入れた意図があれば教えていただきたい。

#### (小串課長)

- ・リニア新幹線については、今、何か直接的にということは難しいと思うが、リニアの影響で、銀行の方で、名古屋再開発に絡むような融資の動きが始まっていると聞いている。その活性化の流れにうまくのって、本市も何か総合戦略の中でやっていくものがあれば、ここでしっかりと、人口ビジョンの中で将来展望として押さえておく段階であると考えている。
- ・ベッドタウンとしての強みを活かしてはどうかと読み取れるものがあるので、リニアが来る事で、名古屋周辺が活性化し、名古屋と豊田を短く結ぶという計画も聞いているので、そのあたりを逃さない様に、人口ビジョン、総合戦略で捉えておくということをご理解いただきたい。
- ・「子供の学びと創生プロジェクト」のKPIは1つの例であり、深い意図はない。アンケートの中にも、中小企業では育児休業や介護休業制度がまだないところもあり、そういったところを、市から企業に要請を求めて欲しいというようなインタビュー結果があった。そういうところの究極が、男性の育児休業取得数ではないかと考えている。考えられるKPIの例と右側の四角については、今日いただいた意見等を踏まえ、これから変更してまいりたい。
- ・男性の育児休業取得数は、私どもとしては、いいのではないかと考えているが、今の段階では非常にハードルが高いということであれば、これは5年ごとに作り替えるので、その時までとっておくのかなと、それはまたご相談させていただきたい。

#### (岩田委員)

- ・男性の育児休業取得数をKPIに設定することが良くないとは思っておらず、是非、掲げていただくといいと思う。しかし、一方でこの指標より先に考え得る指標もあるのではないかという気がした。

#### (飯田委員代理(松井氏))

- ・人口ビジョン、総合戦略とも、愛知県のビジョンと合わすということで、私ども、既に

案を出させていただいているが、事務局の方でしっかりと読み込んでいただいております、全体的にいいものが出来あがり、大変感謝している。県のビジョンとも非常に調和が取れた内容となっております、ありがたい。

- ・総花的との意見もあったが、国の予算の制約もあり、このビジョンや総合戦略に書いていない事業には新型交付金の対象とならないと言われる可能性が高いため、広く書くことが役所としては必要だと思う。県の総合戦略も、相当幅広く書いてある。ただ、そういった中でもメリハリは大切なので、色んなことを書く中でも、メリハリときちんとつけていくことが必要である。
- ・アンケートの結果等を見ると、住環境が非常に良いのが、豊明市の特徴だと考える。空き家対策と、住環境を良くするには、まずは住むところの環境整備だと思うので、今回、色々ご議論いただきありがたい。
- ・アンケートの資料 3-② P4 に、「親族に近い場所に住みたかった」という理由で転出される方が多いという結果が出ているが、逆に、親族が豊明市にいる人は、豊明にまた帰ってきたいという意味にも取れる。最近、3 世代同居や近居に対する補助等も始まっている。自治体レベルでも、千代田区、神戸市、福井県の市町村でやっていると聞いている。メリハリということの提案として、同居、近居の意味をしっかりと整理し、例えば、若い人が帰ってこれば高齢者の生きがいにもつながるので、そういった観点で検討をいただいたらどうか。
- ・私は実家が知立にあるのだが、当時、豊明高校は、三河からも名古屋からも通うような学区の制限がない高校で、愛知県の中でも非常に交流のしやすい学校だったと聞いているので、そういったところの卒業生の同窓会ネットワークの活用もしてはどうかと思い、提案させていただきたい。

#### (近藤委員)

- ・骨子案全体として、ある程度事業が総花的というのは、十分承知している。
- ・アンケートの中にある、買い物に便利なところに住みたかった、という声は実際に大きいと思う。実際に生活している者から見てもそう思うので、それもどこかで入れてほしい。地域の商店の活性化と入っているのはいいのだが、よく皆さんが言われているのは、ホームセンターが一つもなく、生活に必要なものを買いに、刈谷や大高に行くことがあるということである。そういった対策もしっかりと入れてほしい。
- ・藤田保健衛生大学があり、医療は充実しているとは思いますが、実際、生活している人間からみると、大学病院は、入院できる期間が一定期間しかない。次に移る時に、市内には入院できる病院が少ないので、一次的な病気であればいいのだが、二次、三次となると、高齢の方だと、転院先の病院へ行く術がないという状況もある。藤田保健衛生大学1つに頼るのではなく、地域の医療についても、豊明の将来性として入るといいのではないか。
- ・「子供の学びと創生プロジェクト」では、学習機会の充実、学びのための環境の充実という言葉はあるが、どちらかというと、子供を預かるといったことが多い。この町にいたからこんな体験が出来たとか、子どもの将来を伸ばすようなものがあるといいと思う。高浜市の少年少女発明クラブなどは、とても充実していて、そこで勉強した子がとても頑張っていると聞く。

- ・今、東京や大阪では、子供向けのITの塾が流行っていると聞く。ここにいたとしても、そういうことができるようなプログラムを作るとか、子供達が学校教育だけではなく、社会情勢に合わせて将来に飛びこむようなものがあると、この町にいて良かったということで、将来に結び付くのではないか。

#### (前田委員)

- ・総合戦略の「しごと活力創生プロジェクト」のところで、先ほどから総花的という話が出ているが、同じような話になるかもしれないが、ご容赦いただきたい。
- ・この項目は、今後修正されるということだが、項目がたくさんある中で、似たものが多い印象を受ける。「創業及び第二創業の促進」「雇用の促進」「企業誘致」といったところは、かなりリンクをしている項目ではないか。もう少しまとめて、重層的にプロジェクトを組立て、もっと分かり易く表現が出来たらいいのではないか。
- ・先ほどのアンケートの中で、事業者の方から地元の就業希望がないという意見があったが、高校生の方が、地元どんな企業があるのか知らないという話も出ているので、豊明にどういう企業があるのか、もしくは、どういう企業を誘致して特色を出していくのかということも含め、このあたりの項目を整理し、まとめてはどうかと思う。

#### (鈴木委員)

- ・全体的に、とても上手く作られていると思う。
- ・ただ、「しごと活力創生プロジェクト」だが、私は、働くものの代表としてここにきていると思っているので、厳しい意見を言うと、“若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる”と言われても、その右の四角の内容を読んでも、全然ここにつながってこない。もう1つ横に枠をつくって、もう少し具体化する必要があるのではないか。他のところはある程度イメージできるが、①だけは働く人間として、何も浮かんでこない。例えば、企業誘致にしても、どこにどうやってやるのか、これを見ただけでは、何も浮かんでこない。この先どうするかを考えると、ものすごく時間がかかると思う。①だけを見る限りは、私は連合にいるので、サービス業やものづくり企業を見ているが、とても豊明に来るとは思えない。もう少し具体性をもって提案していただかないと、見えない。
- ・近藤さんも言われていたが、確かに、藤田衛生保健大学があり、医療は充実しているように見えるが、一般人からすると、行ってもすぐには診てもらえない現状がある。入院したことがあるのだが、朝、8時に病院に行ったのに、診てもらえたのは15時くらいであった。重い病気に関してはいいと思うが…。また、藤田以外のちょっとした町医者ではベッド数も減っていると聞く。
- ・また、豊明市には産婦人科がなく、子供を産める場所は藤田学園しかない。うちの従業員からよく聞くのだが、豊明に住んでいても、子供を産む時には、刈谷や大府に行かなければならない。医療が充実していると言われれば、確かにそうかもしれないが、一市民からすると、藤田は敷居が高く、医療が充実している感覚は僕らにはない。

#### (川口委員)

- ・鈴木委員が言われたように、骨子という段階としてはこんな感じかなと思うが、具体性に欠ける気がする。これを発信した時に、受け取った方は、だらけてしまうのではと感

- じる。骨子という段階ということと、総花的に表現をしないといけないという役所の理由もあるので、一概には言えないが、市民の我々からすると、そういう感じを受けた。
- ・資料5のリニアとの関係だが、リニアの完成に向けて、名古屋駅周辺のビジネス集積が始まっている。リニアが出来ると、名古屋には人は来ると思うが、その後は、豊田に行ってしまうと思う。企業もそちらの流れが出来る恐れがあり、その、とっかかりとして、活性化というところが重要である。先ほどは、今の段階では、具体的なものはないと言う話だったが、もう少し早い段階で、具体策を打っておかないといけない。今、名古屋の開発はものすごく速いスピードで進んでいる。
  - ・この計画は5カ年計画で進んでいるが、5年後の状況は、名古屋駅周辺は完成しており、リニア等の流れもほぼ出来上がっている段階にきていると思う。その割に、豊明市は融資等の動きがまだ準備段階であるという感じがする。
  - ・名古屋周辺に企業が集まってくると、先ほど、高校生のアンケートの話も出たが、今の19~20歳の子供達が就職を始める頃に、豊明にこれといった企業がないと、みんな名古屋に行ってしまう。今は、全体の流れとして東京の方に行っているが、この地域の子たちは、名古屋に行ってしまうだろう。豊明で働こうという気持ちにならなくなってくるのではないか。
  - ・今後の経済成長は2020年のオリンピックが1つの境になるだろうと言われている。2020年は、これから5年先なので、そこがピークと捉えると、そこまでに完成しないと、その先は右肩下がりの経済となってくる。そこから企業誘致をしても、投資をして出てくる企業なくなる可能性がある。もう少しスピードアップして、具体策を打ち出されてはどうか。
  - ・豊明市に今ある市内企業は、中小企業、特に小規模の企業が非常に多く、人を採用したいが、即戦力が欲しいため、若い子を入れて、お金を入れて育てて行くのは、経済的にも大変だということがあり、中途採用に目が行ってしまっている。もう少し、若者が就職しやすい環境づくり、例えば市からの助成金があるかどうかわからないが、そういったもので、若者が豊明市で働ける環境を作っていただきたい。
  - ・高校生のアンケートで、市内にどんな企業があるか良く知らないというのは、非常に淋しく、我々銀行としても、アピール力が弱かったと反省している部分もあるが、今の高校生以下の世代が、豊明に残れるイメージをもっと作ってあげたい。高齢者は多分、もう外には出て行かないので、若い人が豊明に住み、働いて、お金を落とすというために、もう少しアピール力をつけてほしい。
  - ・企業誘致に関しては、少しスピード感が足りないと思う。私は名古屋駅の周辺に住んでいるが、非常にスピードが速い。まだ、地下鉄の駅の周辺には、大きなマンションが建っており、名古屋もまだ人口増加に力を入れているため、負けてしまう可能性もある。今の求心力はどうしても名古屋の方が強いので、もっと豊明市さんも頑張ってください。
  - ・「住みたいまち創生プロジェクト」は非常にいいが、既に、皆さん、豊明が住みたい場所の候補に挙がっているのではないか。場所があれば住みたい気持ちがあり、環境もある程度整っている結果が出ているので、住みたいまちということであるならば、ここも、もう少し具体性があるといいと思った。

(根尾委員)

- ・「住みたいまち創生」に、地域のブランディング事業とあるが、このイメージはどういったものか？具体的でなくてもいいので、どういったブランディングのまちにしたいというイメージはあるのか？

(小串課長)

- ・現在、先行型の交付金を使って地域ブランディングに着手している。まだ、プレゼンテーションの段階なので、ちょっとリークになってしまうが、例えば、信長が今川を破った大金星を挙げたので、大金星の町を目指したらどうかとか、そういったような提案をいただいている段階である。

(坪野部長)

- ・この創生事業を使い、9/17に観光ビデオの制作のプロポーザル、9/25には観光のガイド案内等のプロポーザル、9/29には、ブランディングのプロポーザルを行ったところである。今、スタートしたところで、既に業者も決まっているが、その方たちのご意見や、地域のご意見を聞きながら、今年度中につくる計画となっている。

(根尾委員)

- ・アイデアのところにも、何名かの方が書かれているのを見たが、「花のまちとよあけ」のイメージは一般の方にはほとんどないと思う。日本最大の花き市場があるかもしれないが、一般の人には縁遠い。業者の方には知られているかもしれないが、地域の人たち、その他の地域の人たちは、全く分からない状況だと思うので、そのあたりを上手く活用する必要があるのではないか。「花のまちとよあけ」といっても、駅を降りても何も無い、花き市場がどこにあるかも分からない、あっても誰も行かないだろう。そういったところをもっと上手く活用した方がいい。今の状況は淋しい。
- ・若者等へのアンケートでも、PRが足りない、駅前が活性化していないと書かれている。駅というのはまちの玄関口なので、そこで降りたら何かワクワク感があるようなものがあるといいのではないか。

(星長委員代理(都築氏))

- ・資料1 No.26の提案で、残念ながら間に合わなかったという点を補足で説明したい。
- ・豊明市に関しても、今後高齢化し、生産年齢人口の減少が激しいため、家族介護についても、自助、公助、共助と自分達の家族でなんとかしていこうという話になっている。女性は社会進出しろという一方で、在宅で介護をするのは女性となると、全く相反する話であり、誰が介護するのかということになる。
- ・医療（オペや手術）の部分の補助は随分ロボットが入っているが、今後、ロボットの力を生活の中うまく入れていくなどし、足りない人的なパワーは家ごと改修してしまう、もしくはスマートハウスの志向で、健康の維持管理から介護までを行っていくという主旨で、私どもはトヨタ自動車と協働、介護ロボットをいくつか開発中であり、実際に導入しているので、それを在宅の方までもっていきたい。
- ・先ほども話にあったように、大学病院が1点、急性医療を行っていても、中核病院は市

外にしかなく、実際には、見舞いにも行けない。豊明市は他の近隣市町村に比べ、介護保険の使用内訳も在宅系の介護保険のサービスを使っている比率が少なく、施設系の方が多い。家ではなく、預けてしまっている現状が多いことがうかがえる。

- 大学としてはなんとか在宅医療、介護を進めていきたくて、UR 豊明団地のご協力をいただき、色々と施策を進めさせてもらったが、この件に関して、8月末のことを思い出す。申請まで、もう、1週間くらいしかなく、その残り期限の中で、急に今から国の方に先行型として提案したいから、なんとかならないかという話になったと思うので、前回と同じような時間軸ではなく、もう少し余裕をもって、このプランでいきましょう、これを練っていきましょうと、もう少しプロセスの期間を設けてほしい。来年度に向けた練り直しになると思うが、どのプランを進めるにしても、期間は長めにとっていただきたい。
- 今回の事業をまとめた骨子に関しては、長く、豊明市に住み続ける場合、若い人が豊明で働き、家族を持ってもそのまま住み、高齢化しても住み続けることをやろうとすると、やはり、子育てに関する部分の問題と、子育てをするために、団地も魅力はあるが、万全ではない。戸建に住みたい方もいらっしゃるし、何に価値観を置くかもあると思うので、そのあたりどう具体的に支援できるのか、検討が必要だと思う。
- 幼稚園、保育園にしても、2人目のお子さんが出来た場合の育児休業中の際に、保育園を一旦出なくてはいけないという深刻な問題があり、これが骨子の中でどう変化があるのかということもまだ分からないので、さらに深みをもった提案が必要だと思う。
- 藤田保健衛生大学も2,500人の学生と2,500人の職員とで5,000人近い人数がいる中で、豊明市に住まず、緑区に住むケースが非常に多い。その理由を聞くと、やはり、子育て支援や、企業の助成があるからである。看護師さんが多いので、それらの方が住みやすい、子育てしやすい町がどこかということ、選択肢として、豊明ではなく違う市町村を選んでしまっている実態があるので、そこを上手く支援するようなプランも盛り込んでいただけるとありがたい。

#### (野村委員)

- 皆さんからの意見で、言い尽くされたと思う。
- 骨子については、良くまとまっている。資料⑥の人口ビジョンのところだが、先ほどから話が出ているようにもう少し具体的に、そのためには何をするのかももう一段落とし込んだものがあると、より理解しやすくなると思う。
- 若い世代の人口流出ストップということだが、確かに、賃貸住宅の入居率は落ちてきている。ただ、前後駅周辺の利便性は高く、駅の周辺だけは入居率がいい。我々も、宅地供給という立場から、土地区画整理事業のお手伝いをさせていただいているが、前後駅周辺は市内の他地域の人からは交通の利便性を羨ましがられる。人口流出をストップさせるために、逆に流入をはかる策として、そういったものも取り組んでいただけたらと思う。
- 出生率の向上について、先ほどから皆さん意見を言われているが、豊明には産科の病院がない。うちの娘も、市外の病院で産むことになるのだが、子育て・出産の環境を整える策も是非、特に交通の便の良いところをお願いしたい。

## (委員長)

- ・人口ビジョンの骨子案については、ほぼ了承されているのではないかと思います。ただ、竹内さんから意見があったように、URの団地の取扱については修正をしていく必要があると思う。
- ・駅前の区画整理をして、駅前のマンション建設等を含めて、こういった試算をされているのは説得力があるのではないかと思います。
- ・その中でも、豊明らしい住宅を作っていかなければいけない。環境に配慮し、協働して住める、また花との関連等、色々なもので豊明らしいものを作っていく必要がある。
- ・住宅の量についても、どのくらいのをどこに作っていくとまちとしていいのか検討していく必要があると思う。
- ・総合戦略の骨子案についても、ご意見として、真ん中と左側について、ほぼ了承されたと思う。国の方針、県の方針にもほぼ沿っているものであるという評価を得ているので、これも了承されるのではないかと思います。
- ・ただ、目標②の「住みたいまち」についてはもう少し具体化してもいいのではないかと思いますという意見があった。
- ・「子育て」のところのKPI、男性育児休業については難しいのではないかと思いますということで、検討をというご意見もあった。
- ・右側の政策については、皆さんからこうしたらいいという具体的なアイデアが出てきているが、そういったものがしっかり反映されていないのではないかと、もっといいものができるのではないかとご意見もあったと思う。
- ・特に①「しごと活力」については、企業のあり方などを取り込んだ具体的な政策にしてほしいという意見があったと思う。
- ・今まで出てきたアイデアとアンケートをもう一度検討し、豊明らしいものを検討していただけたらと思う。
- ・特に、具体性を持つことが必要であり、豊明らしさ、豊明ならではのものというのが必要だという意見があった。
- ・また、市民が参加出来るもの。誰でも知っているもの、花のまちをつくっていくというように、市民が身近に感じ、作っていく、市民参加ということが、継続性という意味では重要ではないかというご意見が印象深かった。
- ・④の中の、藤田保健衛生大学、トヨタとの共同プロジェクトは、ここでは是非実現させていただきたい。ロボットということで検討されているが、医療福祉にも繋がる。北欧では福祉が有名だが人的福祉が中心である。機械を使ったロボットの、IT関係を使っている介護はあまりない。そういう意味で、日本のものが事業開発出来れば、北欧等、福祉の先進国にも売っていける、事業としても可能性は広がるのではないかと。
- ・医療福祉が生活の中で繋がっていることが、特に重要だと思う。医療であればセンターを作ればいいが、そうではなく、生活の中で繋がっているということが、豊明として重要なポイントにすればよいのではないかと。
- ・また、③について、教育との繋がり。学びと福祉医療をつなげていくのは、豊明に合うような気がする。③④を中心とした政策が、豊明市として独自性が出るのではないかと。
- ・今回の骨子案はほぼ了承された。修正をしてより具体化していくことを、次回の委員会

の方針にさせていただきたい。

#### (事務局)

- ・先ほどの資料⑤、資料⑥について追加で発言したい。資料⑤の UR の社会増減の課題のところについて、※として書いてある部分は、インタビューから状況が補足するような意味合いだとしても、具体性が強すぎたと思う。大変申し訳なかった。こちらは骨子から削除させていただきたい。
- ・総合戦略の骨子案にもたくさんのご意見をいただきありがとうございました。当初にも触れたとおり、ここに書いてある KPI や右側の施策については、まだ案である。今日、基本方針を決定いただいたので、今日いただいた意見を踏まえ、これから再度まとめに入りたい。

#### (4) 豊明創生事業の提案について (資料⑦)

##### (事務局)

- ・総合戦略の骨子等が概ね固まったので、改めて事業提案をお願いしたいと考えている。資料①のアイデア提案一覧、資料②のアンケート、ヒアリングの概要、資料③のアンケート結果等をご参考にいただければと思う。
- ・来週 10/5 (月) より、本市の第 5 次総合計画のパブリックコメントが始まる。総合計画の原案の中にも、たくさんアンケートから策定した、多くの市民が大事と考える 40 個の目標が掲載されている。こちらも含めて参考にさせていただければと思う。
- ・KPI や概算費用に記入欄もあり、難しいとは思いますが、行政だけではいいものできない。ビジネスチャンスと捉えていただき、是非お願いしたい。
- ・必須ではないので、記入できるところだけでもよい。10/16 (金) 必着でお願いしたい。

##### (委員長)

- ・採用されるものもあれば、そうでないものもあるが、最後にこういう意見が出たということとはとても重要である。報告書などの資料集などには、資料①の提案等についても、収録する方向で進めさせていただきたい。今回の提案についても、よろしくをお願いしたい。この委員会だけではなく、他の総合施策を作っていく時にも参考にさせていただけると思う。
- ・以上で議題は終了とする。

### 3 その他

##### (事務局)

- ・3点連絡事項がある。
- ・1点目、今後のスケジュールについて連絡したい。本日、骨子を承認いただいたので、この後、人口ビジョン、総合戦略の肉付けを、事務局の方で行うことになる。次回の委員会では原案をお示しし、答申がいただければと考えている。答申がいただけたら、その後約1ヶ月間のパブリックコメントを実施し、おそらく2月頃になると思うが、最後の4回目の推進委員会までに、人口ビジョン、総合戦略を完成させたいと思っている。
- ・次回、第3回目の推進委員会の日程だが、12/16 (水) 10時からの開催を予定している。

場所は未定につき、改めて通知したい。

- ・ 2点目は、机上に配付したが、桜花学園から、情報提供をいただいているので、根尾先生より説明をお願いしたい。

#### (根尾委員)

- ・ 本学附属の研究所で、観光総合研究所があり、毎年公開講座を行っている。今年は 11/26 (木) 13:30~16:00、ウインクあいちで行う。今年の講師は、本年4月から、新しく愛知県の観光局長に就任した、加納局長にお話をいただく。テーマは、最近話題となっている、愛知県のインバウンド観光についてである。ご都合があえば、ご参加いただきたい。加納局長は、以前から知っているが、非常に積極的に色んなことをされる方なので、参考になる意見があると思う。

#### (事務局)

- ・ 3点目として、本日、委員会終了後、希望者を前後駅までお送りさせていただく。終了時刻の15分後に東館北玄関に車を用意するので、ご利用いただければと思う。

#### (委員長)

- ・ 今日の議事は終了とする。

#### (司会)

- ・ 本日は熱心なご議論をいただき、ありがとうございました。事務局から案内したとおり、次回は 12/16 (水) 10時からを予定している。日程の調整をお願いしたい。
- ・ これをもって、委員会を終了とさせていただきます。

閉会

# 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 推進委員会（第2回）次第

日時 平成27年10月2日(金)  
午後1時30分～3時30分  
会場 第1委員会室  
(豊明市役所 東館4F)

### 議題

- 1 アイデア提案について
- 2 アンケート結果等について
- 3 人口ビジョン骨子案、総合戦略骨子案について
- 4 豊明創生事業の提案について
- 5 その他

配布資料 資料① 豊明市先行型交付金（上乘せ分）創生事業アイデア提案一覧  
資料② ー1～3 事業者アンケート、転出者アンケート、若者アンケート  
資料③ ー1～5 ヒアリング(金融、高校生、保育園保護者、駅前商業者、企業経営者)  
資料④ 豊明市人口ビジョン骨子案  
資料⑤ 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 骨子案  
資料⑥ 豊明市創生事業提案書

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 委員一覧

属 性		氏 名	役職等
1	あいち尾東農業協同組合	野村 和広	豊明基幹支店長
2	豊明市商工会	酒井 克俊	副会長
3	ホシザキ電機株式会社	坪井 加寿代	総務課長
4	名古屋鉄道株式会社	安藤 仁	事業企画部企画担当部長
5	独立行政法人都市再生機構 中部支社	竹内 大輔	住宅経営部長
6	日本中央競馬会 中京競馬場	大越 俊則	中京競馬場場長
7	経済産業省中部経済産業局	岩田 則子	地域経済課長
8	愛知県政策企画局	飯田 靖	企画課長
9	学校法人藤田学園	星長 清隆	専務理事・学長
10	学校法人桜花学園	根尾 文彦	桜花学園大学教授
11	国立大学法人愛知教育大学	小川 正光	名誉教授
12	株式会社名古屋銀行	川口 弘志	豊明支店長
13	連合愛知尾張東地域協議会	鈴木 剛	副代表
14	株式会社中日新聞社(中日スポーツ)	前田 真弓	レース部長
15	市民公募	近藤 恵子	

平成27年6月25日現在

## 豊明市先行型交付金(上乘せ分)創生事業アイデア提案一覧

ステージ	分野	I. 現状の課題・背景	II. ①を解決するための事業アイデア提案
1	駅前 活性化	市玄関口である前後・豊明・競馬場前各駅の周辺に賑わいが無い。特に前後駅、中京競馬場前駅は大学生等が多数利用していますが、古く店舗も無いため立ち寄り場所もなく乗降されているだけで勿体無い。	再開発や、空き店舗の利用など何かしらの取り組みができないか。 市内には看護や保育に携われるような人材（学生等）が多数存在しているので、その人たちを上手く活用した豊明市ならではの取組みをしてはどうか。
2	駅前 活性化	私鉄の駅が2つあり、急行が停車する乗降客数が多い駅であるのも関わらず、いずれも性格が明確でなく、人が滞留する場になっていない。他の駅では、駅中の活用など、駅で買い物や旅行の手配、カフェなどの様々な機能を果たせ、活気を形成している。現在の前後駅前のパンや・カフェは高齢者をはじめ、多くの人が活用している状況がある。	◆鉄道駅前機能の開発 鉄道駅前に、現在の店舗・カフェに加えて、地域の生産物を扱う店舗の増加、子育て支援・住宅斡旋・高齢者クラブ・若者クラブ・市やバス路線など様々な情報を得られる場・展示スペースなどを設ける。また、駅に近い利便性を求める高齢者向け住宅・家族向けマンションなどを供給する。
3	駅前 活性化	駅前の活性化	市の事業ではないので希望として ・バルネスの営業時間を延ばす。（地下の食料品売り場だけでも） ・バルネスの駐車場から駅へ繋がる通路を新設する。 （駅まで車で行こうと思った時、バルネスの営業時間外に利用するのが大変不便）
4	駅前 企業・雇用	若年世代が起業しやすいよう、都心へのアクセスに優れた駅近に“在宅ワーク・小規模オフィス”を提供する必要。	◆若年世代の起業・在宅ワーク等支援事業 バルネス前後の店舗階に1区画10㎡程度の貸オフィス数区画と20～30㎡の貸会議室を設け、サテライトオフィスとして低廉な賃料で貸与。また、UR賃貸住宅と貸オフィスのセット供給も回り、若年世代の起業や在宅ワーク等を支援する。 ◇成果指標(KPI)：(未定)
5	駅前 子育て	子育て女性の職場復帰・社会進出を支援するため、通勤時に利用しやすい駅近に子育て支援施設を充実させる必要。	◆子育て女性の職場復帰・社会進出等支援事業 名鉄を利用して市外に通勤する(したい)子育て世帯をターゲットとして、バルネス前後の店舗階に「託児所」・「保育園」・「病後児保育室」・「小児科」・「小児歯科」などの子育て支援機能をまとめて誘致。更に、パーク&ライド用の駐車場もセットにした「パーク&ライド付き託児所(保育園)」として利便性を高め、子育て女性の職場復帰・社会進出を支援する。 ◇成果指標(KPI)：(未定)
6	駅前 子育て	子育て世代への支援が不足している	・駅ナカ保育所の開設→子供を預けて通勤できる送迎時間の短縮 ・ベビーシッターの補助金(チケット発行等)→ワンポイント利用可能→子供を連れて用事等への短時間預け→自分たちの時間が確保 ・男性育休取得者増進→例、助成金 ・循環バスの時間延長および運転間隔の短縮→利便性の向上
7	駅前 子育て	女性の働きやすい社会の構築するために駅前保育の考え方を推進する必要があるが、経費・人材などのハードルが高い。	◆駅前保育所の新設 ・地方創生の枠で試験的に0～2歳児の保護者の市営駐車場の優先枠の設定、あるいは駅周辺の駐車場の費用を補助する。 ・利用者の声を今後の事業計画に反映させる。（3歳児以上をどうするかなど） ・駅前で一時的預かりし書く保育園に送り届ける(0～2歳児は難しいか)
8	観光地・ブランド 活性化	市内には、古戦場や自然などの見物する場が多く、点在している。また、名産や食事の場もあるが需要を伸ばし、産業として活性化することを図る。	◆観光ポイント、食事、買い物店舗など、観光関連のルート化と、整備・開発 近年ハイキングが盛んになってきている。駅から見物ポイントを巡るルートを設定する。その間に、食事の場・名物食材・お土産なども織り込んで示す。高齢者対象に限らず、若い層にも対応する商品の開発・実演もおこなう。単に、見学と買い物に終わることなく、それぞれの場ごとに休憩スペースもデザインして設ける。レンタル自転車で巡ることも考えられるし、駅前などでは、日常の市内の生活が体験出来ることにより、定住に結びつくことも考えられる。観光であっても、日常の生活が良いまちであること。（ところで、「桶狭間グリーン」というリンクを名古屋の万年筆店が出しているのをご存じですか。）

豊明市先行型交付金(上乘せ分)創生事業アイデア提案一覧

ステージ	分野	I. 現状の課題・背景	II. ①を解決するための事業アイデア提案
9	観光地・ブランドینگ 活性化	桶狭間の古戦場の知名度が低い。単なる歴史の一時点の出来事だけでは広がらない。まず豊明市内で「桶狭間の戦い」の持つ歴史の意味を考え、今の生活に活かせるような広がり、文化をつくるべきだと思う	◆豊明市内で「あなたの桶狭間の戦い」という体験談（スポーツでも仕事でも）を募集し、それを市内の小中学生に配布する。 ・少数で大きな相手を戦った ・何か大きな事業のスタートとなった ・新たな戦術を生み出した （鉄砲は桶狭間で使っていないといわれているが） ◆勝利ということで、受験や、起業などのお守りをつくる
10	観光地・ブランドینگ 活性化	花の地とよあけをPRする	ふるさと納税で、花を贈る。送り先や日にちを指定できるようにして、記念日のプレゼントにできるようにする。（母の日は除く）鉢植えの花は、大きな段ボールで届くので豪華に思える。
11	観光地・ブランドینگ 活性化	まちのPRが弱い 「前後」という地名を売りにしたらどうか	●広島県府中市に「上下」という駅がある。こことコラボした企画はできないか。 ●豊明市内の商店街の抽選に前後賞を設けるようにする。特には、前後賞の方により賞品が付くようにしてもいい。
12	観光地・ブランドینگ 活性化	・外から訪れる人を惹きつける魅力ある資源に乏しい。但し、桶狭間古戦場、中京競馬場は多くの人を知っている有力な資源である。花き市場もあまり知られていないが魅力ある隠れた資源である。 ・街の中心地の魅力が乏しく、どこが中心地なのかはつきりしない。 ・駅前等にも商店街などが無く、活気が無い。 ・街のイメージが弱い。 ・人を惹きつける魅力あるイベントが少ない。	◇スマートグラスで学ぶ桶狭間の歴史と街物語 ・実空間と仮想空間の複合型観光を体験。ウェアブル眼鏡で3Dによるリアルを体験できる。事前に仮想画像を作成し、スマートグラスを通して実空間に居ながら、過去と現在の双方を同時に体感できる。古戦場のような有形物が残っていない歴史的遺産には最適の素材と考えられる。 *本年度から開発されて全国的にも注目され始めている。江戸城と日本橋めぐり、福岡城などの実績がある。 *旅行会社とタイアップしてツアー募集が可能。 ・桶狭間の合戦だけにとどまらず、「歴史を学ぶ街・豊明」として、年間を通して戦国時代を中心とした公開講座、シンポジウム等を開催し、文化を育てる。
13	観光地・ブランドینگ 活性化	◇「花の街・豊明」づくり ・花の街のイメージづくりのために駅前、市役所などを、見て楽しむためにわざわざ訪れるくらいの規模で花いっぱい街に作り上げる。 ・全国で花をウリにしている自治体と共同で「花サミット」を開催して、全国的にイメージアップを図る。 ・各家庭でガーデニングを楽しめるように、先ずはその講習会から初めて、各家庭が美しいガーデンを競うようなコンテストを行う。他の地域からも訪れるようなイベントに仕上げて行く。 ・花卉市場をもっとPRし、一般市民及び来訪者が来易いイベントを開催する。	
14	観光地・ブランドینگ 活性化・開発	若い世代の定住と平行して、名古屋から「遊びにくる」層をと増やしていかないと街が活性化しないのでは。地元で詳しい中日スポーツ競馬担当・黒柳記者は「豊明市には核となるエリアがない。そこを目指して人が集まってくるスポット、エリアがほしい」とのこと。再開発や交通網の再構築など、インフラ整備でバックアップしていく環境が必要。	◆フローラルウォークの効率利用 中京競馬場前駅から競馬場まで続くフローラルウォークにフリーマーケットや飲食の出店などを競馬開催日に並べる。豊明市の出展者を優先し、豊明市の玄関口である中京競馬場から魅力を発信する。名古屋競馬株式会社、中京競馬場の協力が必要。同時に駅前の再開発を敢行し、人を惹きつけるエリアにするのと同時に地元商店街にも利益を還元する。沿道市民の理解を得るための仕掛けも考えていく。
15	郊外 農地	農地保全・再生への取り組み（遊休農地・耕作放棄地の解消） ・豊明市内に農地を所有する農業者の高齢化の進展。 ・農業の担い手不足による就農人口の減少。 ・農地はおもに相続により継承されるため排他性が濃厚。	◆農地保全再生事業 豊明市内農地（豊明市北部：市街化調整区域）で特定の農地を選定する。農地所有者と集団化を促進するための交渉をおこなう。集団化することで、相当の耕作面積になり、規模の拡大により農作業の効率を高めることができる。同時に、豊明市内で農業を営む意思のある会社を選別し誘致をすすめる。農地の運用において、個人農家から資本を持つ会社へ営農の移譲を推進する。会社の研究開発において、新たに豊明市固有の特産農産物を創出し、その栽培拠点にできれば、より活性化に繋がる。また、この土地の地目は雑種地とせず農地のままなので、固定資産税も低額に抑えることができ、農地所有者のメリットもある。併せて、所有者にとっては、農地の賃貸料として収入も得ることができる。なによりも、豊明の農地を農地として運用をすることができ、土地活用・雇用促進にも繋がる可能性もある。少なくとも農業の先細りを回避するための施策のひとつには成り得ると考える。 10年後の農業・農地は、いずれも縮小していくものと思われる。土地活用の側面から、農地は農地、宅地は宅地として、所有者も運用は二分化して考慮する必要がある。名古屋周辺都市型農業におけるカテゴリーとして、農地運用には一定のガイドラインを設けるべきと考える。
16	住宅地 空き家	市内には空き地が多く見られるが、今後は空き家・空き店舗の発生も考えられる。このような空き家・空き地は、管理が行き届かず土地柄を落とすことにつながる。これらの場所を、地域のコミュニティ活動に活用する。	◆空き家・空き地の情報の集約化と活用の検討 まちのビルトアップされた後の姿を、市が描いて提示する地区の計画を示す。それを踏まえて、空き地・空き家・空き店舗を、所有者から市かNPOが委託され、必要とする個人・団体に貸し出す斡旋を行う。主要には、地域の子どもの遊び場、花卉園芸の場、高齢者などの集會施設、カフェなど、コミュニティ活動の場として活用されることが望ましく、地域貢献する一定の条件を備えた場合には、市の補助金制度を設ける。

豊明市先行型交付金(上乘せ分)創生事業アイデア提案一覧

ステージ	分野	I. 現状の課題・背景	II. ①を解決するための事業アイデア提案
17	住宅地 空き家	既に形成された社会資本をうまく生かしたまちづくり戸建て住宅団地の再生。	<p>◆駅への利便性の良い地域にモデル地区指定し、空き家の実態調査をする。 平成24年度の国土交通省「地方公共団体における空家調査の手引き」を参考に空き家の実態調査を行う。地域との協力が必要となるので、駅への利便性の良い地域にモデル地区の指定も考えられる。 地域にもかかわらずいただくことで市民の問題意識が広がる。 ◆売却を目的とした、空き家を撤去した場合の固定資産税の軽減。</p>
18	住宅地 空き家	今後は少子高齢化が進み、緩やかに人口も減少していくことが予想され、郊外にある住宅地では空き家や空き地の増加が見込まれる。	<p>◆住み替え支援事業 郊外から便利の良い街なかへの転居を検討する高齢者が所有する住宅や空き家となっている住宅を子育て世帯等に貸し出すことで住み替えを促し、住宅の有効活用や子育て支援、地域コミュニティの活性化を図る。</p>
19	住宅地 開発	今後、環境共生を重視・関心を持った居住層が増加すると考えられる。本市は、緑や池など自然環境には恵まれている。これらの自然環境を活かして共生する住宅地のモデルを作ると他の住宅に対しても影響力があり、全体の住環境向上に資すると考えられる。	<p>◆環境共生の住宅・交通システムのモデル地区開発 町を形成する規模の地区を設定し、その中に、自然エネルギーを活用した住宅、これからの交通システム、情報を利用して生活できるシステムなど、将来的な環境共生住宅地のあり方を盛り込んだ開発を、地域の大学や民間の研究開発・技術を活用して行う。完成後は、見学会などを行い、成果を市全体の住宅に還元する。また、設備・施工などの情報提供を行う。住宅としては、ハイテクの設備を利用したタイプでも良いが、在来工法・材料により自然のエネルギーを利用したパッシブでローテクな住宅の方が耐久性があると考えられる。</p>
20	住宅地 高齢者	低所得者でも、安心して居住可能として、生活を保障する。高齢者向け住宅、居住施設を新規に供給するより、今まで居住してきた住宅を、市の負担でリフォームして継続居住した方が社会的な経費は少なく、高齢者の環境も継続し安定するメリットがある。また、公的住宅を自治体が供給するより、基準を満たす公的・民間住宅に居住してもらい、家賃補助した方が社会的な負担は少なく、住宅供給を活発にできる。	<p>◆高齢者の住宅リフォーム、低所得者に対する家賃補助 在宅高齢者の住宅を無料でバリアフリー改修する制度。借家居住者において、支出に占める住居費が一定比率を超えた場合の、超過分の公的家賃補助。</p>
21	その他 企業・雇用	名古屋市、トヨタグループの集積する自治体（豊田市、刈谷市、大府市、知立市、みよし市）と接し、高速道路と国道1号線・23号線の交わる交通の要所にも関わらず、豊明市に進出する企業がほとんどない。	<p>◆物流拠点等の誘致・整備 名古屋と三河をつなぐ地理的要因や交通利便性をアピールすることで、昨今物流施設の大型化・複合化が進む物流企業の誘致を図り、中部の物流拠点（ハブ拠点）としての整備を目指す。ヤマト運輸の羽田クロノゲートのような視察や見学のできる施設を目指し、施設を核とした観光振興も同時に図る。 ◇成果指標(KPI) 進出企業件数、視察件数、固定資産税・都市計画税、法人市民税</p>
22	その他 健康増進	本市の特徴は文化・スポーツが盛んであるというイメージを形成すること。今後は、日本でも、ゆとりを持った余暇の時間が増えたと考えられる。	<p>◆乗馬教室など、地域の特性を生かしたスポーツ・文化講座の開設・充実 ヨーロッパでは郊外には乗馬教室があり、小学生から通っている。郊外にある本市の特長を生かした文化・スポーツを解説・充実する。中京競馬場がありながら、市とは離れたイメージを持つので、競馬場に併設したり、市の自然が豊富な地区に施設を設けて資産を活かしていく。また、池を利用した、ボート・カヤック・ヨットなどのスポーツも考えられる。ヨットは、ヨーロッパでは一般的である。釣りやキャンプも、開催したい。花卉の観賞や園芸の要望も強くなるため、催事・教室も盛んにする必要がある。</p>
23	その他 交通	市民の不満点は交通の利便が悪いことに集中している。今後の高齢化を考えると車を使えなくなる人が多くなるため、誰でも利用可能な、健康や環境に良い交通を開発する必要がある。	<p>◆車によらない交通方法の開発 名鉄バス、市のコミュニティバスで共同して、どこに居住していても利用可能なルートと運行時間とする。バスの運行状況を認識し、表示、待ち時間を把握できる停留所とする。バス停のデザインも良くない。運賃体系は、ゾーン内・時間内であれば一定とする。また、主要な道路においては、自転車道を専用にする。歩道とは独立して自然の中を走っても良いが、人の目が多いルートとする。買い物や通勤が多い道路では、車が入れない歩行者専用広場・地区を設定する。このような地区を設けることにより、人が集まり、憩い、買い物が盛んになる。</p>

豊明市先行型交付金(上乘せ分)創生事業アイデア提案一覧

ステージ	分野	I. 現状の課題・背景	II. ①を解決するための事業アイデア提案
24	その他 高齢者	大学病院は大病院があるが、病気ではない高齢者が居住する福祉と連携した住宅・施設数が市内には少ないと感じる。高齢になっても住み続けられる環境を整備しておく必要がある	◆高齢者向け住宅、高齢者居住施設の供給促進 生活を保障する市が、市内の高齢者が居住する住宅の基準・必要設備を設定する。それを踏まえて、URは高齢者向け住宅の整備を行う。また、市が設定するレベルの高齢者住宅(サービスピ付き高齢者住宅)を地域の業者が供給する。さらに、社会福祉法人をはじめとして居住施設の供給を促進する。
25	団地 高齢者	UR団地居住者の高齢化が進行し、健康や日常生活の支援が必要になってきている。また、自治会の活動も低調になってきている。	◆公的住宅団地の整備、近隣コミュニティ施設・運営の整備(地域拠点とする) 団地を改修して高齢者向けのバリアフリーの建物とする。高齢者の生活をサポートする福祉施設や集会所・食堂などの店舗の充実と運営・見守る人的な整備も行う。団地内に設ける施設・店舗は、団地ばかりでなく、周辺の高齢者をはじめ、すべての世代の居住者に開放し、地域の生活拠点とする。このような団地内・周辺の施設・店舗で働く若い世代を集め、同時に、そうした若い世代が入居できる住宅への改修を行い、世代のミックスを図る。若い世代に対しては、子育て相談・保育所や、帰宅後の学童保育所、学習支援施設を設ける。これらは、地域の大学、NPOなどと協力して実施する。
26	団地 高齢者	豊明市を含む愛知県名古屋東部(豊明市、大府市、刈谷市、知立市、東郷町、日進市、みよし市、名古屋市緑区、天白区等)は、他の大都市部と同様に2025年にむけて75歳以上人口が倍増すると予測される地域である。 医療・介護や生活支援を担う人材不足への対応と効率化へ向けた課題解決が必要。	豊明・健康長寿ささえ愛タウン計画 ①健康長寿スマート団地：UR豊明団地の低層住宅を健康サポート住宅として整備、要介護でも家庭内ロボットとICTを導入し医療・介護を連結したスマートホームの設置 ②地域サロン+まちかど保健室：市内外に30ヵ所保健室設置 ③市内の移動支援：バス、タクシーなどの経路、トヨタロボット ④藤田保健衛生大学による市民健康調査 ⑤健康活動インセンティブポイント付与 ⑥市外、県外、海外からの医療ツアー ⑦大規模災害支援拠点都市 ⑧市内4,000戸の空家活用計画
27	その他 子育て	子育てのしやすいまちに	子どもの遊び場と産直などを併設した施設をつくる 勅使会館周辺に子どもの遊具と駐車場を整備し、そこで産直市などを開く。 勅使会館の活用方を再考してはどうか。 勅使池が整備された今、勅使会館を特定の事業に使うのではなく、広く多くの人の集まる場所として活用する方がよいと思う。
28	その他 子育て・企業・雇用	女性の多様な生き方を応援する。 育児で中断した社会とのかかわりをつなぐ	「ママサロン(仮称)」を開く(検診の時などに開くと集まりやすい) ・復職を目指す時にどのようなサポートがあるか。 ・市内の企業の紹介 ・起業のヒントなど
29	その他 企業・雇用・活性化	飲食店、小売店の脆弱化、事業者間の協調性の希薄化、後継者不足、廃業による商店街、発展会の消滅・これらによる市内消費の減少、飲食人口の市外流出、しいては人口自体の減少 ・工業集積地の不足による新規工業者の誘致困難、住工混在による既存会社の伸び悩み、それによる住みにくさでの新築阻害居住者減少、人口減少 ・小規模零細企業の優遇策の欠如、大規模企業の誘致勧誘環境整備不足と、これらによる後継者の意欲減衰、雇用の減少、就労者人口の減少 ・市内の豊富な既存地域資源の連携活用、整備、市外発信の怠り	・若手経営者の啓蒙、異業種経営者間の協力による市内活性化のため、「異業種交流会」、「工業、商業経営塾」を開催 ・「豊明お出かけナイト」参画による既存、新規飲食業者の相乗効果拡大 ・ご当地グルメ「豊明ひきずり」の拡販推進による市内活性化、対外PR ・花き市場、前後・豊明駅、桶狭間古戦場、中京競馬場等を巻き込んだ「花の街とよあけ」の官民一体による対外PR ・大規模でなくても小規模点在型の工業団地用地確保のための政治的推進 ・若者や子ども、お年寄りの両世代を重点に置いたまちづくりをし、中間世代も呼び寄せる。世は情報化社会なので積極的な対外発信を行う。 ・飲食店の活性化は、市民の憩いのバロメーター、人は美味しいものに寄ってくる ・基幹産業、小規模零細企業の持続発展、企業誘致により雇用創出、就労人口増

## アンケート及びヒアリング結果の概要

## 1. 実施アンケート調査

## ①市民(若者)アンケート

実施期間	平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 17 日(月)
調査対象	豊明市在住の 16～39 歳の男女 1,500 名
回収数	451 件 (回収率 30.1%)
調査項目	生活・住まい、子育て、結婚、就業等の意識など

## ②市外転出者アンケート調査結果

実施期間	平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 17 日(月)
調査対象	平成 26 年度に豊明市より転出された方 600 名
回収数	169 (回収率 28.2%)
調査項目	転出理由、転出前後の住宅所有形態、具体的な転出先、転出後の豊明市訪問機会と理由、豊明市への再居留意向と条件など

## ③事業所アンケート調査結果

実施期間	平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 17 日(月)
調査対象	豊明商工会議所会員企業 450 社
回収数	115 (回収率 25.6%)
調査項目	・採用状況、育児・介護などの休業制度・再雇用制度の状況、 ・事業用地・施設需要、公的支援制度の活用、産学連携の状況について

## ①市民(若者)アンケート

## ■豊明市の生活・住まいについて

○豊明市の住みごころは、おおむね満足(「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」の合計が 73%)。「今後も暮らしたい」が 75%。

○一方、暮らしたいと思わないとする理由(複数回答)では、「交通の便が良くない」(45%)、「買い物や外食が不便」(44%)があげられる。

## ■子供・子育てについて

○理想の子どもの人数については、「2人」が 63%と最も多く、次いで「3人」(24%)、「1人」(6%)と高いものとなっている。しかし、理想とする子供の人数が実現できるか聞いたところ、「わからない」が 51%と最も多く、「はい」は 8%に留まる。

○理想とする子どもの数の実現が難しい理由（複数回答）については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（30%）、「収入が不安定なこと」（17%）といった経済的な理由があげられた。

○「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて「共感する」とする回答は77%であり、仕事と家庭の両立を期待。

○現在の職場が子育てをする人にとって働きやすさについて、プラス評価が51%、マイナス評価は45%で、ほぼ同じ割合。マイナス評価の原因は、労働時間の長さや、育児休暇等がとりづらい雰囲気など。

### ■婚姻について

○結婚に負担を感じることにについては、「行動の自由が制約されること」が最も多いほか、経済的な理由や、仕事と家庭の両立をあげる方が多い（いずれも30%）。ただし、結婚については前向きに考えている。

○未婚の方に、結婚しない理由を聞いたところ、「適当な相手にめぐり合わない」が43%と最も多い状況。

### ■就業について

○職業の選択で重視する点は、「職種、仕事内容」が40%と最も多い。

○希望業種は、「特にない」とする回答（24%）と多いが、「製造業」（22%）、「公務」（21%）が人気。希望職種は、「事務職」が34%と最も多く、次いで「サービス」（19%）、「研究・技術職」（17%）など、生産・技能工等の希望は9%と低い。

○豊明市内で希望の業種・職種が叶うかについて聞いたところ、「はい」（17%）にとどまる。「わからない」との回答が53%と最も多い状況。

## ②市外転出者アンケート調査結果

### ■転出理由について

○「住宅の都合（新築・借り換えなど）」が36%と圧倒的に高い状況。

○「住宅の都合（新築・借り換えなど）」を理由に転出した方の、さらに詳細な理由は、「豊明市に希望する価格の土地や住宅が見つからなかった」が31%と最も高くなっている。

### ■転出前と転出後の住宅所有形態について

○転出前は「借家（戸建、マンション等）」が57%⇒転出後は「持ち家（戸建、マンション）」50%。※住宅購入を契機に転出している。

### ■転出

○県内転出が77%。県内の転出先として「名古屋市」が35%と最も高く、次いで「刈谷市」

(10%)、豊田市(4%)。県外の転出先では、東京都が5%。

#### ■転出後の豊明市への訪問機会

○転出後に月1回以上豊明市を訪れる方の割合が48%であり、転出後も通勤や人間関係面で関係を有している。

#### ■豊明市への再居住意向

○転出者の6割が豊明市への再居住意向を有している。再居住の条件(複数回答)は、「良い生活環境があれば」(37%)、「良い住宅があれば」(34.9%)の割合が大きい。

### ③事業所アンケート

#### ■採用状況について

○新規採用は「採用なし」がいずれも8割超となっている一方、中途採用は約4割の企業が実施しており、即戦力としての中途採用に重点が置かれている。

○但し、女性の中途採用にて、「出産・育児期」で一旦退職した女性の採用は、約半数の企業が採用なし。

○採用情勢は、新卒・中途の男性の採用、パート採用が厳しい状況になっている。採用地区をみると、県内出身者がほとんどを占めている。

#### ■育児・介護休業等の休業制度・再雇用制度等について

○「育児休業制度」は過半数(54%)の企業が規定しているが、介護休業制度、子の看護休暇制度、「配偶者出産休暇制度」は規定していない企業が過半数を占めている。

○育児休業制度の期間については、「1歳まで」が42%で、「1歳6ヶ月まで」が37%。

○育児に関して講じている措置は、「短時間勤務制度」(46%)、「始業・就業時刻の繰上・繰下」(38%)、「所定外労働の免除」(42%)を規定する企業の割合が高い。規定していない企業の今後の予定をみると、積極的な姿勢はあまりみられない。

#### ■用地、施設需要について

○豊明市内または周辺での拡張・新設用地の必要性をみると、「すぐにでも必要である」は5%、「近い将来必要である」が7%、「状況によって必要となる可能性」があるが21%であり、3割以上の事業所にて用地需要がみられる。

#### ■豊明市や商工会の企業支援について

○行政の企業支援等の活用を考える際の相談先(複数回答)をみると、「銀行」が52%で最も高く、次いで「税理士・会計士事務所」、「豊明商工会」(ともに49%)、「豊明市役所」(24%)である。

○但し、過去3年間で実際に利用・相談した実績をみると、「利用したことがない・わからない」が55%で実際の利用の動きにはなっていない。

○豊明市、豊明市商工会に対して、企業活動支援の面で期待する分野は、最も期待する分野(1位)として「経営革新・経営改善」(25%)が最も多く、次いで「雇用・採用」(22%)、「販

路開拓」(21%)

○期待する分野に対する機能として、「補助金・助成金の情報提供」、「コーディネーター・専門化の紹介」、「制度、規制、税金などの説明」を希望する割合が高い。

○必要と考えられる施策(複数回答)では、「雇用・人材支援」が57%と最も高く、次いで「事業継続支援」(39%)、「販路開拓支援」(30%)、「立地支援体制の整備」、「経営革新支援」(ともに23%)と続いている。

#### ■産学連携の実施状況について

○何らかの取り組みを行っている企業は1割程度。

## 2. 実施ヒアリング

対象	実施日	場所	備考
市内金融機関(9機関)	H27.8.7(金)	市役所内会議室	グループインタビュー形式
企業経営者・幹部(6社)	H27.8.20(木)	〃	〃
保育園保護者(8名)	H27.8.19(水)	栄保育園	〃
高校生(7名)	H27.8.17(月)	星城高等学校	ワークショップ形式
商業者(コープあいち)	H27.8.19(水)	パルネス	個別ヒアリング

### ①市内金融機関(9機関)ヒアリング

#### ■住宅ローンの状況について

- 市内マンションを売却して戸建てに買い換える人が増えているが、戸建ては緑区や西三河地域で建設している。豊明市内には物件が少ないため、近隣市町村で所得するケースが多い。
- 市外からの転入によるローン需要は少ない。
- 住宅用地が限定的である。駅の近くは需要が高いが、開発用地がない。子どもも一緒に遊べる施設として、もっとPRしてみてもどうか。

#### ■豊明市の人口拡大に向けて

- 名古屋市と西三河地域の中間点に豊明市は立地していることから、両地域のベッドタウンとして機能發揮することを期待。託児所、保育園、医療費、学費支援など、共働き世帯、子育て世帯を積極的に支援することが必要。
- リニア新幹線の開業を見越して、ベッドタウンとしての豊明市の魅力をアピールすることが必要。大規模店舗を核とした土地区画整理事業により、住宅用地を確保することが望まれる。
- 団地が老朽化し、高齢化が進んでいることから、若年世帯への家賃補助やリノベーションなどの対応が求められる。
- 人口拡大には働く場所が必要であり、大型商業施設や企業を誘致することが求められる。

#### ■企業の設備投資の状況について

- 中小製造業の設備投資需要は、老朽化した機械の更新需要が少しずつ出始めている。消費税増税前の駆け込みで大規模な設備投資があったが、景気の先行きの見通しが立たないため、小規模な投資となっている。
- 東京オリンピックやリニア名古屋駅周辺開発に関連する需要が出始めている。

#### ■豊明市の雇用拡大、企業誘致について

- 名古屋、西三河の中間点にあり、立地、道路条件に恵まれていることを活かすことが需要。
- 花き市場があるが、アクセスが悪い。流通の観点からも道路整備が必要である。また、道の駅などの集客施設の併設も重要である。
- 中京競馬場のイメージはあまり良くないが、イベントで人を集めて魅力的なまちづくりをすると良い。
- 藤田学園と提携して医療、人間ドック、研究で利用すると良い。藤田学園を核に独立開業す

る医師を支援する。

## **②企業経営者・幹部(8社)ヒアリング**

### **■採用環境について**

- 新卒採用の人が集まりにくく、良い人材が採用できない。今いる人材の育成・教育でサポートして欲しい。
- 計画的な採用が難しい。豊明市商工会には就職希望者を共同で募ってほしい。
- 豊明市内からの応募がない。市内にどんな企業があり、どのような仕事をしているか発信が必要である。

### **■居住環境等**

- 鉄道駅が3箇所あるが、いずれも市内へのアクセスに問題がある。
- 市外に居住する社員が多いため、家賃補助など市外に住む社員が豊明市内に転居するようなインセンティブがほしい。

### **■販路開拓や技術開発の環境づくりについて**

- 商工会が技術開発ニーズなどを取りまとめて紹介してほしい。また、1社では対応できないニーズを情報共有できれば、他社と共同で問題解決できる可能性がある。
- 国の支援制度等を紹介してほしい。

### **■操業環境について**

- 交通アクセスが悪く、道が狭いところがある。
- 用途地域により工場の拡張や新しい設備の導入が難しいので、用途変更をお願いしたい。
- 市の業務委託を出来るだけ地元業者でやって頂きたい。地元経済の活性化に繋がる。

## **③保育園保護者(8名)ヒアリング**

### **■豊明市の子育て環境について**

- 良い点 保育園の充実・入園のしやすさ、赤ちゃん訪問、身近な図書館など
- 困った点 病後児保育、育休時の退園ルール、ゼロ歳児保育の受入施設、図書館の絵本数、子ども連れの利用しやすいスーパーマーケット（エレベーターやベビーカーが充実していない）、公園の安全対策など
- 期待する子育て支援サービス  
・児童クラブの受入額年、予防接種の無料化、1ヶ月検診での母親受診料など

### **■仕事と子育ての両立について**

- 困った点 年度途中の入園が認められないこと  
復帰1ヶ月前からならし保育の受入  
子どもを預かってもらえる時間制約（現状7:30~18:30）
- 期待する子育て支援サービス  
週のなかで弾力的に通園日を選べるような保育園がほしい  
パルネスのなかに子育て支援センターがあるとよい。  
児童館の夏休みのお弁当が予約制になっているが、柔軟な対応をしてほしい。  
児童館の場所（小学校近くか校舎内を希望）

男性向けの子育て支援の充実（土日のセミナーなどで気付きを与える）

### ■女性が活躍できる環境づくりについて

- 期待する会社像      社内託児所の充実  
                                 職場の意識改革  
                                 定時で帰宅できる会社 など
  
- 市への期待              企業・職場の子育てに対する理解を深めるような支援  
                                 ライフワークバランスに対する企業の意識づくり  
                                 子育て世帯への取組を先進的に行っている企業の表彰  
                                 子育てに理解のある企業の求人紹介制度  
                                 職場での母親教室の開催など

### ③高校生(7名)ヒアリング

#### ■将来の自分と豊明市の関係について

- ・大学に行ったり、資格を取るには豊明市にいたら無理だと思う
- ・豊明市には IT 関係やコンピュータ関連の企業が少ない
- ・デザイナーになりたいが、豊明市からでて大都市にでた方が有利
- ・田んぼが多くて田舎過ぎるから、都会に住んでみたい
- ・たくさんお店のある場所に住みたい

#### ■豊明市の課題について

##### ○都市環境について

- ・駅からの交通が悪いことが課題
- ・他県や県内から多くの人があるような施設や名所などが無い
- ・団地に若い人が住みづらい
- ・前後駅は便利なので、もっと活性化させてほしい。
- ・前後駅は、通学の学生で朝の大変混雑している

##### ○職場

- ・豊明市にどんな企業があるか知らない。看板を大きくみせるなど工夫してほしい。
- ・地元の職場をもっと知る機会を増やしてほしい

##### ○その他

- ・バランスが良い街ということを PR してみてもどうか  
（都会に行けて住みやすいまち、自然とまちのバランスがよいなど）
- ・豊明市は街のイメージがないことが課題である

#### **④商業者(コープあいち とよあけ店)ヒアリング**

##### **○駅前スーパーの課題と利便性向上について**

- ・パルネス全体でのテナントをもっと魅力的なものにしていく必要がある。
- ・エレベーターがなく、子供用カートがスーパー以外には用意されていないことから、子連れの来店者には使いにくいショッピングセンターだと思われる。
- ・現在の営業時間は、パルネスの営業時間とあわせて、夜8時までであるが、夜9時までであれば商売できる可能性があると思われる。

##### **○豊明市の地元産品の取り扱いについて**

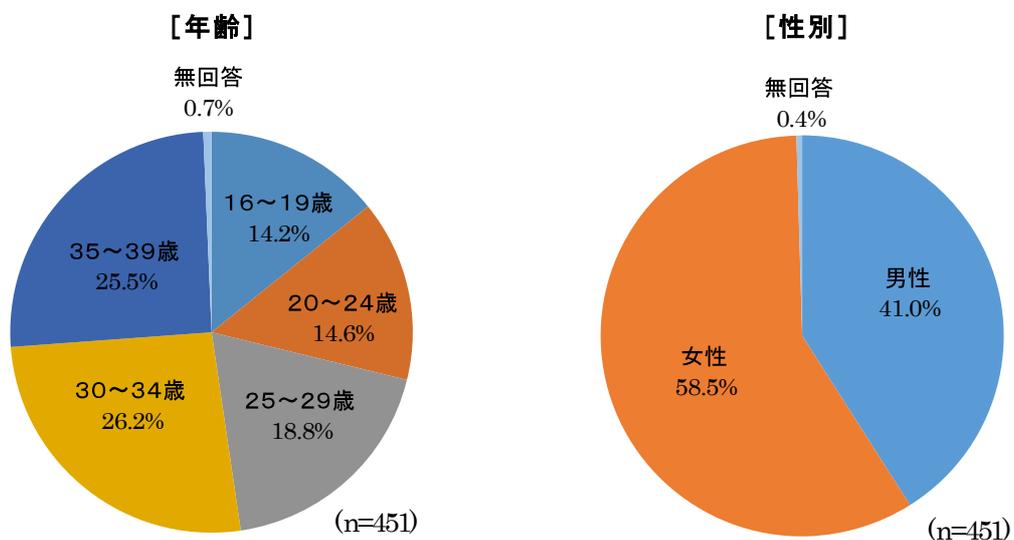
- 安定供給を前提、取扱いは可能性がある。贈答品（メロンなど）であれば、予約等もでき、売れ残りリスクもないので、地元農産品を扱うことができるのではないか。  
※ただし、コープあいちとして商品仕入れを行っているので、店長の権限でできる範囲は限られている。実際に販売するとなれば調整が必要である。

## 豊明市市民アンケート調査結果(中間報告)

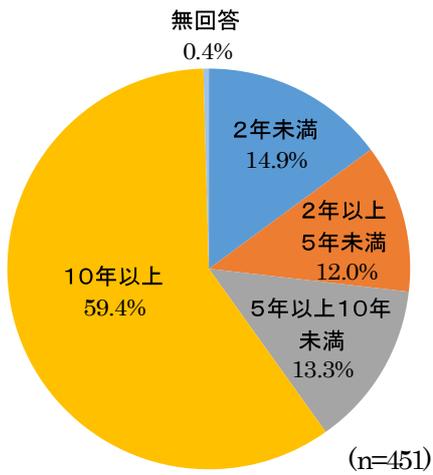
## I 調査概要

調査名	豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 市民アンケート調査
実施期間	平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 17 日(月)
調査対象	豊明市在住の 16～39 歳の男女 1,500 名 (住民基本台帳より無作為抽出)
回収数	451 件 (回収率 30.1%)
調査項目	○回答者属性 ○生活や住まいについて ○子ども・子育てについて ○結婚についての考え方・イメージ ○就業についての考え方・イメージ ○その他意見
備考	集計は 8 月 28 日(金)返送分までを対象とした。

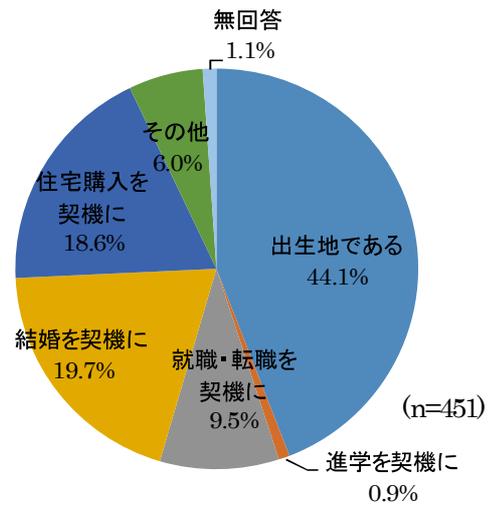
## ■問 1 回答者属性 (S A)



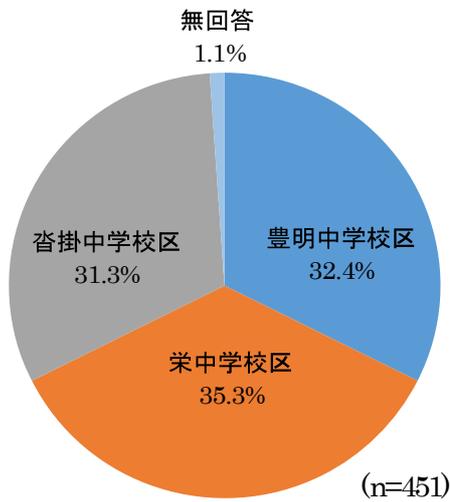
[豊明市での通算の在住期間]



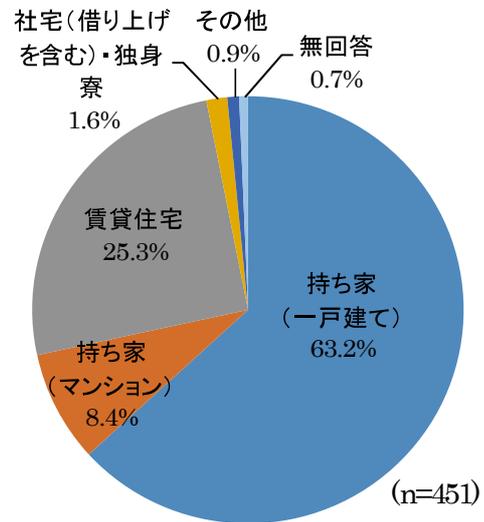
[豊明市に住むことになったきっかけ]



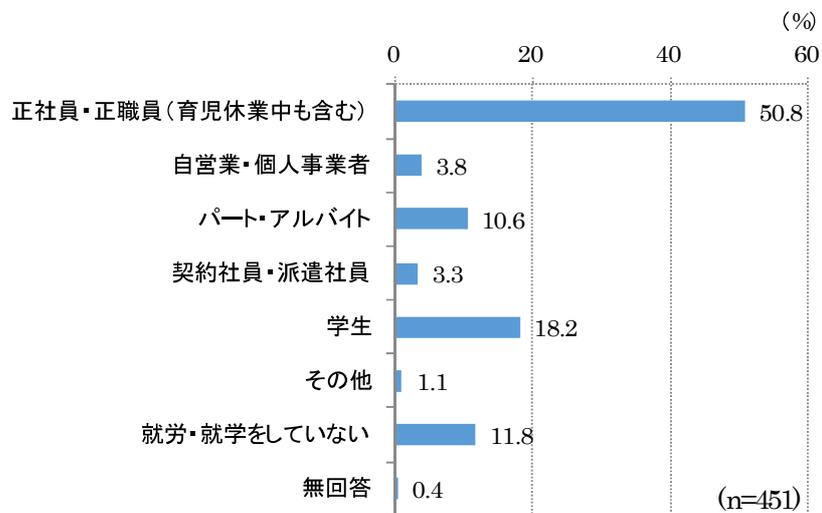
[住まいの地区]



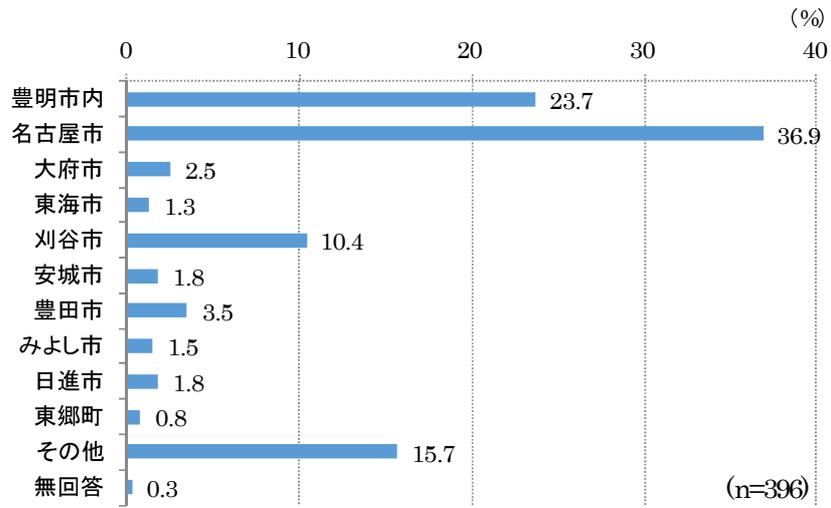
[住まい]



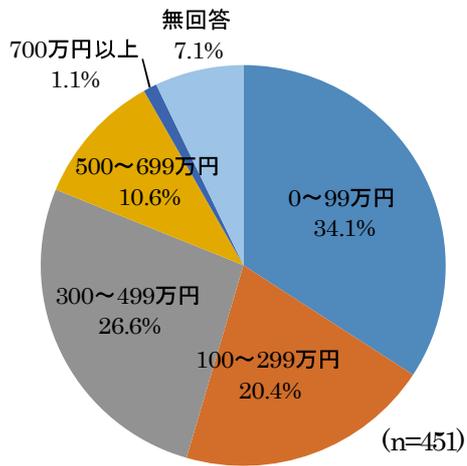
[職業の有無]



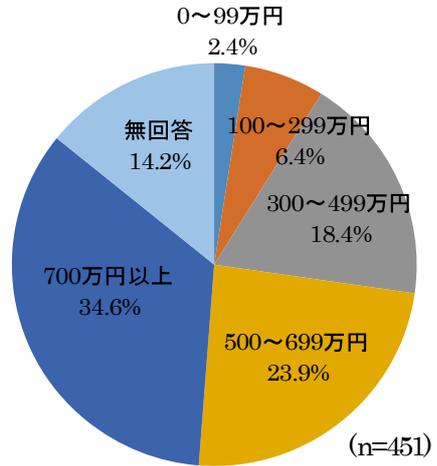
【勤務先や通学先の所在地】※就労・就学している方



【年収（平成 26 年）】



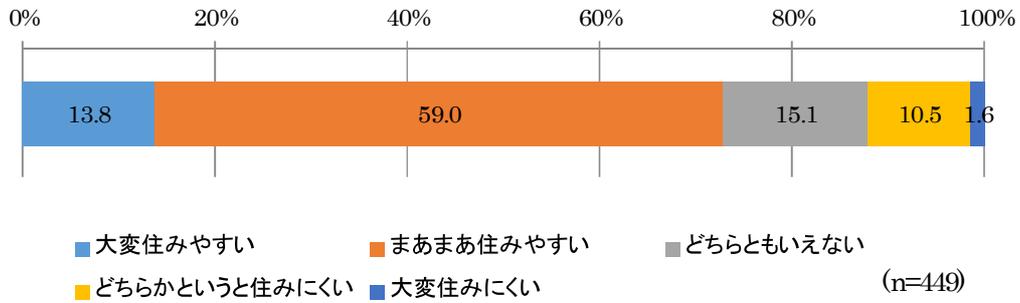
【家族全員の年収（平成 26 年）】



■問2 豊明市の住みごちはどう思いますか。(S A) ※全ての方(無回答除く)

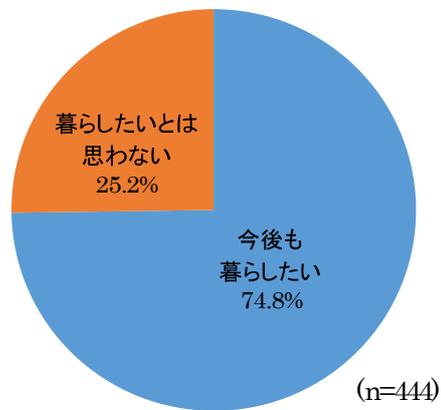
豊明市の住みごちについて、「住みやすい」(「大変住みやすい」+「まあまあ住みやすい」)は、72.8%となっている。

一方、「住みにくい」(「どちらかというに住みにくい」+「大変住みにくい」)は12.1%であり、大半が「住みやすい」としている。



■問3 今後も豊明市で暮らしたいと思いませんか。(S A) ※全ての方(無回答除く)

豊明市での暮らしについて、「今後も暮らしたい」が74.8%を占め、「暮らしたいとは思わない」は25.2%となっている。

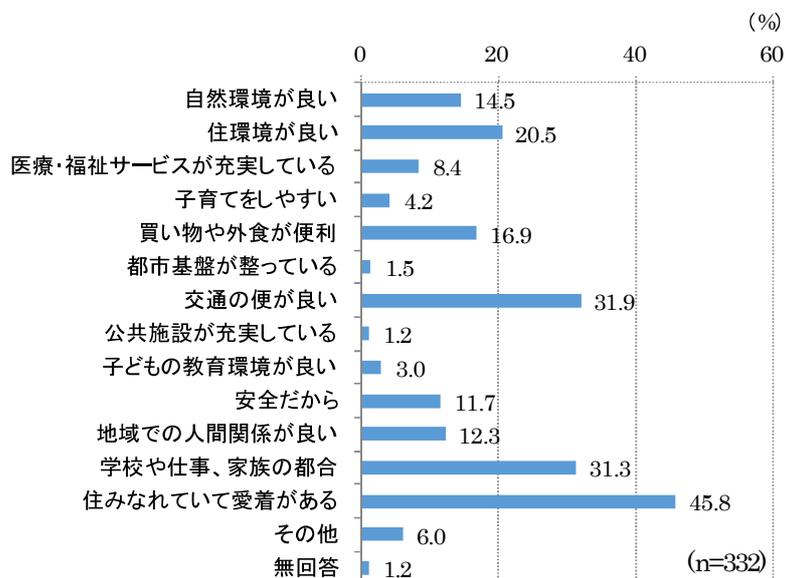


■問3-1 豊明市で暮らしたいと思う理由は何ですか？（MA）

※問3で「今後も暮らしたい」と回答した方

豊明市で暮らしたい理由については、「住みなれていて愛着がある」が45.8%と最も多く、半数近くを占めている。

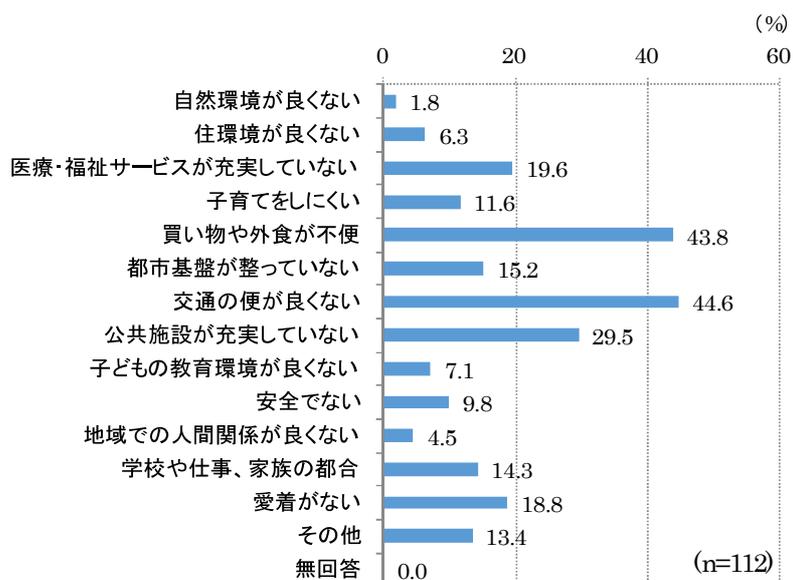
次いで「交通の便が良い」（31.9%）、「学校や仕事、家族の都合」（31.3%）となっている。



■問3-2 豊明市で暮らしたいとは思わない理由は何ですか？（MA）

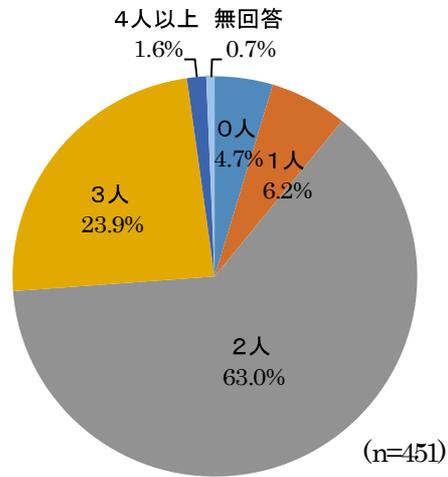
※問3で「暮らしたいとは思わない」と回答した方

豊明市で暮らしたいとは思わない理由については、「交通の便が良くない」が44.6%と最も多く、次いで「買い物や外食が不便」（43.8%）が同程度の割合で続き、「公共施設が充実していない」（29.5%）、「医療・福祉サービスが充実していない」（19.6%）と続いている。



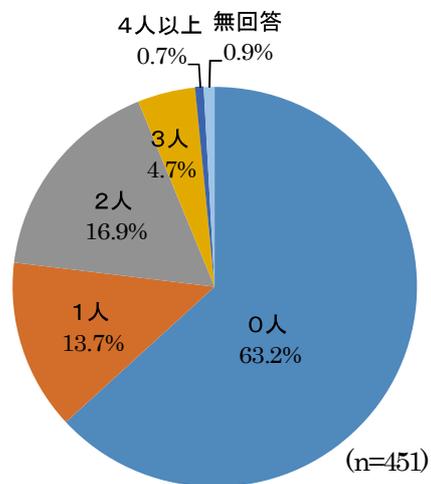
■問4 「理想の子どもの人数」は何人ですか。(SA) ※全ての方

理想の子どもの人数については、「2人」が63.0%と最も多く、次いで「3人」(23.9%)、「1人」(6.2%)となっている。



■問5 「現在」の子どもの人数は何人ですか。(SA) ※全ての方

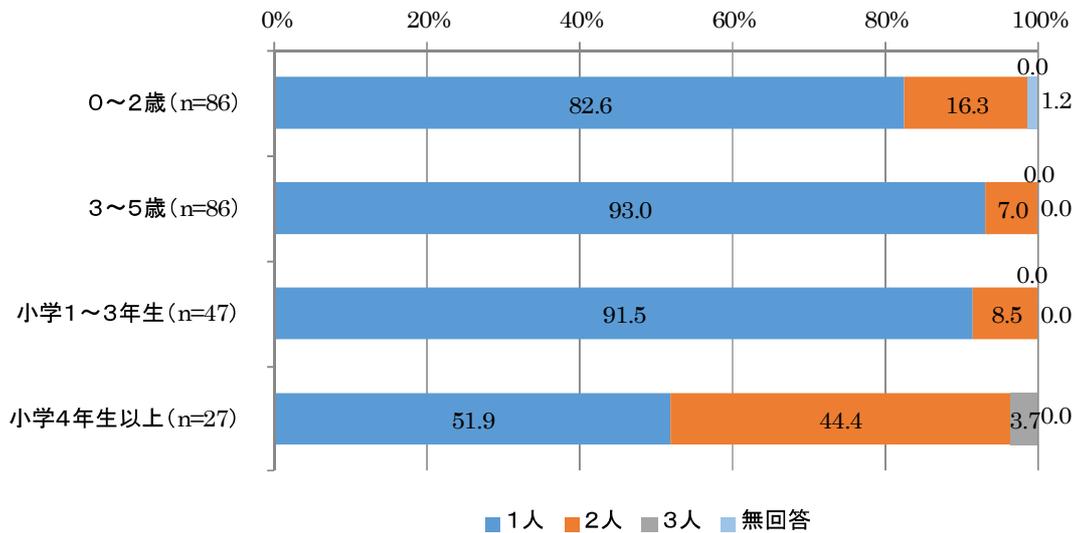
「現在」の子どもの人数については、「0人」が63.2%と最も多く、次いで「2人」(16.9%)、「1人」(13.7%)となっている。



■問6 お子さんは何歳と人数は何人ですか。 ※お子さんがいらっしゃる方

子どもの年齢と人数については、どの年代も「1人」が最も多く、次いで「2人」となっている。

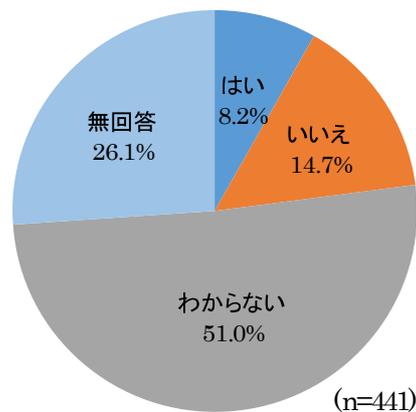
「小学4年生以上」については、「1人」「2人」の割合にあまり差がなく、「3人」と回答があるのもこの年代のみとなっている。



■問7 理想とする子どもの人数は実現できそうですか。(S A)

※問4「理想の子ども的人数」に対して「現在の子ども的人数」が少ない方

理想とする子ども的人数の実現については、「わからない」が51.0%と最も多く、「はい」は8.2%に留まる。

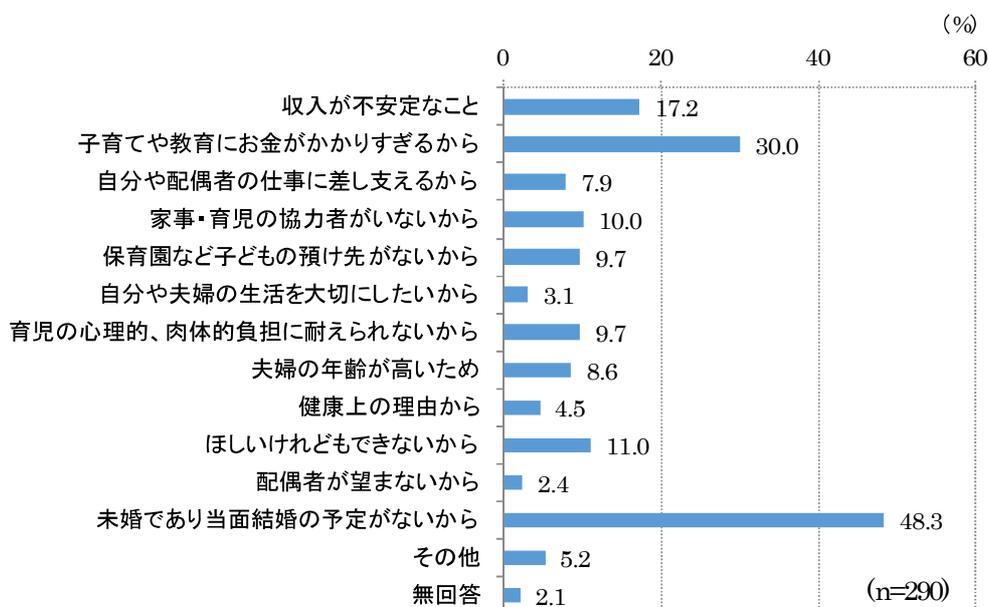


■問8 理想とする子どもの数の実現が難しいのは、どのような理由からですか。(MA)

※問7で「いいえ」、「わからない」と回答した方

理想とする子どもの数の実現が難しい理由については、「未婚であり当面結婚の予定がないから」が48.3%と最も多く、半数近くをしめている。

次いで「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(30.0%)、「収入が不安定なこと」(17.2%)となっている。

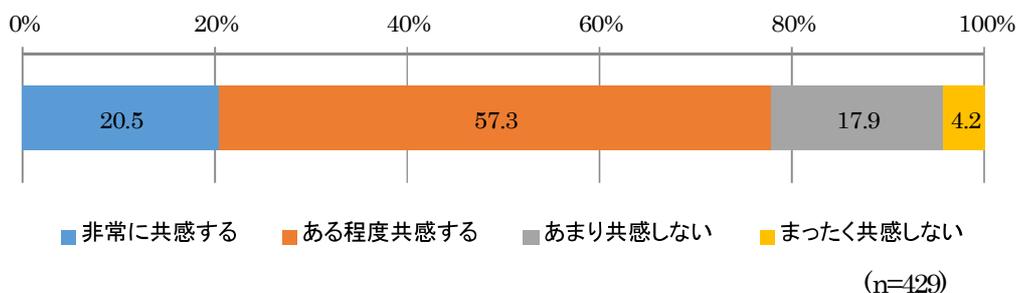


■問9 「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもの産み育てやすい環境につながる」という考えについて、どのようにお考えですか。(SA)

※全ての方(無回答除く)

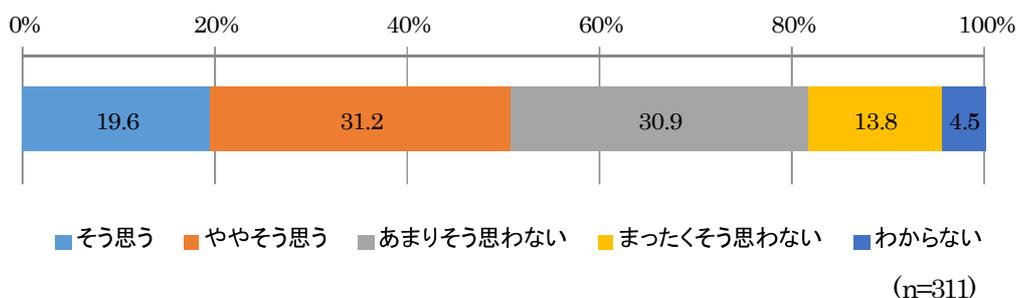
「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもの産み育てやすい環境につながる」という考えについて、「共感する」(「非常に共感する」+「ある程度共感する」)は77.3%と約8割を占めている。

一方、「共感しない」(「あまり共感しない」+「まったく共感しない」)は22.1%となっている。



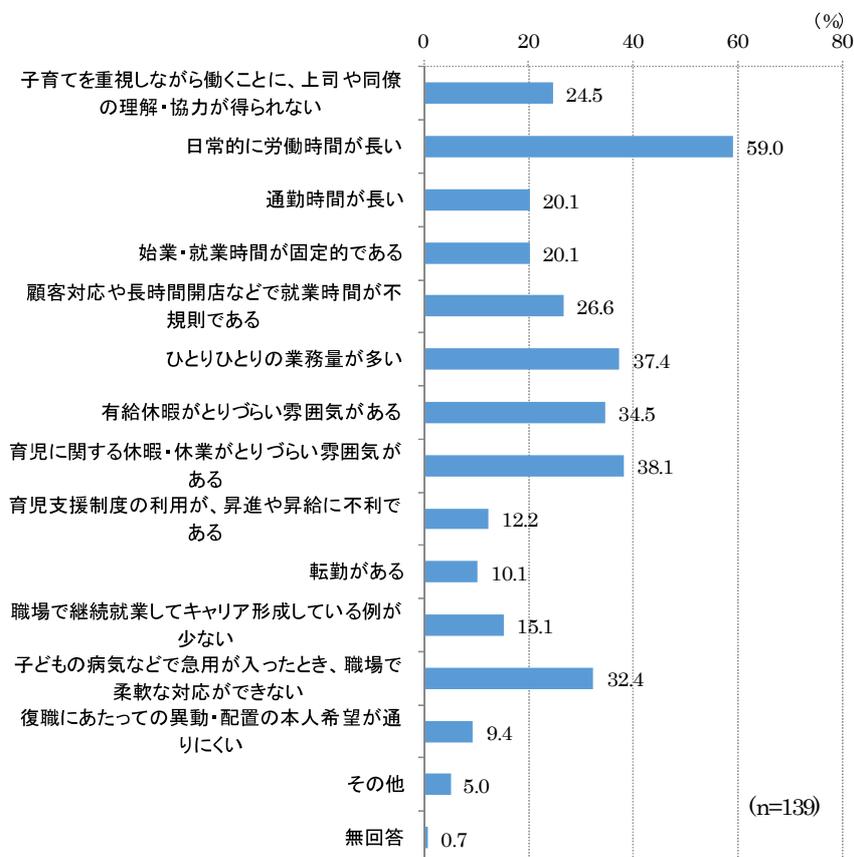
■問10 あなたの職場は、子育てをする人（男女問わず）にとって働きやすいと思いますか。（SA） ※就労している方（無回答除く）

現在の職場が子育てをする人にとって働きやすいかについて、「そう思う」（19.6%）と「ややそう思う」（31.2%）を合わせると50.8%であるが、一方、「あまりそう思わない」（30.9%）、「まったくそう思わない」（13.8%）を合わせると44.7%であり、同程度の割合となっている。



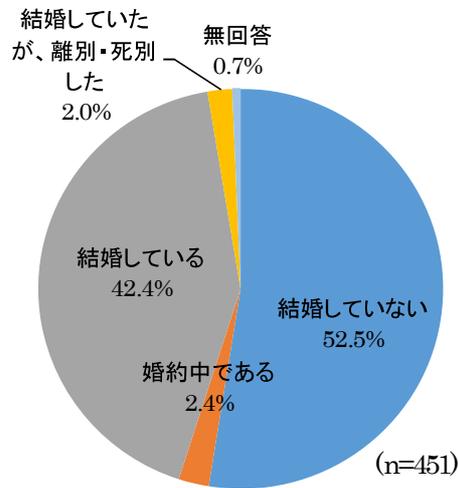
■問11 問10で3または4と答えた方にお聞きします。働きやすいのは、何が原因だと思いますか。（MA）

働きやすい原因については、「日常的に労働時間が長い」が59.0%と最も多く、次いで「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」（38.1%）、「ひとりひとりの業務量が多い」（37.4%）となっている。



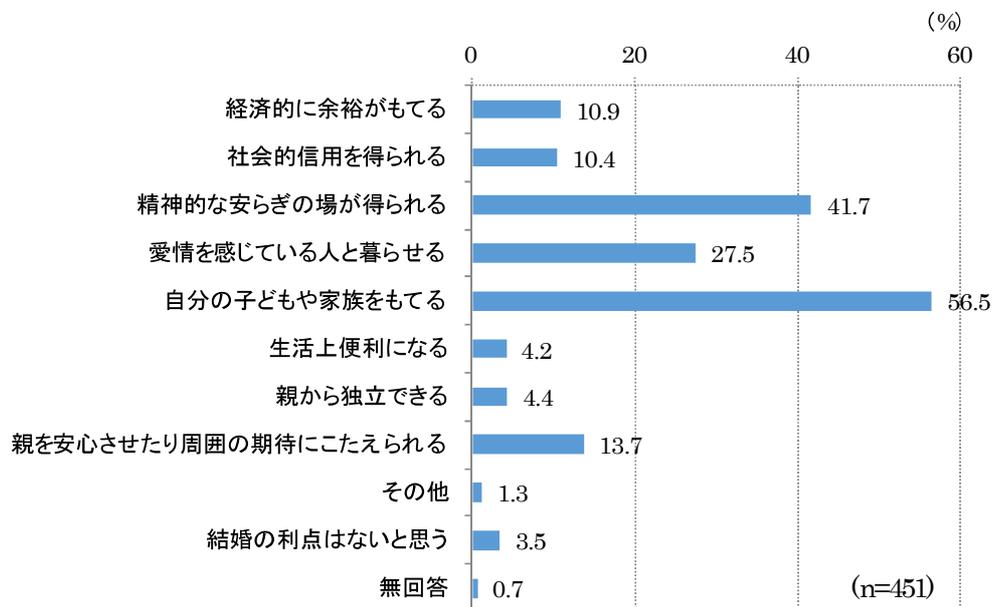
■問12 婚姻について、お教えてください。(SA) ※全ての方

婚姻については、「結婚していない」が52.5%と最も多く過半数を占めている。次いで「結婚している」が42.4%、「婚約中である」が2.4%となっている。



■問13 あなたは、結婚の利点をどのようにお考えですか。(MA) ※全ての方

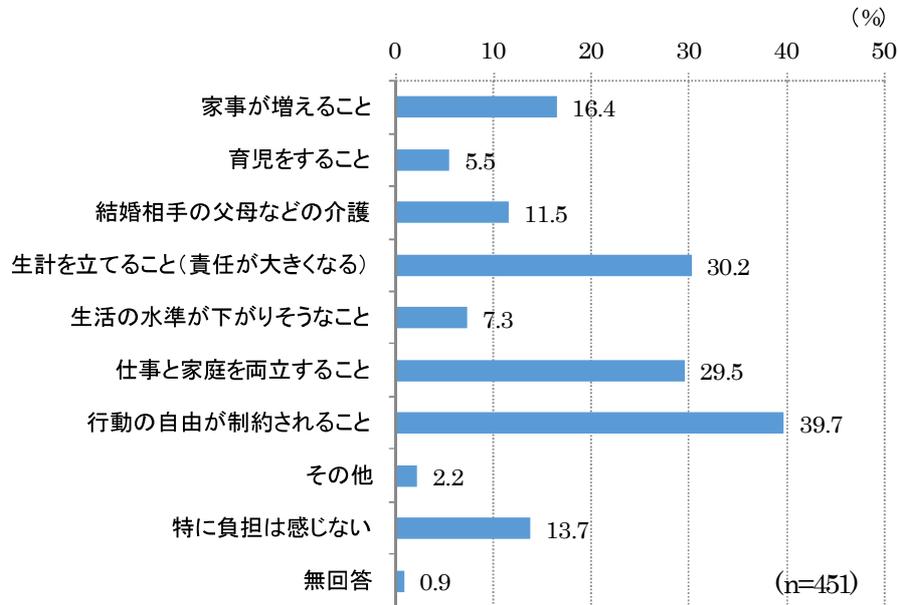
結婚の利点については、「自分の子どもや家族をもてる」が56.5%と最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」(41.7%)、「愛情を感じている人と暮らせる」(27.5%)となっている。



■問 1 4 あなたが、結婚に負担を感じるのは、どのようなことですか。(MA)

※全ての方

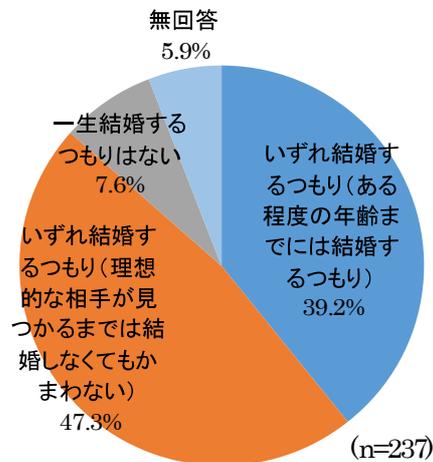
結婚に負担を感じることは、「行動の自由が制約されること」が 39.7%と最も多く、次いで「生計を立てること(責任が大きくなる)」(30.2%)、「仕事と家庭を両立すること」(29.5%)となっている。



■問 1 5 あなたは、結婚について、どのようにお考えですか。(SA)

※問 1 2 で「結婚していない」とお答えの方

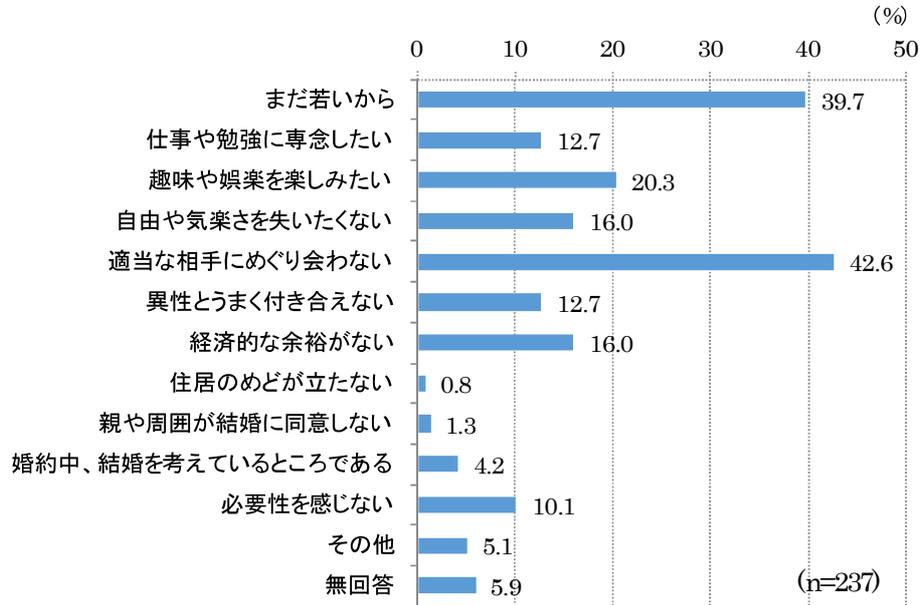
結婚については、「いずれ結婚するつもり(理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない)」が 47.3%と最も多く、次いで「いずれ結婚するつもり(ある程度の年齢までには結婚するつもり)」(39.2%)となっている。一方、「一生結婚するつもりはない」は 1 割未満となっており、大半が結婚について前向きな意向を示している。



■問16 あなたは、どのような理由で結婚していませんか。(MA)

※問12で「結婚していない」とお答えの方

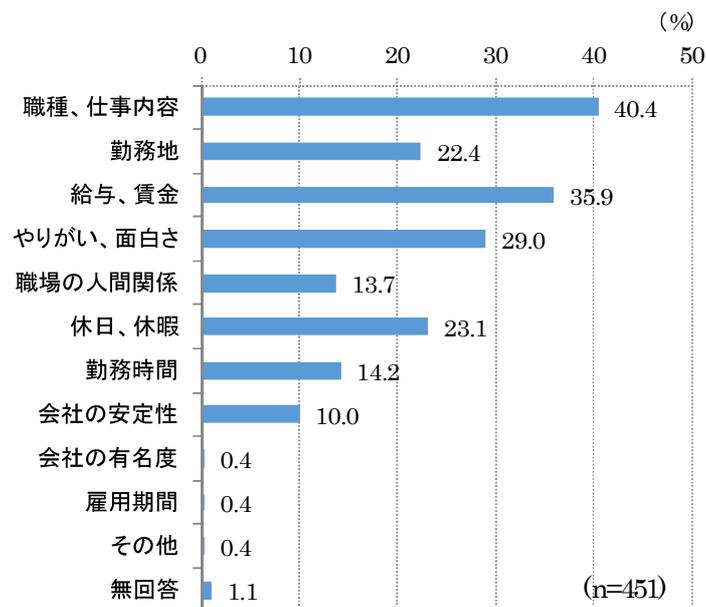
結婚しない理由については、「適当な相手にめぐり合わない」が42.6%と最も多く、次いで「まだ若いから」(39.7%)、「趣味や娯楽を楽しみたい」(20.3%)となっている。



■問17 あなたが職業を選択する際、どのような点を重視しますか。(MA)

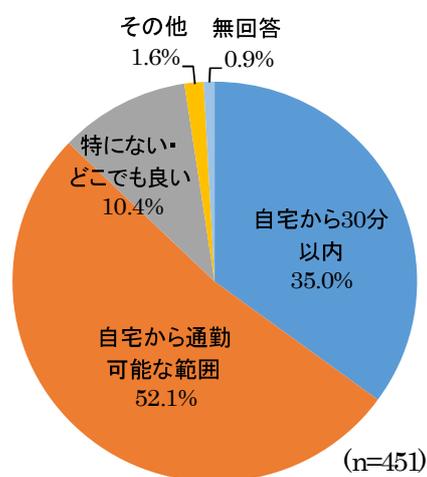
※全ての方

職業の選択で重視する点については、「職種、仕事内容」が40.4%と最も多く、次いで「給与、賃金」(35.9%)、「やりがい、面白さ」(29.0%)となっている。



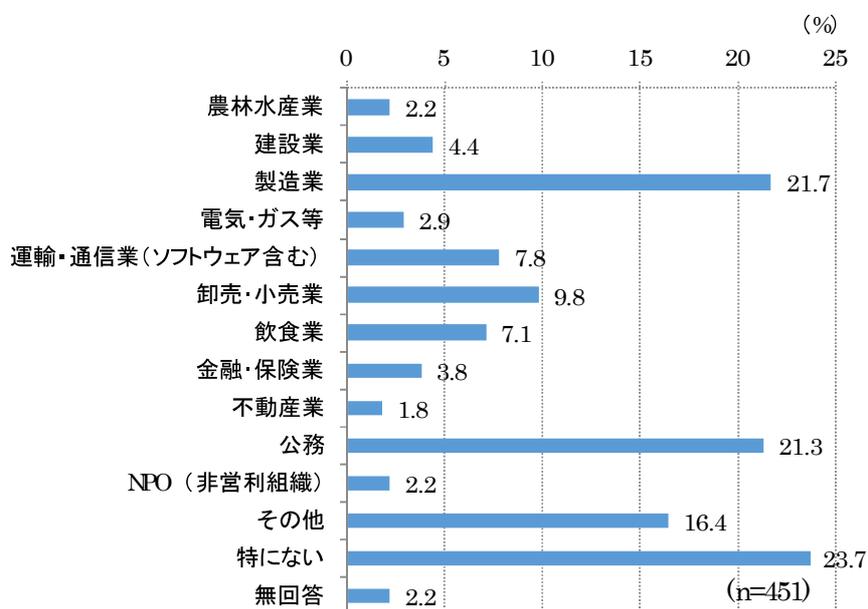
■問18 勤務地域の条件はありますか。(SA) ※全ての方

勤務地域の条件については、「自宅から通勤可能な範囲」が52.1%と最も多く、次いで「自宅から30分以内」(35.0%)となっている。



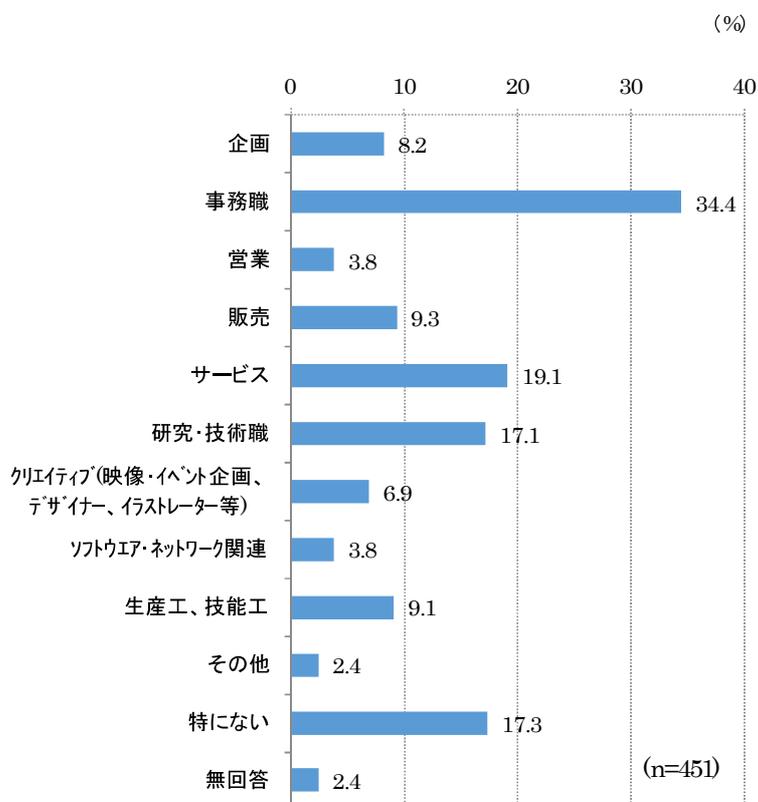
■問19 どのような業種への就業を希望されますか。(MA) ※全ての方

希望の業種については、「特にない」が23.7%と最も多い。次いで「製造業」(21.7%)、「公務」(21.3%)となっている。



■問20 どのような職種への就業を希望されますか。(MA) ※全ての方

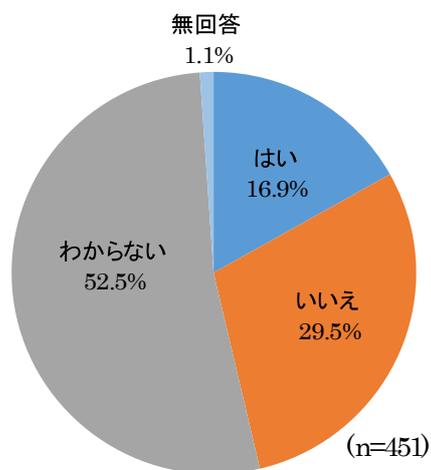
希望の職種については、「事務職」が34.4%と最も多く、次いで「サービス」(19.1%)、「特にない」(17.3%)、「研究・技術職」(17.1%)となっている。



■問21 あなたの希望する業種・職種への就業は豊明市内で叶いますか。(SA)

※全ての方

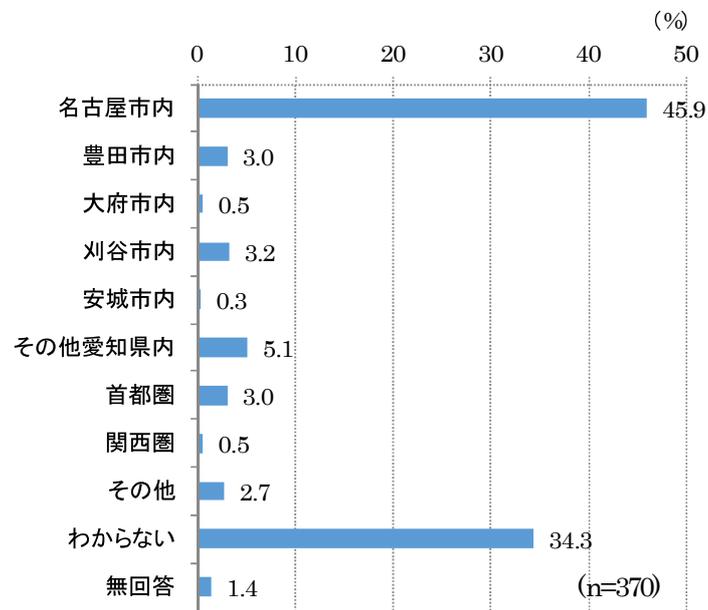
豊明市内で希望の業種・職種が叶うかについては、「わからない」が52.5%と最も多く、次いで「いいえ」(29.5%)、「はい」(16.9%)となっている。



■問22 どこであれば希望が叶うと思いますか。(S A)

※問21で「いいえ」「わからない」と回答した方

希望が叶うと思う地域については、「名古屋市内」が45.9%と最も多く、次いで「わからない」(34.3%)となっている。



[参考] アンケート調査票

問1 あなたのことについて、お尋ねします。

(1) 年齢 (1つに○印)

\* 記入いただいている時点での年齢をお答えください。

1) 16～19歳	2) 20～24歳	3) 25～29歳	4) 30～34歳
5) 35～39歳			

(2) 性別 (1つに○印)

1) 男性	2) 女性
-------	-------

(3) 豊明市での通算の在住期間 (1つに○印)

1) 2年未満	2) 2年以上5年未満
3) 5年以上10年未満	4) 10年以上

(4) 豊明市に住むことになったきっかけ (1つに○印)

1) 出生地である	2) 進学を契機に	3) 就職・転職を契機に
4) 結婚を契機に	5) 住宅購入を契機に	6) その他
( )		

(5) お住まいの地区 (1つに○印)

1) 豊明中学校区	2) 栄中学校区	3) 杏掛中学校区
わからない方はお住まいの町名・字名をご記入ください ( )		

(6) 住まい (1つに○印)

1) 持ち家 (一戸建て)	2) 持ち家 (マンション)	3) 賃貸住宅
4) 社宅 (借り上げを含む)・独身寮	5) その他 ( )	

(7) 職業の有無 (1つに○印)

\* 収入を伴う就労 (家業の手伝いも含む) を対象とし、家事やボランティア活動は除いてください。

1) 正社員・正職員 (育児休業中も含む)	2) 自営業・個人事業者
3) パート・アルバイト	4) 契約社員・派遣社員
5) 学生	6) その他 ( )
7) 就労・就学をしていない	

※(7)で「1」～「6」とお答えの方にお尋ねします。

(8) 勤務先や通学先の所在地(1つに○印)

1) 豊明市内	2) 名古屋市	3) 大府市	4) 東海市
5) 刈谷市	6) 安城市	7) 豊田市	8) みよし市
9) 日進市	10) 東郷町	11) その他 ( )	

※すべての方にお尋ねします。\*お願い プライベートな質問のため可能な限りお答えください。

(9) あなたの年収(平成26年)をお教えてください。(1つに○印)

\* ボーナス等も含めた税込です。

1) 0～99万円	2) 100～299万円	3) 300～499万円
4) 500～699万円	5) 700万円以上	

(10) ご家族全員の年収(平成26年)についてお教えてください。(1つに○印)

\* 同居している家族全員の収入を対象とします。

\* 1人暮らしの場合は、(9)と同じになります。

1) 0～99万円	2) 100～299万円	3) 300～499万円
4) 500～699万円	5) 700万円以上	

## 生活や住まいについて

※すべての方にお尋ねします。

問2 豊明市の住みごころはどう思いますか。(1つに○印)

1) 大変住みやすい	2) まあまあ住みやすい
3) どちらともいえない	4) どちらかというに住みにくい
5) 大変住みにくい	



※お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

問6 お子さんは何歳ですか。(あてはまるものに人数を記入)

1) 0～2歳 ( ) 人	2) 3～5歳 ( ) 人
3) 小学1～3年生 ( ) 人	4) 小学4年生以上 ( ) 人

※問4の「理想の子どもの人数」に対して問5の「現在の子どもの人数」が少ない方にお尋ねします。

問7 理想とする子どもの人数は実現できそうですか。(1つに○印)

1) はい	2) いいえ	3) わからない
-------	--------	----------

※問7で「2」又は「3」とお答えの方にお尋ねします。

問8 理想とする子どもの数の実現が難しいのは、どのような理由からですか。  
(特に重要なこと3つまで○印)

1) 収入が不安定なこと	2) 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
3) 自分や配偶者の仕事に差し支えるから	4) 家事・育児の協力者がいないから
5) 保育園など子どもの預け先がないから	6) 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
7) 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	
8) 夫婦の年齢が高いため	9) 健康上の理由から
10) ほしいけれどもできないから	11) 配偶者が望まないから
12) 未婚であり当面結婚の予定がないから	13) ) そ の 他
( )	

問9 「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、どのようにお考えですか。(1つに○印)

1) 非常に共感する	2) ある程度共感する	3) あまり共感しない
4) まったく共感しない		

※就労している方にお尋ねします。

問10 あなたの職場は、子育てをする人(男女問わず)にとって働きやすいと思いますか。  
(1つに○印)

1) そう思う	2) ややそう思う	3) あまりそう思わない
4) まったくそう思わない	5) わからない	

問 1 1 問 1 0 で 3 または 4 と 答えた方にお聞きします。働きやしくないのは、何が原因だ  
と思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1) 子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない
- 2) 日常的に労働時間が長い
- 3) 通勤時間が長い
- 4) 始業・就業時間が固定的である
- 5) 顧客対応や長時間開店などで就業時間が不規則である
- 6) ひとりひとりの業務量が多い
- 7) 有給休暇がとりづらい雰囲気がある
- 8) 育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある
- 9) 育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である
- 10) 転勤がある
- 11) 職場で継続就業してキャリア形成している例が少ない
- 12) 子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない
- 13) 復職にあたっての異動・配置の本人希望が通りにくい
- 14) その他 ( )

**結婚についての考え方・イメージ**

※すべての方にお尋ねします。

問 1 2 婚姻について、お教えてください。(1つに○印)

- 1) 結婚していない
- 2) 婚約中である
- 3) 結婚している
- 4) 結婚していたが、離別・死別した

※すべての方にお尋ねします。結婚していない方も、イメージでお答えください。

問 1 3 あなたは、結婚の利点をどのようにお考えですか。(2つまで○印)

- 1) 経済的に余裕がもてる
- 2) 社会的信用を得られる
- 3) 精神的な安らぎの場が得られる
- 4) 愛情を感じている人と暮らせる
- 5) 自分の子どもや家族をもてる
- 6) 生活上便利になる
- 7) 親から独立できる
- 8) 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる
- 9) その他 ( )
- 10) 結婚の利点はないと思う

問14 あなたが、結婚に負担を感じるのは、どのようなことですか。(2つまで○印)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1) 家事が増えること       | 2) 育児をすること            |
| 3) 結婚相手の父母などの介護   | 4) 生計を立てること(責任が大きくなる) |
| 5) 生活の水準が下がりそうなこと | 6) 仕事と家庭を両立すること       |
| 7) 行動の自由が制約されること  | 8) その他( )             |
| 9) 特に負担は感じない      |                       |

※問12で「1 結婚していない」とお答えの方にお尋ねします。

問15 あなたは、結婚について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

- |   |
|---|
| 1) いずれ結婚するつもり(ある程度の年齢までには結婚するつもり)         |
| 2) いずれ結婚するつもり(理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない) |
| 3) 一生結婚するつもりはない                           |

問16 あなたは、どのような理由で結婚していませんか。(3つまで○印)

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1) まだ若いから        | 2) 仕事や勉強に専念したい         |
| 3) 趣味や娯楽を楽しみたい   | 4) 自由や気楽さを失いたくない       |
| 5) 適当な相手にめぐり合わない | 6) 異性とうまく付き合えない        |
| 7) 経済的な余裕がない     | 8) 住居のめどが立たない          |
| 9) 親や周囲が結婚に同意しない | 10) 婚約中、結婚を考えているところである |
| 11) 必要性を感じない     | 12) その他( )             |

### 就業についての考え方・イメージ

※すべての方にお尋ねします。就業していない方も、イメージでお答えください。

問17 あなたが職業を選択する際、どのような点を重視しますか。(2つまで○印)

- |             |            |           |
|-------------|------------|-----------|
| 1) 職種、仕事内容  | 2) 勤務地     | 3) 給与、賃金  |
| 4) やりがい、面白さ | 5) 職場の人間関係 | 6) 休日、休暇  |
| 7) 勤務時間     | 8) 会社の安定性  | 9) 会社の有名度 |
| 10) 雇用期間    | 11) その他( ) |           |

問18 勤務地域の条件はありますか。(1つに○印)

- |              |                |                |
|--------------|----------------|----------------|
| 1) 自宅から30分以内 | 2) 自宅から通勤可能な範囲 | 3) 特にない・どこでも良い |
| 4) その他( )    |                |                |

問19 どのような業種への就業を希望されますか。(2つまで○印)

- |                     |           |          |                |
|---------------------|-----------|----------|----------------|
| 1) 農林水産業            | 2) 建設業    | 3) 製造業   | 4) 電気・ガス等      |
| 5) 運輸・通信業(ソフトウェア含む) | 6) 卸売・小売業 | 7) 飲食業   |                |
| 8) 金融・保険業           | 9) 不動産業   | 10) 公務   | 11) NPO(非営利組織) |
| 12) その他( )          |           | 13) 特にない |                |

問20 どのような職種への就業を希望されますか。(2つまで○印)

1) 企画	2) 事務職	3) 営業
4) 販売	5) サービス	6) 研究・技術職
7) クリエイティブ (映像・イベント企画、デザイナー、イラストレーター等)		
8) ソフトウェア・ネットワーク関連	9) 生産工、技能工	
10) その他 ( )	11) 特にない	

問21 あなたの希望する業種・職種への就業は豊明市内で叶いますか。(1つに○印)

1) はい	2) いいえ	3) わからない
-------	--------	----------

※問21で「2」～「3」とお答えの方にお尋ねします。

問22 どこであれば希望が叶うと思いますか。(1つに○印)

1) 名古屋市内	2) 豊田市内	3) 大府市内
4) 刈谷市内	5) 安城市内	6) その他愛知県内
7) 首都圏	8) 関西圏	9) その他 ( )
10) わからない		

首都圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県      関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

※すべての方にお尋ねします。

問23 住まい、結婚、子育てについて、一人ひとりの思いが叶う社会づくりについて、ご意見やご要望などをご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて 8月17日(月)までにご返信ください。

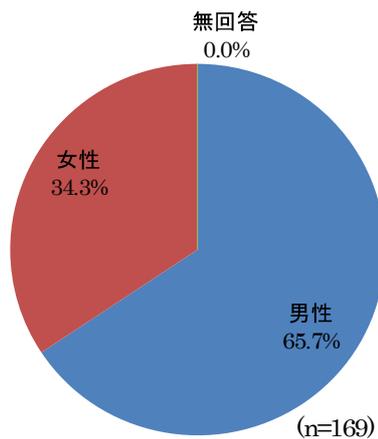
## 豊明市転出者アンケート調査結果

## I 調査概要

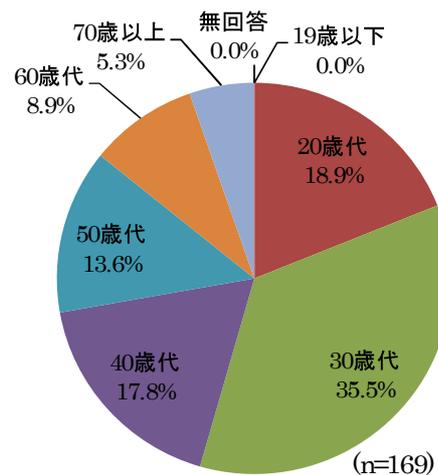
調査名	豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 市外転出者アンケート調査
実施期間	平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 17 日(月)
調査対象	平成 26 年度に豊明市より転出された方 600 名 (住民基本台帳より無作為抽出)
回収数	169 (回収率 28.2%)
調査項目	○転出時の家族形態 ○豊明市での居住年数(通算) ○豊明市からの転出理由 ○転出前後の住宅所有形態 ○具体的な転出先 ○転出後の豊明市訪問機会と理由 ○豊明市への再居留意向と条件 ○回答者属性(性別、年齢) ○その他意見
備考	集計は 8 月 28 日(金)返送分までを対象とした。

## ■回答者属性(SA)

【性別】



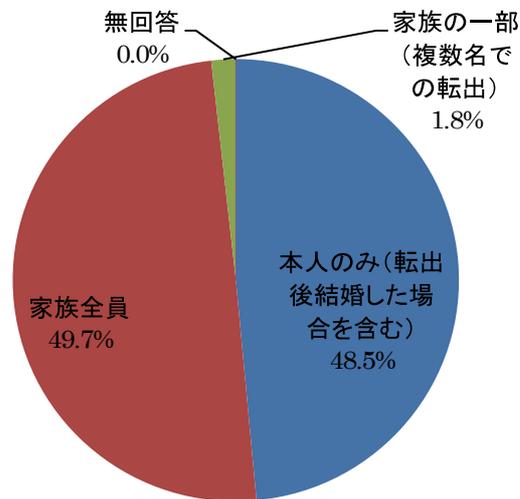
【年齢】



## II アンケート集計結果

### 1. 豊明市からの転出時の家族形態（S A）

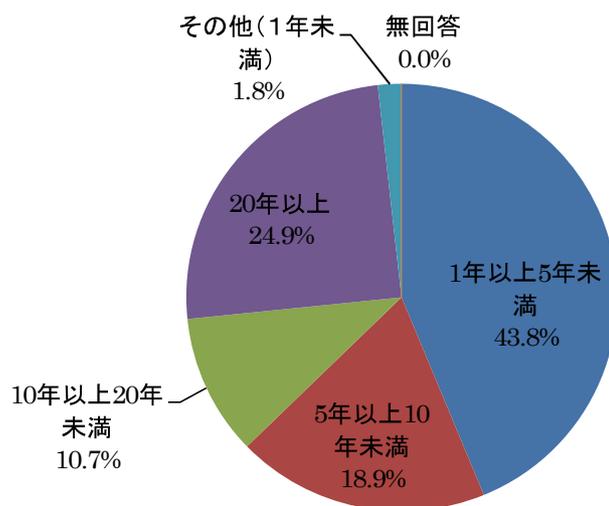
転出時の家族形態は、「本人のみ（転出後結婚した場合を含む）」（48.5%）、「家族全員」（49.7%）で二分されている。



(n=169)

### 2. 豊明市での居住年数（通算）（S A）

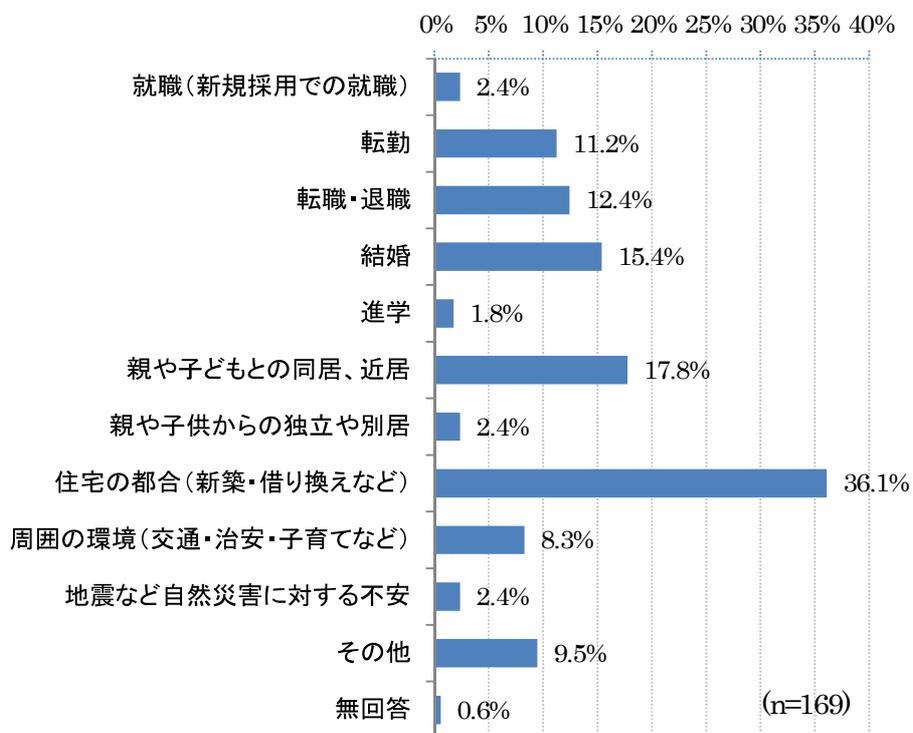
「1年以上5年未満」が43.8%と最も多く、次いで「20年以上」（24.9%）、「5年以上10年未満」（18.9%）であり、居住年数10年未満が約6割を占めている。



(n=169)

### 3. 豊明市からの転出理由（MA）

「住宅の都合（新築・借り換えなど）」が36.1%と最も高く、次いで、「親や子どもとの同居、近居」（17.8%）、「結婚」（15.4%）となっている。一方、「就職（新規採用での就職）」（2.4%）、「転勤」（11.2%）、「転職・退職」（12.4%）の割合は低く、仕事上の都合よりも個人的な理由での転出割合が高い傾向にある。

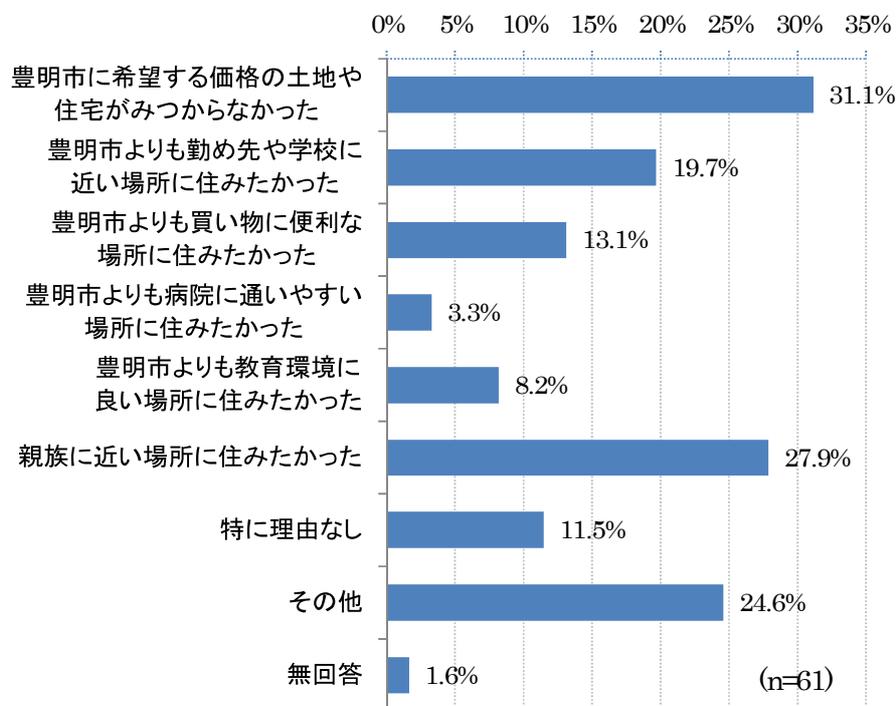


#### ○その他

- ・ 健康保険に資産税かかるから
- ・ 社宅の退所
- ・ 職場が名古屋市なので近くに住みたかった
- ・ 配偶者死亡のため
- ・ 親の残した家を建てかえて、土地を利用するため。
- ・ 母の介護等
- ・ 両親が亡くなった後、よりひとり暮らし向きで、通勤に便利なマンションへ転居のため
- ・ 田舎ぐらし目当て
- ・ 親が亡くなったため
- ・ 出産
- ・ 子供がすでに転出していたので
- ・ 税金、水道料金が安い。
- ・ 近隣住民の騒音、話し声など
- ・ プチ家出

#### 4. 住宅の都合で転出した際の具体的な理由（MA）

「住宅の都合（新築・借り換えなど）」を理由に転出した方に対して、具体的な理由を聞いたところ、「豊明市に希望する価格の土地や住宅が見つからなかった」が31.1%と最も高く、次いで「親族に近い場所に住みたかった」（27.9%）、「豊明市よりも勤め先や学校に近い場所に住みたかった」（19.7%）となっている。

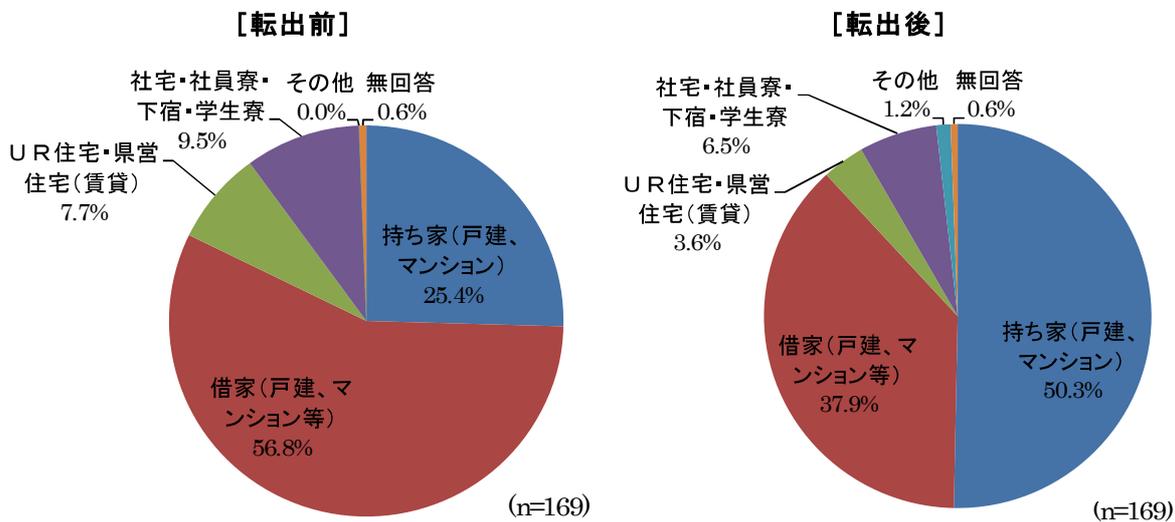


#### ○その他

- ・ 仕事場に近い場所に住みたかった
- ・ 新築物件が勤務会社と連携していた。
- ・ 子供に家を継がせ、再婚のため。
- ・ 豊明市よりも住みやすい環境の場所に住みたかった
- ・ 機会があれば引っ越したかった。
- ・ 武豊に土地があった
- ・ 持ち家を買った場所が豊明市外だった。
- ・ 親の残した土地を相続したため。
- ・ 親の所有地があった為
- ・ 交通機関の便利な所
- ・ 仲の良い友人に近い場所に住みたかった。
- ・ 隣が犯罪者
- ・ 家族が増え、アパートがせまくなったから
- ・ 自分たちにとって、いい物件が見つかったから
- ・ 会社の寮として借りていたアパートの期限が来た為

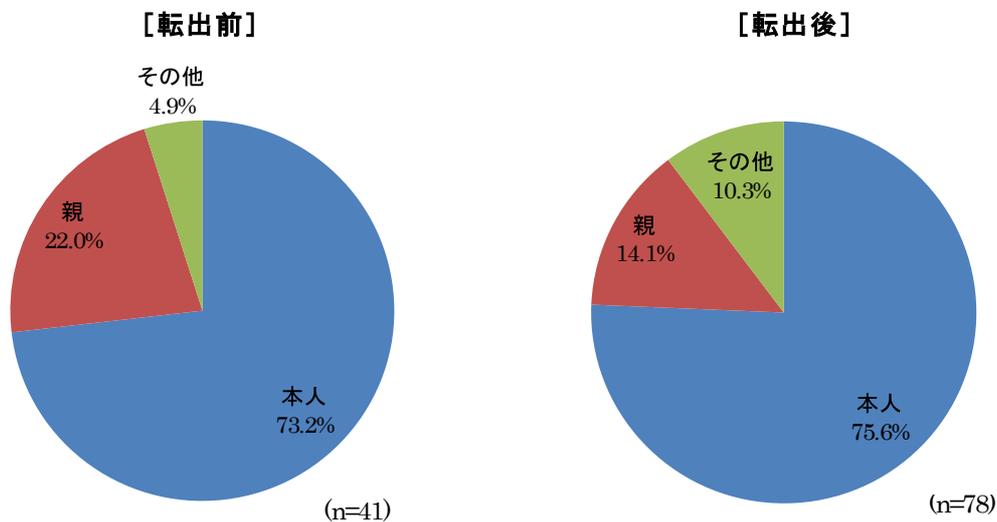
## 5. 転出前と転出後の住宅所有形態について（SA）

転出前は「借家（戸建、マンション等）」が 56.8%と過半数を占めているが、転出後は約半数が「持ち家（戸建、マンション）」が 50.3%を占めていることから、「住宅の都合」により転出した方の多くは、住宅購入を契機に転出していることがうかがえる。



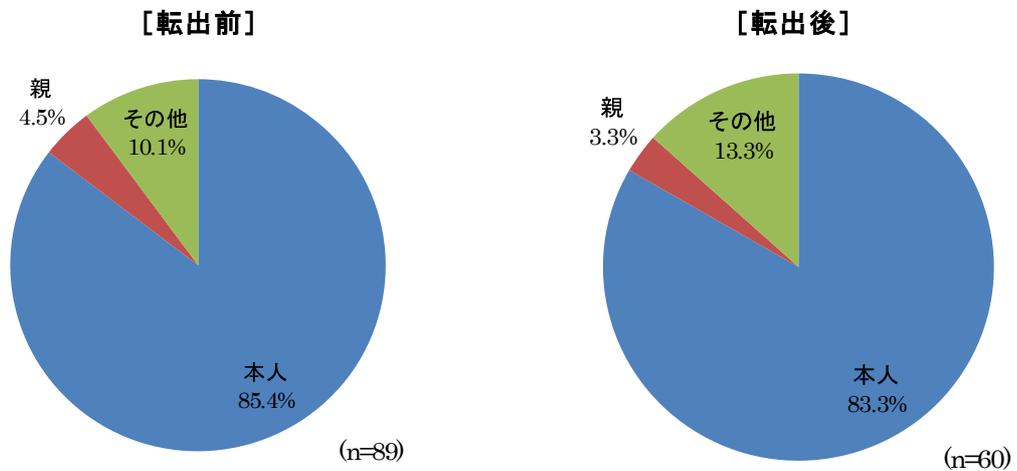
### ○持ち家所有者

転出前に比べて転出後は「本人」の割合が 2.4 ポイント高くなり、「親」の割合が 7.9 ポイント低くなっている。



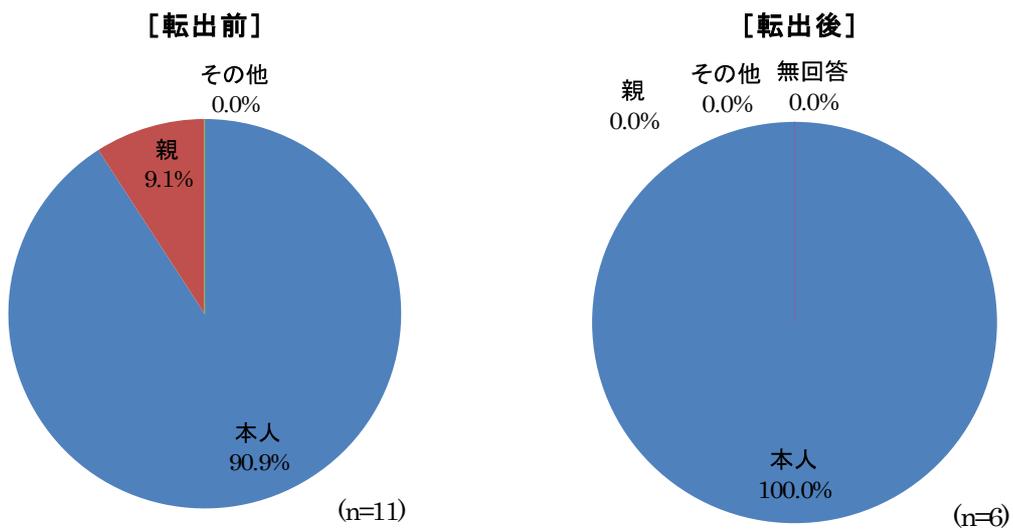
### ○借家借主

転出前に比べて転出後は「本人」、「親」の割合がそれぞれ 2.1 ポイント、1.2 ポイント低くなる一方、「その他」が 3.2 ポイント高くなっている。



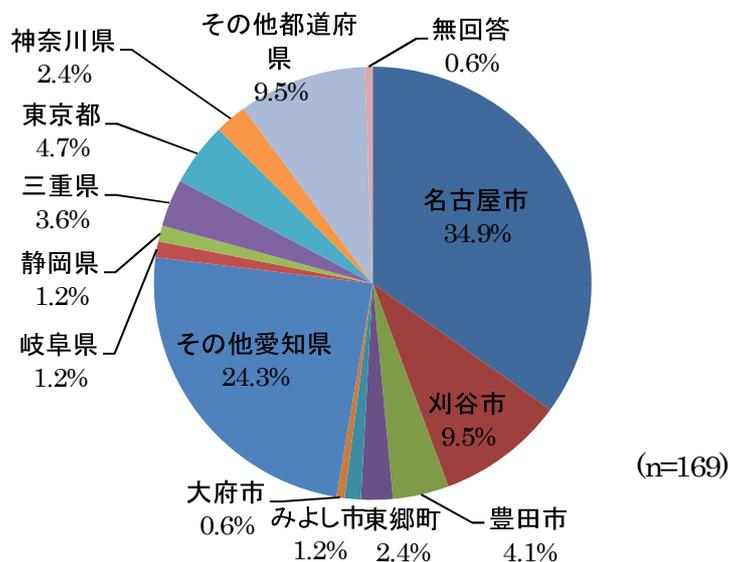
### ○UR・県営住宅借主

転出前は「親」が 9.1%であったが、転出後は「本人」のみとなっている。



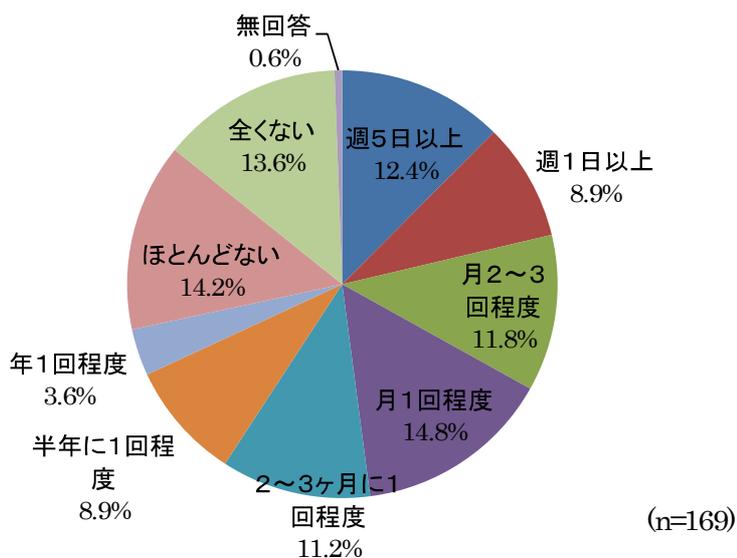
## 6. 転出先（F A）

愛知県内へ転出する割合は76.9%であり、転出者の多くが県内各市町村へ転出している。県内の転出先として「名古屋市」が34.9%と最も高く、次いで「刈谷市」(9.5%)。豊田市(4.1%)となっている。県外の転出先では、東京都の割合が最も高く4.7%を占めている。



## 7. 転出後の豊明市への訪問機会（S A）

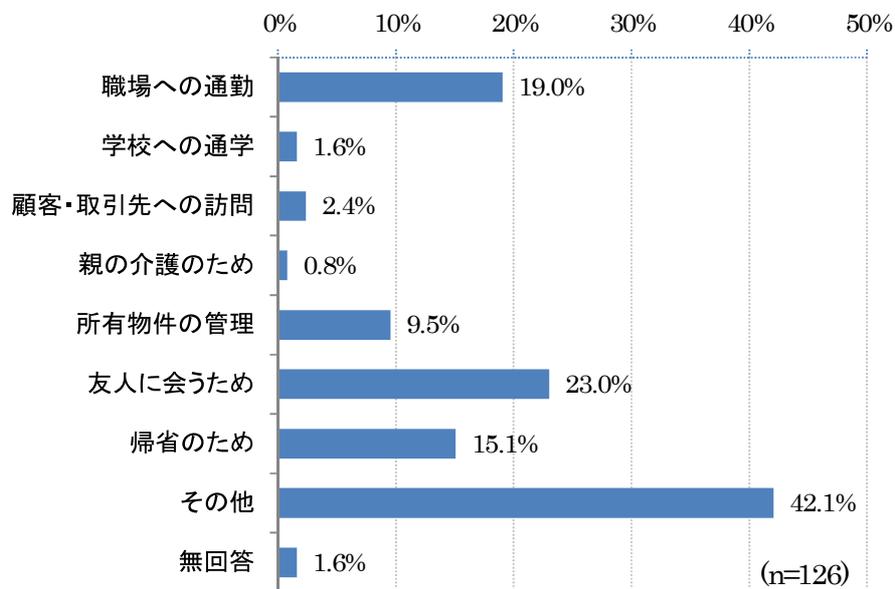
転出後に月1回以上豊明市を訪れる方の割合（「週5日以上」+「週1日以上」+「月2～3回程度」+「月1回程度」）は47.9%となっている。一方、訪れない（「ほとんどない」+「全くない」）とする方は27.8%となっている。



## 8. 転出後に豊明市を訪問した理由（MA）

転出後に豊明市を訪れた理由については、「その他」を除き、「友人に会うため」が23.0%と最も高く、次いで「職場への通勤」（19.0%）となっている。

「その他」としては、「買い物」が最も多く、次いで「病院（通院）」となっている。



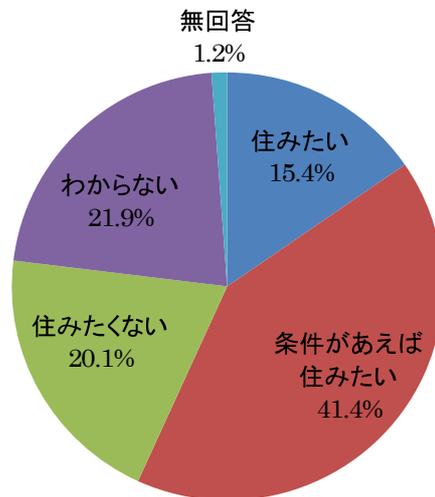
### ○その他（数字は回答数）

- ・ 買い物 [14]
- ・ 病院（通院） [7]
- ・ 飲食店（食事） [6]
- ・ 実家（親族が住んでいる） [6]
- ・ 美容院・床屋 [2]
- ・ 藤田衛生大学病院 [2]
- ・ 小売店 [2]
- ・ 遊びに行くため [1]
- ・ イベント [1]
- ・ 高速利用の為 [1]
- ・ 葬儀 [1]
- ・ 習い事 [1]
- ・ 名鉄利用のため [1]
- ・ 郵便物の受け取り [1]

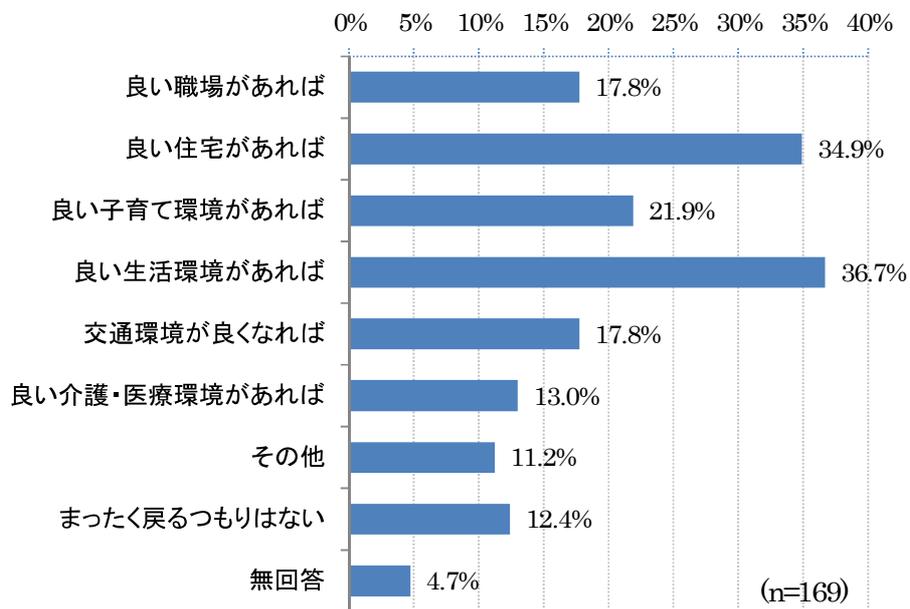
### 9. 豊明市への再居住意向（SA）と再居住にあたっての条件（MA）

転出者の59.8%が豊明市への再居住意向（「住みたい」＋「条件があれば住みたい」）を示している。

再居住にあたっての条件として、「良い生活環境があれば」（36.7%）、「良い住宅があれば」（34.9%）の割合が大きい。



(n=169)



(n=169)

○その他（数字は回答数）

- ・ 豊明で土地がもっと安く買えていたら、豊明で建てていたけれど。
- ・ 持ち家なので…
- ・ 住宅購入したので戻れませんが、とても好きな街でした。
- ・ 職場の移転
- ・ 親の世話がなくなったら・・・
- ・ 生活環境、価格等も含め、自分にとっていい条件の住まいがあれば
- ・ 他市で家を建てるため
- ・ ペット2匹をかえる家
- ・ 転勤があれば
- ・ 現在の豊明市内の居住環境であれば
- ・ 市議会の改善
- ・ 近隣住民のマナーがよければ
- ・ 家庭の都合がつけば
- ・ 市の財政
- ・ 義父母が死去した時]

[参考] アンケート調査票

問1 豊明市から転出された時の家族形態を教えてください。(1つに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1) 本人のみ (転出後結婚した場合を含む) |
| 2) 家族全員                |
| 3) 家族の一部 (複数名での転出)     |

問2 豊明市における通算の居住年数を教えてください。(1つに○)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1) 1年以上5年未満   | 2) 5年以上10年未満 |
| 3) 10年以上20年未満 | 4) 20年以上     |

問3 豊明市から転出された理由を教えてください。(あてはまるもの全て)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1) 就職 (新規採用での就職)       | 2) 転勤                |
| 3) 転職・退職               | 4) 結婚                |
| 5) 進学                  | 6) 親や子どもとの同居、近居      |
| 7) 親や子供からの独立や別居        | 8) 住宅の都合 (新築・借り換えなど) |
| 9) 周囲の環境 (交通・治安・子育てなど) | 10) 地震など自然災害に対する不安   |
| 11) その他 ( )            |                      |

問4 問3で「8) 住宅の都合 (新築・借り換えなど)」を選択された方にうかがいます。具体的な理由について教えてください。(あてはまるもの全て)

- |                              |
|------------------------------|
| 1) 豊明市に希望する価格の土地や住宅がみつからなかった |
| 2) 豊明市よりも勤め先や学校に近い場所に住みたかった  |
| 3) 豊明市よりも買い物に便利な場所に住みたかった    |
| 4) 豊明市よりも病院に通い場所に住みたかった      |
| 5) 豊明市よりも教育環境に良い場所に住みたかった    |
| 6) 親族に近い場所に住みたかった            |
| 7) 特に理由なし                    |
| 8) その他 ( )                   |

問5 転出前と転出後の住宅の所有形態について教えてください。(1つに○)

【転出前】

- |                   |       |       |      |        |
|-------------------|-------|-------|------|--------|
| 1) 持ち家 (戸建、マンション) | ⇒ 所有者 | イ) 本人 | ロ) 親 | ハ) その他 |
| 2) 借家 (戸建、マンション等) | ⇒ 借主  | イ) 本人 | ロ) 親 | ハ) その他 |
| 3) UR住宅・県営住宅 (賃貸) | ⇒ 借主  | イ) 本人 | ロ) 親 | ハ) その他 |
| 4) 社宅・社員寮・下宿・学生寮  |       |       |      |        |
| 5) その他 ( )        |       |       |      |        |

【転出後】

- |                   |       |       |      |        |
|-------------------|-------|-------|------|--------|
| 1) 持ち家 (戸建、マンション) | ⇒ 所有者 | イ) 本人 | ロ) 親 | ハ) その他 |
| 2) 借家 (戸建、マンション等) | ⇒ 借主  | イ) 本人 | ロ) 親 | ハ) その他 |
| 3) UR住宅・公営住宅 (賃貸) | ⇒ 借主  | イ) 本人 | ロ) 親 | ハ) その他 |
| 4) 社宅・社員寮・下宿・学生寮  |       |       |      |        |
| 5) その他 ( )        |       |       |      |        |

問6 転出先を教えてください。

_____都・道・府・県_____市・区・町・村
--------------------------

問7 転出後、豊明市を訪れる機会がありますか。(1つに○)

1) 週5日以上	2) 週1日以上	3) 月2～3回程度
4) 月1回程度	5) 2～3ヶ月に1回程度	6) 半年に1回程度
7) 年1回程度	8) ほとんどない	9) 全くない

問8 問5で「1)～7)」を選択された方にうかがいます。豊明市を訪れる理由を教えてください。(あてはまるもの全て)

1) 職場への通勤	2) 学校への通学	3) 顧客・取引先への訪問
4) 親の介護のため	5) 所有物件の管理	6) 友人に会うため
7) 帰省のため	8) その他 ( )	

問9 もし、機会があれば、豊明市にもう一度住みたいと思われませんか。(1つに○)

1) 住みたい	2) 条件があれば住みたい
3) 住みたくない	4) わからない

問10 豊明市でもう一度住むとしたら、どのような条件が必要になりますか。(あてはまるもの全て)

1) 良い職場があれば	2) 良い住宅があれば
3) 良い子育て環境があれば	4) 良い生活環境があれば
5) 交通環境が良くなれば	6) 良い介護・医療環境があれば
7) その他 ( )	
8) まったく戻るつもりはない	

問11 あなたの性別を教えてください。

1) 男性	2) 女性
-------	-------

問12 あなたの年齢を教えてください。

1) 19歳以下	2) 20歳代	3) 30歳代	4) 40歳代
5) 50歳代	6) 60歳代	7) 70歳以上	

問13 豊明市のまちづくりについてご意見があれば自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて **8月17日(月)までにご返信**ください。

## 豊明市事業所アンケート調査結果

## I 調査概要

調査名	豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業所アンケート調査
実施期間	平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 17 日(月)
調査対象	豊明商工会議所会員企業 450 社
回収数	115 (回収率 25.6%)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>○昨年の採用状況について<ul style="list-style-type: none"><li>・新規採用、中途採用、配置状況、採用環境 など</li></ul></li><li>○育児・介護などの休業制度・再雇用制度の状況について<ul style="list-style-type: none"><li>・各種制度の規定・運用状況 など</li></ul></li><li>○事業用地・施設需要について<ul style="list-style-type: none"><li>・取得需要、用途、面積 など</li></ul></li><li>○公的支援制度について<ul style="list-style-type: none"><li>・利用・相談の状況、期待する企業活動支援策 など</li></ul></li><li>○産学連携の状況について<ul style="list-style-type: none"><li>・産学連携への取組状況 など</li></ul></li><li>○その他意見</li><li>○回答者属性（事業所名、所在地、創業年、業種、従業員数 など）</li></ul>
備考	集計は 8 月 28 日(金)返送分までを対象とした。

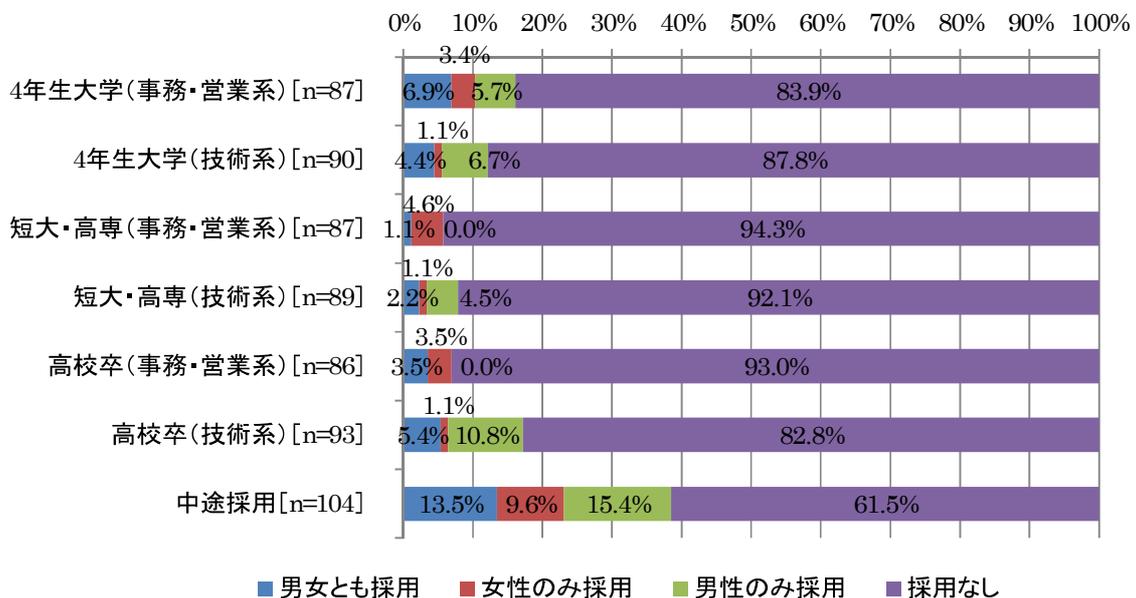
## II アンケート集計結果

### 1. 採用状況について

#### ①豊明市内事業所の昨年の新規採用・中途採用状況（SA）

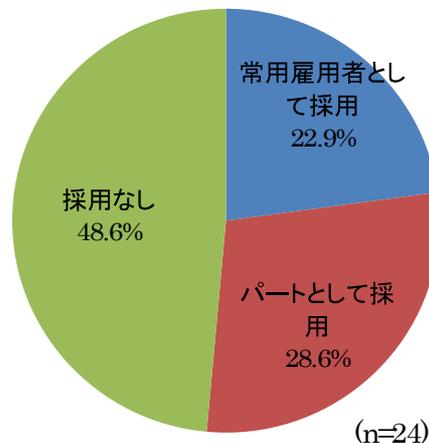
新規採用は「採用なし」がいずれも8割超となっている一方、中途採用は約4割の企業が実施しており、即戦力としての中途採用に重点が置かれていることがうかがえる。

新規採用の割合は「高校卒（技術系）」が17.3%と最も高く、次いで「4年生大学（事務・営業系）」（16.0%）、「4年生大学（技術系）」（12.2%）となっている。内訳でみると、「男女とも採用」の割合は「4年生大学（事務・営業系）」の6.9%が最も高く、次いで「高校卒（技術系）」（5.4%）となっている。「女性のみ採用」の割合は、「短大・高専（事務・営業系）」の4.6%が最も高く、次いで「高校卒（事務・営業系）」（3.5%）となっている。「男性のみ採用」の割合は「高校卒（技術系）」の10.8%が最も高く、次いで「4年生大学（技術系）」（6.7%）となっている。



#### ②中途採用で女性を採用したケースで、「出産・育児期」に一旦退職し、再就職を希望する女性を採用したか（SA）

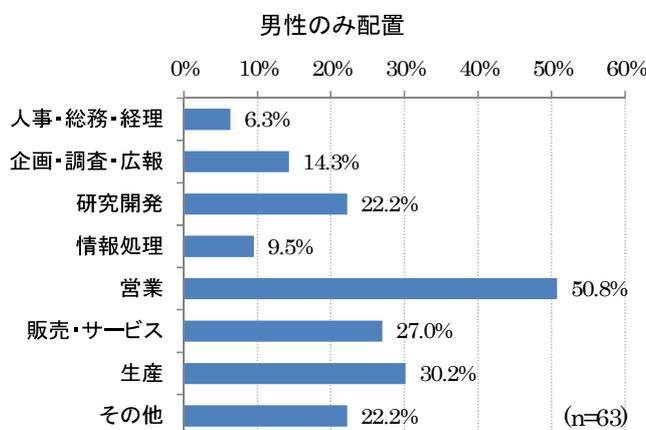
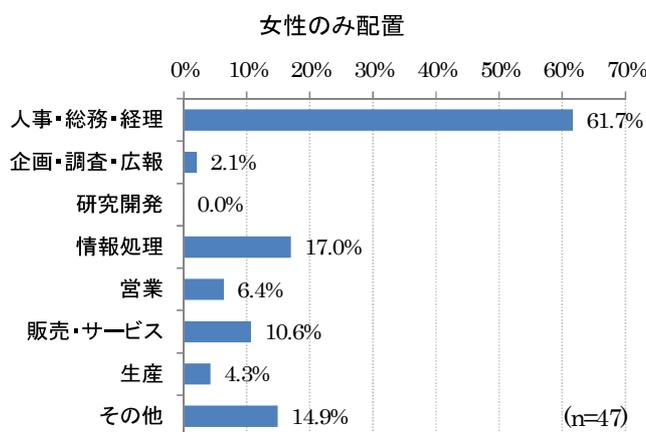
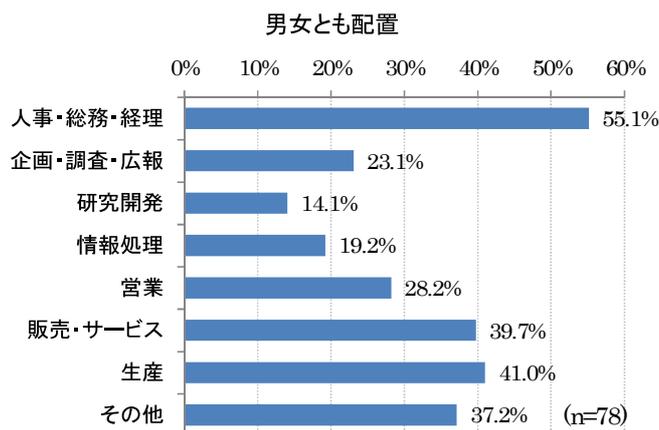
採用（「常用雇用者として採用」＋「パートとして採用」）が51.5%であり、半数の企業が再就職を希望する女性を採用している。



### ③各部署での男女の配置状況（SA）

「男女とも配置」は「人事・総務・経理」が 55.1%で最も高く、次いで「生産」（41.0%）、「販売・サービス」（39.7%）となっている。

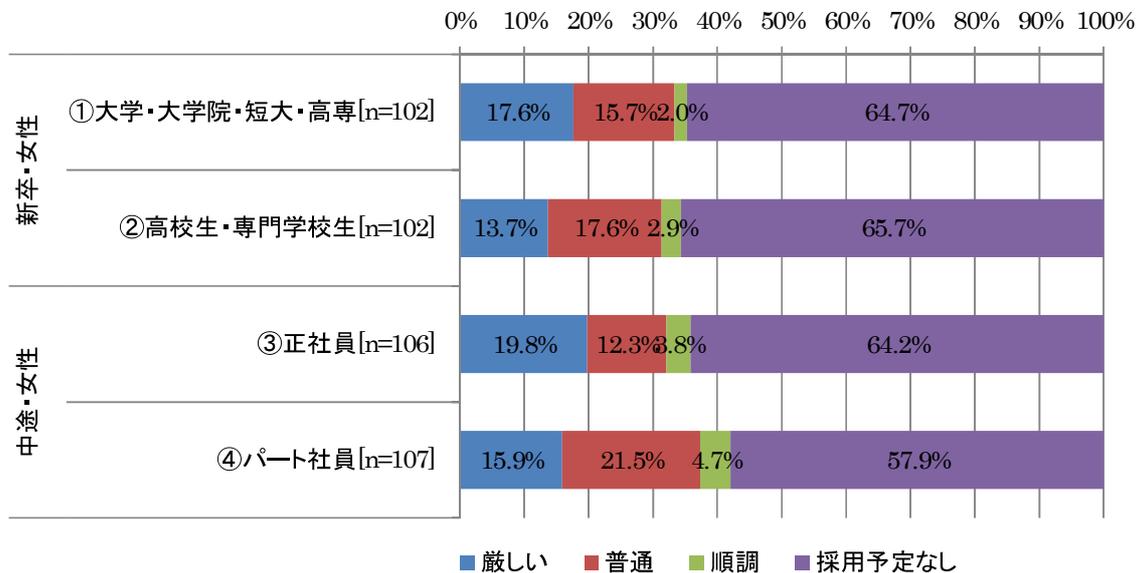
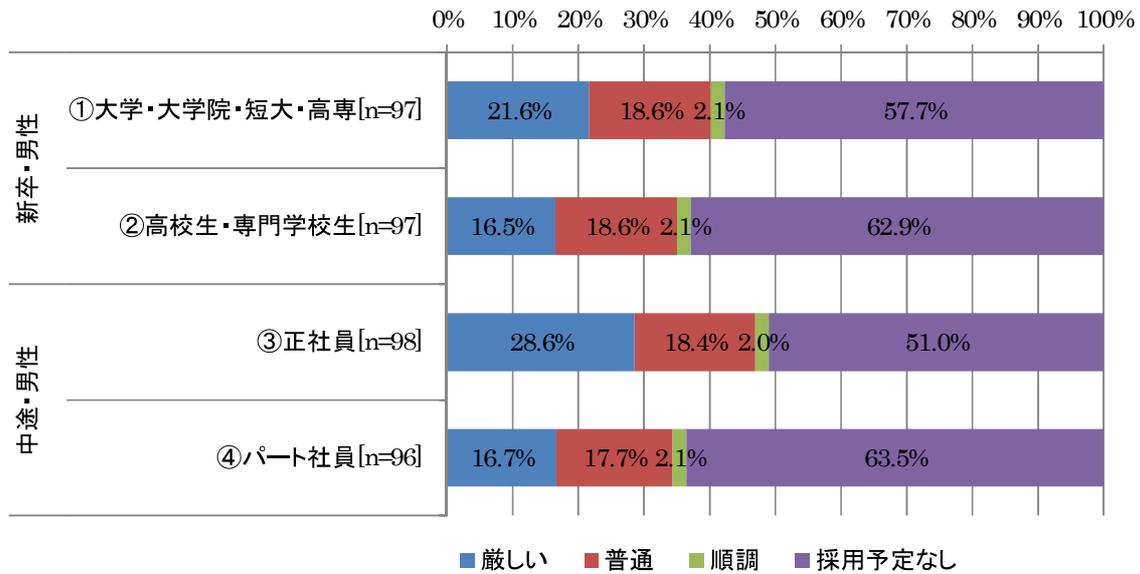
「女性のみ配置」は「人事・総務・経理」が 61.7%と突出し、「男性のみ配置」は「営業」が 50.8%と突出している。「人事・総務・経理」の割合は「女性のみ配置」（61.7%）が「男性のみ配置」（6.3%）よりも高く、「営業」、「販売・サービス」、「生産」は「男性のみ配置」（それぞれ 50.8%、27.0%、30.2%）が「女性のみ配置」（それぞれ 6.4%、10.6%、4.3%）よりも高い。



#### ④採用状況（男女別）（S A）

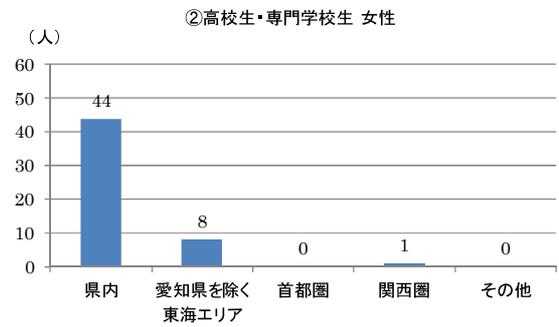
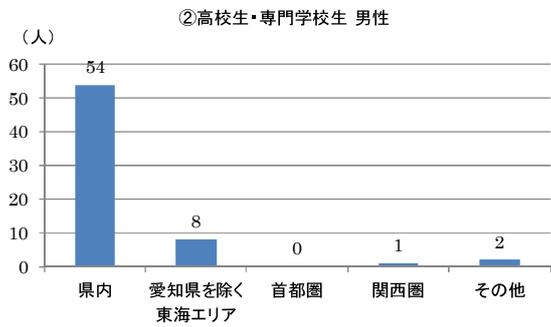
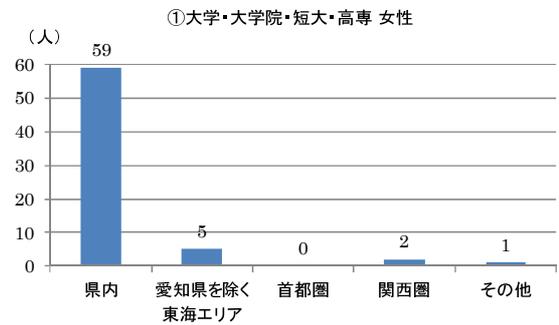
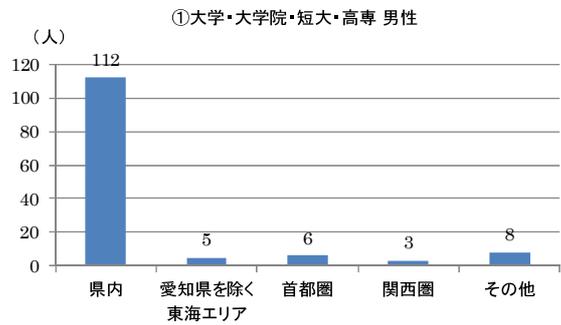
新卒採用、中途採用とも性別にかかわらず「採用予定なし」がいずれも5割超となっており、男性では「中途採用・パート社員」の63.5%、女性では「新卒採用・高校生・専門学校生」65.7%が最も高い。

新卒、中途それぞれの採用状況をみると、「新卒・男性・大学・大学院・短大・高専」、「中途・男性・正社員」、「中途・女性・正社員」で「厳しい」とする割合が高い。一方、「中途・女性・パート社員」は「順調」が4.7%であり、他のカテゴリに比べて、採用状況は比較的良好な状況にある。



⑤新卒採用者の卒業学校所在地（男女別）（S A）

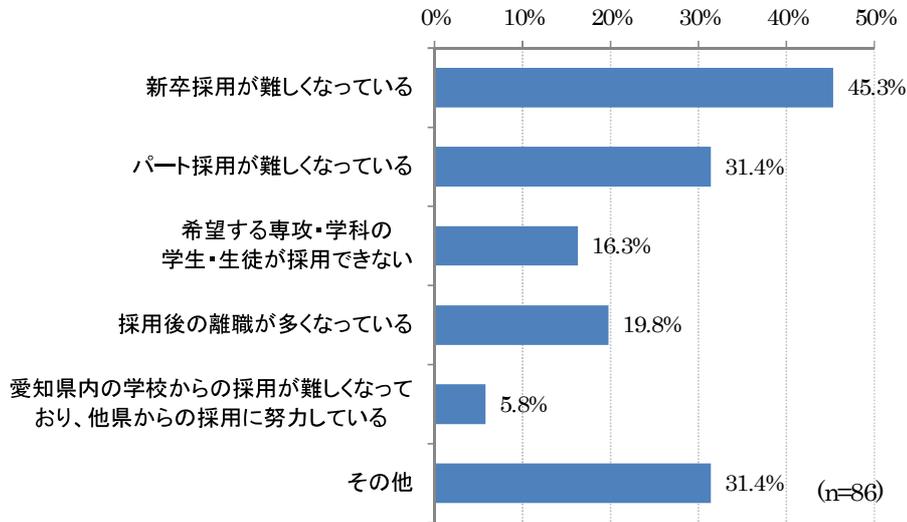
いずれの場合も、「県内」出身者がほとんどを占めている。



地域の定義：愛知県を除く東海エリア（静岡県、三重県、岐阜県）、首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）、関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）

⑥求人・採用に関する課題（MA）

「新卒採用が難しくなっている」が45.3%と最も高く、次いで「パート採用が難しくなっている」（31.4%）、「採用後の離職が多くなっている」（19.8%）となっている。



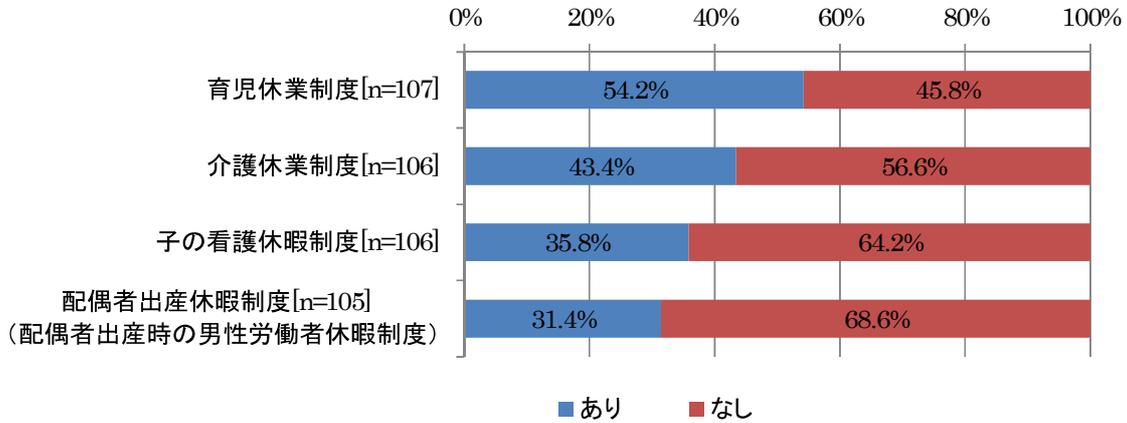
○その他

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中途採用での採用が難しいです。</li> <li>・ 職種上今は厳しく、採用予定ありません。</li> <li>・ 求人しても、反応が一切ない</li> <li>・ 採用なし</li> <li>・ 仕事が無い</li> <li>・ 既に定員。本年度中途採用した為</li> <li>・ 採用する予定はしばらくの間なし</li> <li>・ 弊社は家族経営のため、基本的に新たな採用者はいません。</li> <li>・ 採用予定なし</li> <li>・ 運送業界は給料の割には仕事がきつい為、安定しない。</li> <li>・ 基本的に新卒の採用は行っておりません。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支店の採用なし</li> <li>・ 営業職以外の応募者数が少ない。</li> <li>・ 人が余っているから採用予定がない。</li> <li>・ 近年新卒採用を行っていないのでわからない。</li> <li>・ 採用予定なし</li> <li>・ 応募者辞退の数が少ない</li> <li>・ 3年位採用無</li> <li>・ 求人していないので</li> <li>・ もともと採用できる状況にないのです。</li> <li>・ 本部採用。直接求人とはしていない。</li> <li>・ 人材不足</li> </ul> |
|---|---|

## 2. 育児・介護休業等の休業制度・再雇用制度等について

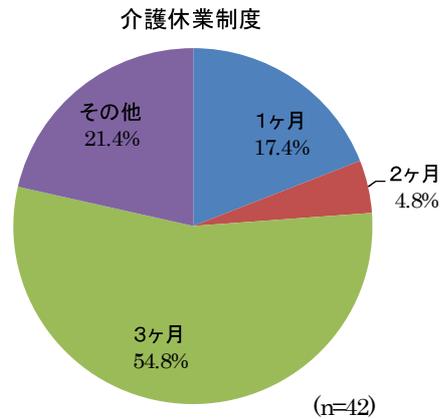
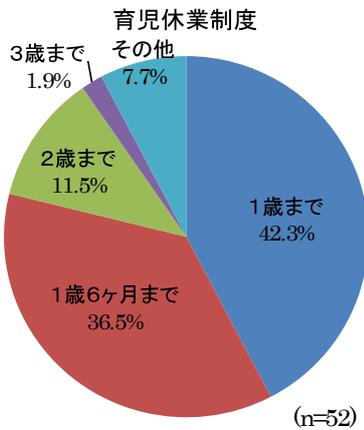
### ①各制度の規定について（SA）

「育児休業制度」は過半数（54.2%）の企業が規定している。「介護休業制度」、「子の看護休暇制度」、「配偶者出産制度」は規定していない企業が過半数を占めており、順にその割合が高くなっている。



育児休業制度の期間については、「1歳まで」が42.3%、「1歳6ヶ月まで」が36.5%となっており、「3歳まで」とする企業は1.9%に留まっている。

介護休業制度の期間については、「3ヶ月」が54.8%と過半数を占めている。



#### ※その他

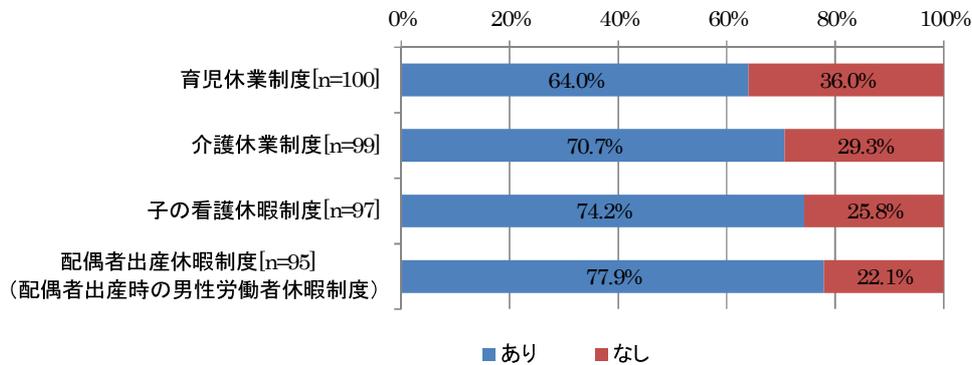
- ・ 本人の申出
- ・ 出産前後半年
- ・ 法律に準じる

#### ※その他

- ・ 本人の申出
- ・ 1年
- ・ 介護休暇1月間につき10日間
- ・ 通算120日
- ・ 6ヶ月
- ・ 法律に準じる
- ・ 通算186日
- ・ 186日間

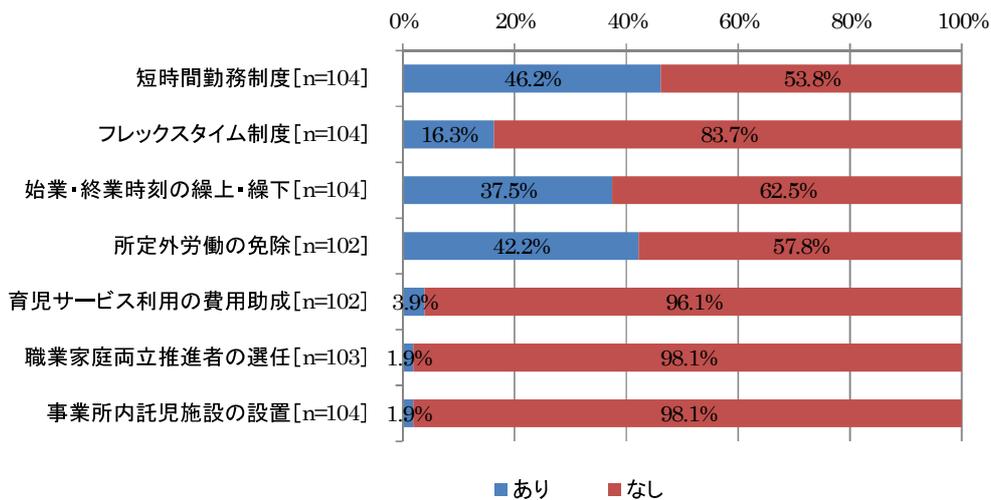
### ②各制度の非正規社員への適用について（SA）

「育児休業制度」、「介護休業制度」、「子の看護休暇制度」、「配偶者出産制度」のいずれも過半数の企業が適用するとしており、順にその割合が高くなっている。

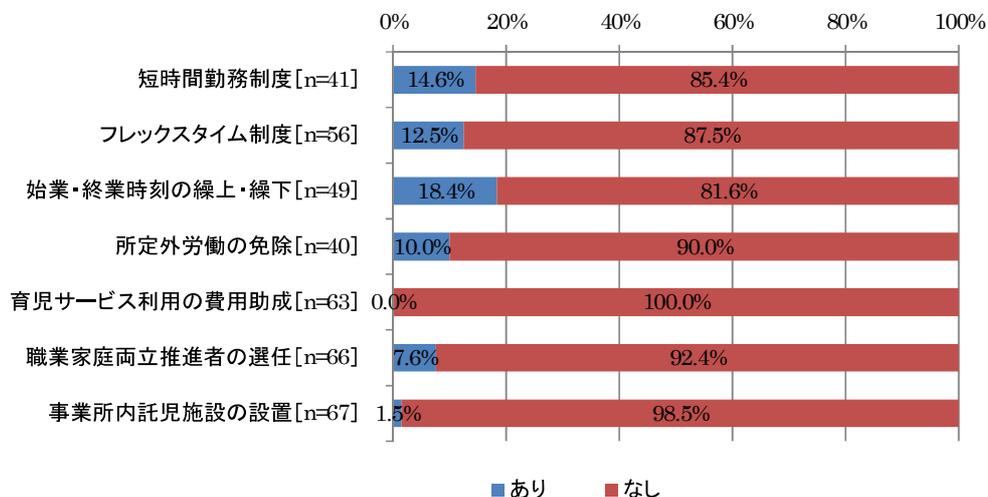


### ③育児に関して講じている措置（H27.4.1現在）（SA）

「短時間勤務制度」（46.2%）、「始業・就業時刻の繰上・繰下」（37.5%）、「所定外労働の免除」（42.2%）を規定する企業の割合が高い。規定していない企業の今後の予定をみると、積極的な姿勢はあまりみられない。特に「育児サービス利用の費用助成」、「職業家庭両立推進者の選任」、「事業所内託児施設の設置」は取り組んでいる企業はほとんどなく、また、今後の取組予定もほとんどみられない。



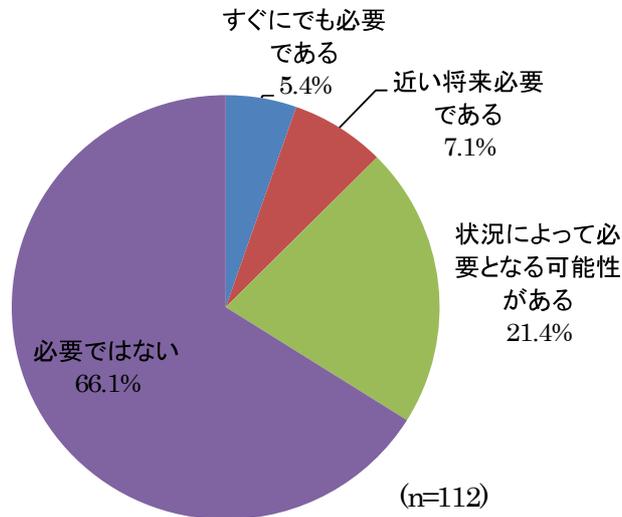
⇒ 「なし」の場合の今後の実施予定



### 3. 用地、施設需要について

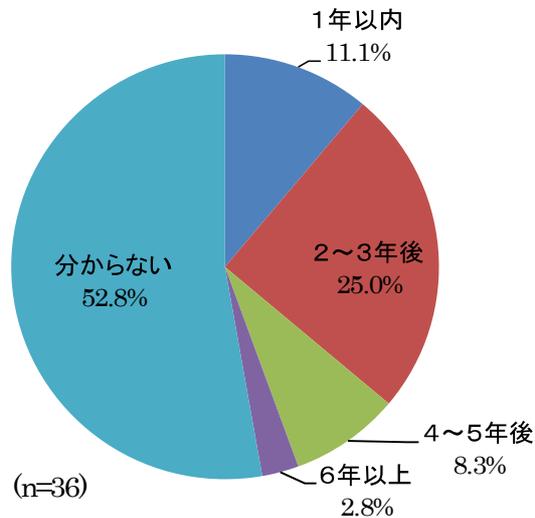
#### ①豊明市内または周辺での拡張・新設用地の必要性（SA）

「必要ではない」が66.1%と過半数を占めている。「すぐにでも必要である」は5.4%、「近い将来必要である」が7.1%であり、3割以上の事業所にて用地需要がみられる。



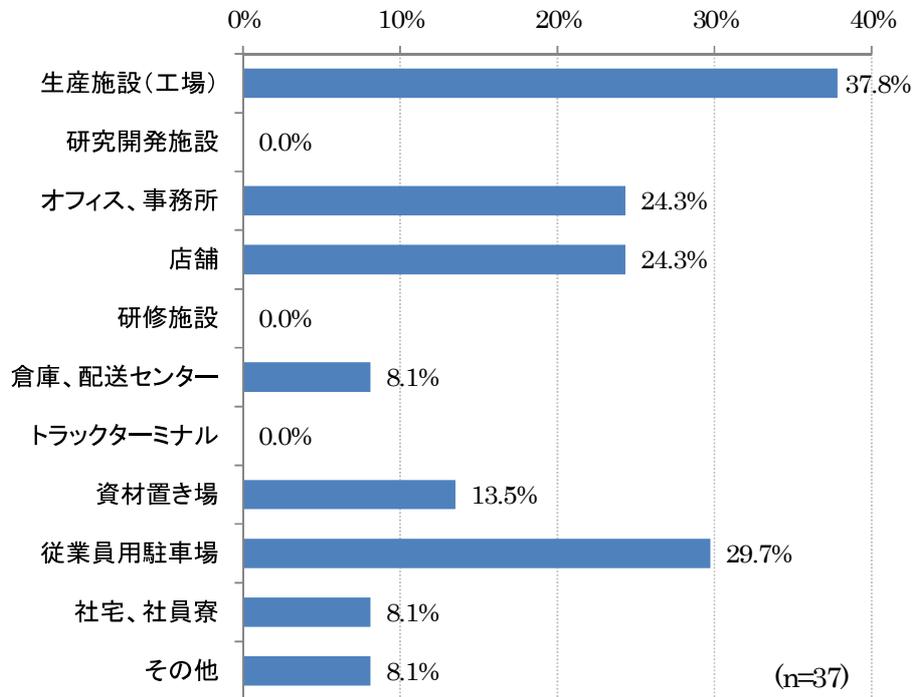
#### ②用地の取得・確保時期（SA）

過半数の企業が「わからない」（52.8%）としている。3年以内に必要とする企業（「1年以内」+「2～3年後」）は36.1%となっている。



③取得・確保用地の用途（MA）

「生産施設（工場）」の割合が37.8%と最も高く、次いで「従業員駐車場」（29.7%）、「オフィス、事務所」（24.3%）、「店舗」（24.3%）となっている。

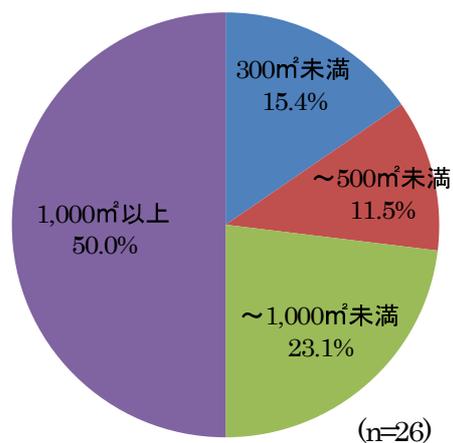


○その他

・ 商品車両のモータープール	・ 未定
----------------	------

③希望する取得・確保用地の面積（SA）

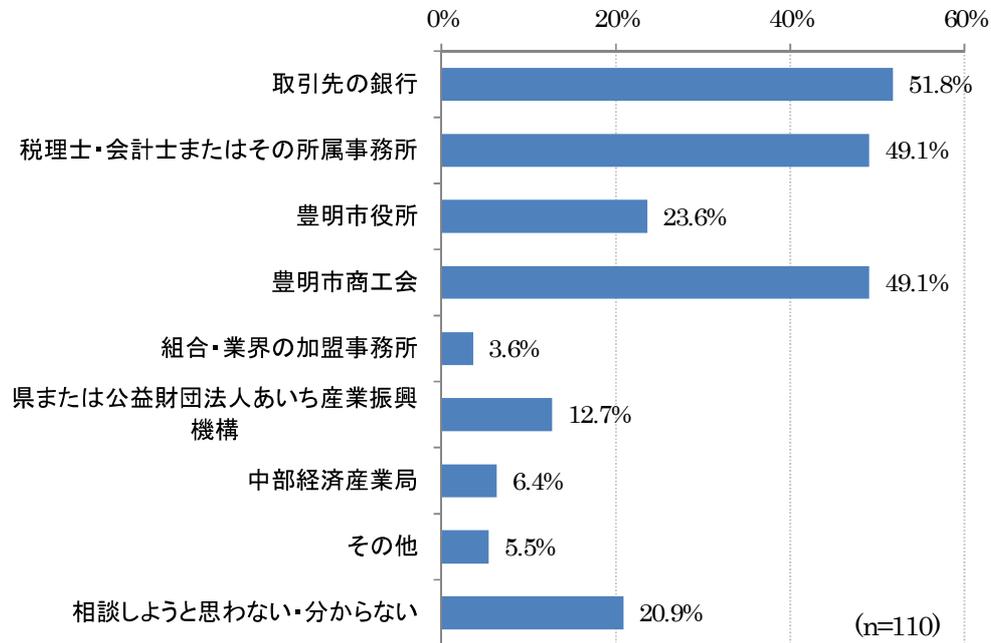
「1,000㎡以上」が50.0%と最も高く、次いで「1,000㎡未満」（23.1%）、「300㎡未満」（15.4%）となっている。



#### 4. 豊明市や商工会の企業支援について

##### ①行政の企業支援等の活用を考える際の相談先（上位3つまで）（MA）

「取引先の銀行」が51.8%で最も高く、次いで「税理士・会計士またはその所属事務所」、「豊明商工会」（ともに49.1%）、「豊明市役所」（23.6%）となっている。

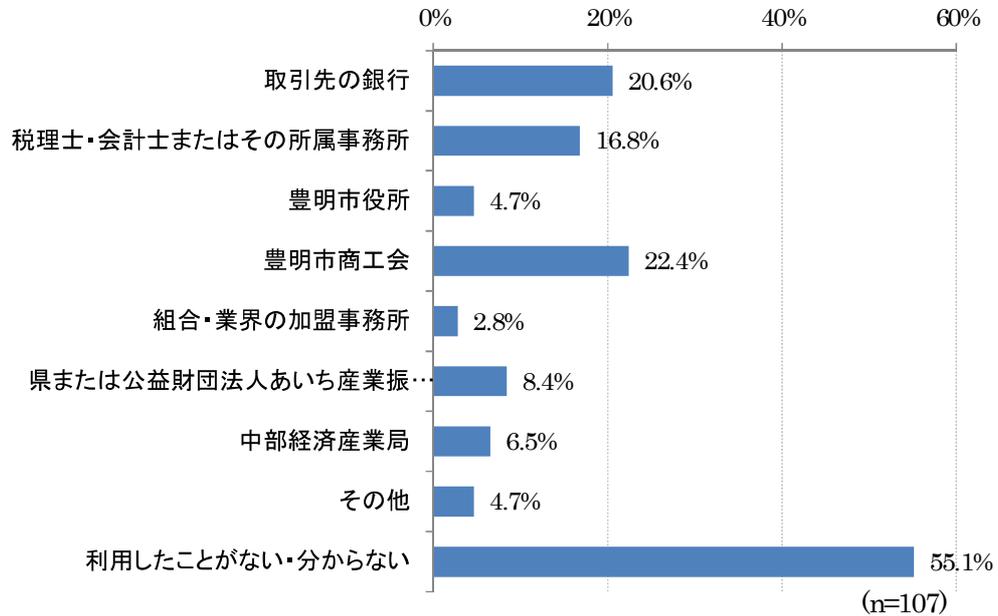


##### ○その他

- |           |         |
|-----------|---------|
| ・ 豊明市薬剤師会 | ・ 農林水産省 |
| ・ 本部      | ・ 会社本部  |
| ・ 機械メーカー  |         |

②行政の企業支援事業の活用等に際し、過去3年間で実際に利用・相談した機関（MA）

「利用したことがない・わからない」が55.1%で突出している。利用・相談機関として、「豊明商工会」が22.4%で最も高く、次いで「取引先の銀行」（20.6%）「税理士・会計士またはその所属事務所」（16.8%）となっている。



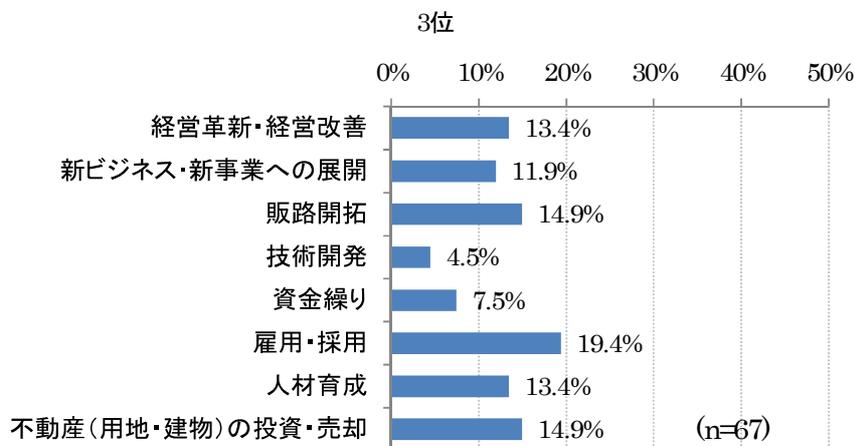
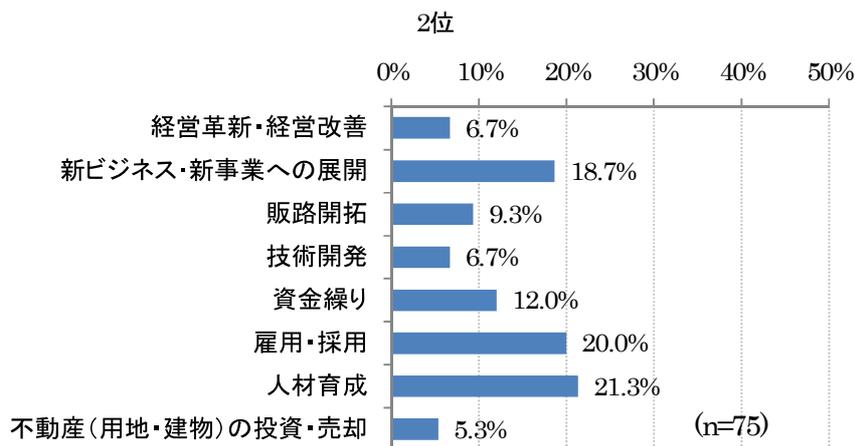
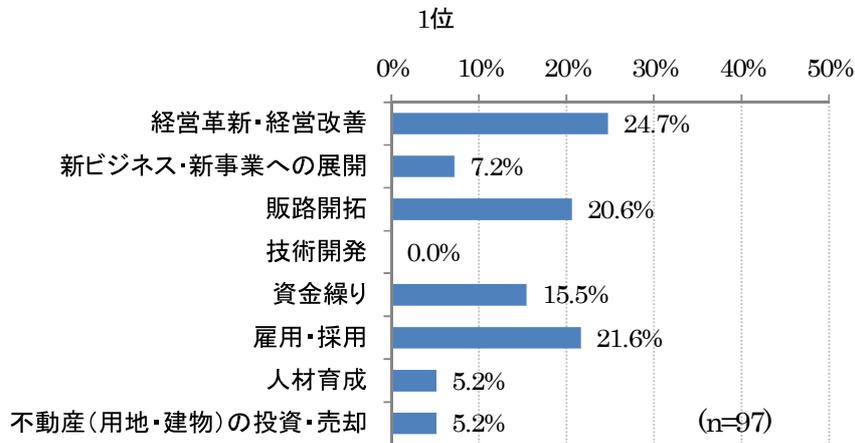
○その他

・ 豊明市商工会に相談したが、門前払いされた	・ 機械メーカー
	・ 愛知県信用保証協会

③豊明市、豊明市商工会に対して、企業活動支援の面で期待する分野と機能（MA）

〔期待する分野〕

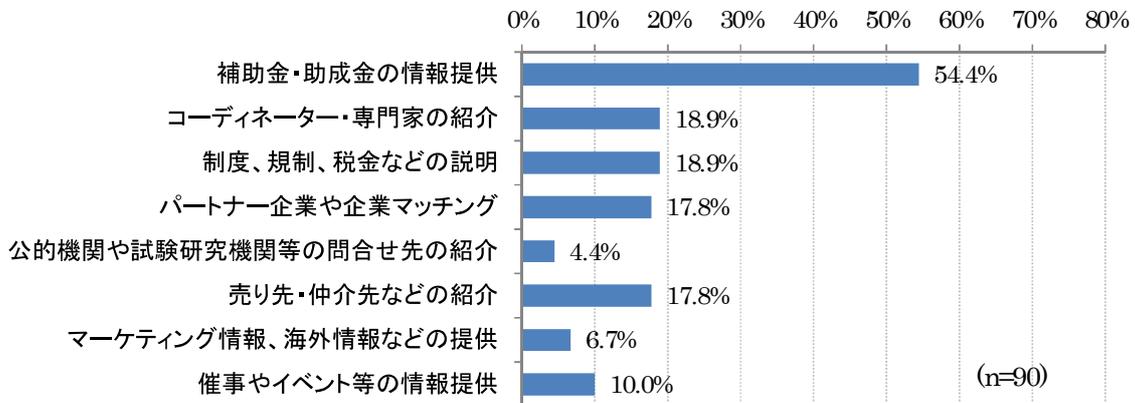
最も期待する分野（1位）として「経営革新・経営改善」（24.7%）が最も多く、次いで「雇用・採用」（21.6%）、「販路開拓」（20.6%）となっている。なお、「雇用・採用」は2位～3位でも約2割と高い割合を示しており、企業からの期待が高い分野であることがうかがえる。



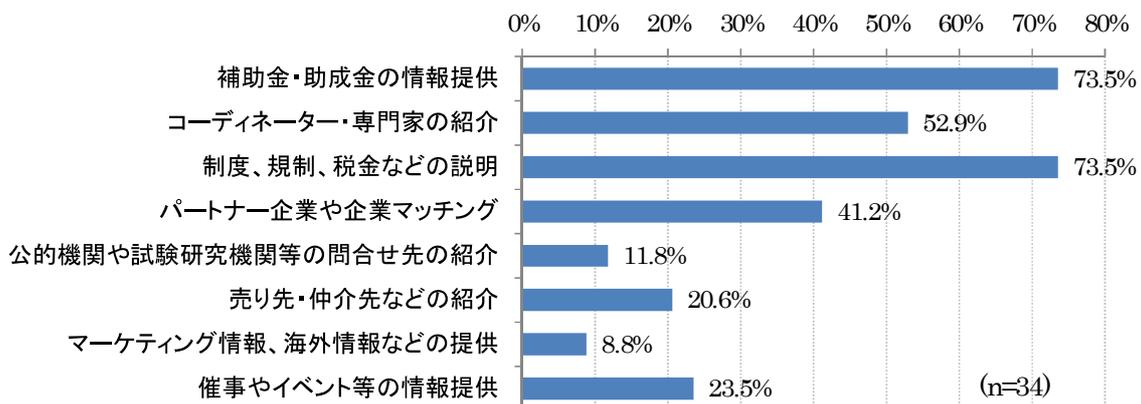
### [期待する機能]

期待する分野に対する機能として、「補助金・助成金の情報提供」、「コーディネーター・専門化の紹介」、「制度、規制、税金などの説明」を希望する割合が高く、「公的機関や試験研究機関等の問合せ先の紹介」、「マーケティング情報、海外情報などの提供」を希望する割合は低い。

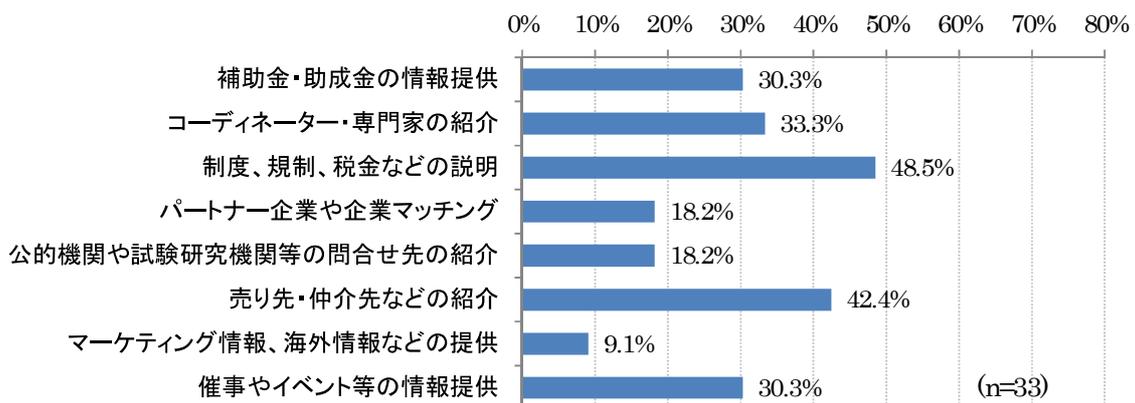
#### 1位



#### 2位

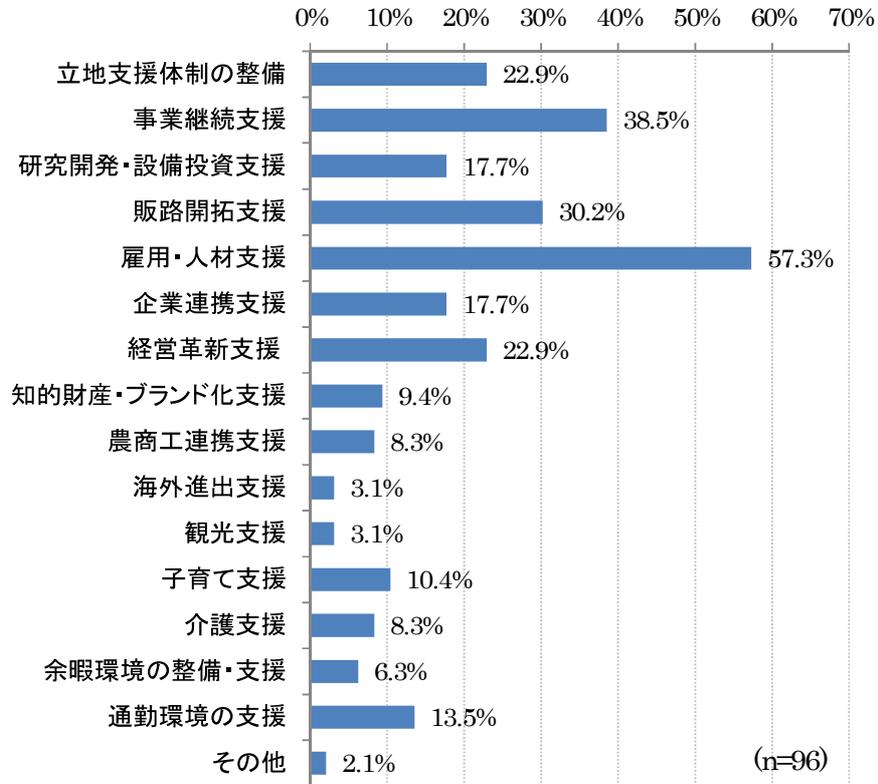


#### 3位



③必要と考えられる施策（MA）

「雇用・人材支援」が 57.3%と最も高く、次いで「事業継続支援」（38.5%）、「販路開拓支援」（30.2%）、「立地支援体制の整備」、「経営革新支援」（ともに 22.9%）と続いている。



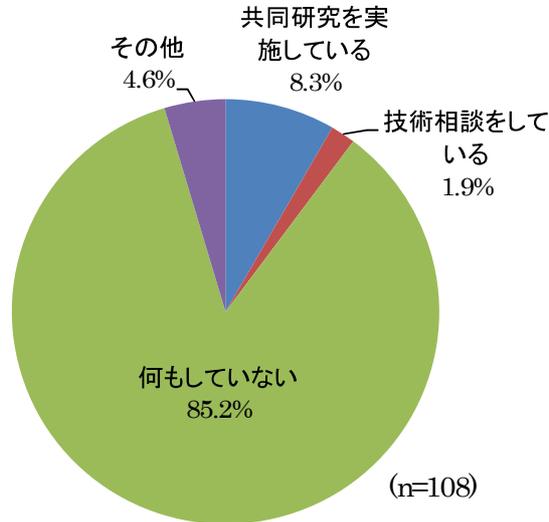
○その他

- |            |        |
|------------|--------|
| ・ 土地用途種の変更 | ・ 特になし |
|------------|--------|

## 5. 産学連携について

### ①産学連携の実施状況（SA）

何らかの取り組みを行っている企業（「共同研究を実施している」+「技術相談をしている」）は10.2%であり、ほとんどの企業は「何もしていない」（82.5%）状況にある。

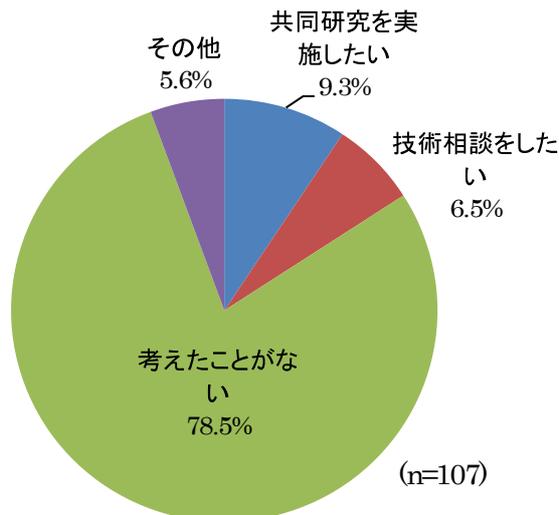


#### ○その他

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早稲田 MBA を勉強中</li> <li>・ 本部において大学と「産学連携に関する協定書」を締結している。</li> <li>・ 本部にて対応</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去に実施した</li> <li>・ すべてアイシン、トヨタに相談、指示のもと。</li> </ul> |
|--|--|

### ②今後の産学連携への取り組み意向（SA）

「共同研究を実施したい」が9.3%、「技術相談をしたい」が6.5%であるが、多くの企業が「考えたことがない」（78.5%）としている。



#### ○その他

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業観の醸成、学生と社会人の違い</li> <li>・ 早稲田 MBA を通じて情報収集</li> <li>・ 本部において検討していく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申し出があれば対応する</li> <li>・ 得意先より技術指導を依頼しています。</li> </ul> |
|---|---|

## 6. 現在抱えている問題・課題と解決に向けて豊明市に期待すること（F A）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種交流グループエントロピ豊明（7月1日より合同会社エントロピ豊明）、17企業が大府市の産学官連携及びウェルネスバレー構想に参加していますが、豊明市も連携できないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住工混在。中小規模工業集積地用地確保（現土地の有効活用）。市内近隣在住者よりの雇用対策（第1に市内在住者を雇用したい）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農地」をフル活用する機会を作っていけば。雇用創出や「輸入に頼る日本」を脱却を豊明発信！で。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金が高い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当JA管内の各支店と比較すると、人口の増加がない。このため、利用者数も横ばいである。人口増加策に期待します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の街路防犯等なども手がけております。他社の参入もあり、上手く行かないケースもあり、それはそれとして当然ですが、やはり、昔からウ地元で業を営んでおり、地元業者への更なる情報提供を願っています（豊明駅前街路灯など）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名古屋市豊明区を考える会」を発足して下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の対策</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋になると隣にある一里塚の枯葉がたくさん降ってくる。上手く解決してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成に困っております。社会が悪いのか、時代なのか、モラルの低下、考える力が欠ける。守る事が優先になり、何もかも待ちになっている教育からやり直してほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤道路の整備。豊明市街地（前後方面）⇔豊明テクノパーク</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市文化会館の（男性）従業員の態度が著しく悪い！多くの市民が不快に感じている！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型社会をどのように構築する考えですか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の減少。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の増加、若人が住みやすい町。おもいきった政策をして、若者に優遇して住んでもらい、子供にも優遇してあげる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の空き店舗対策をしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っていることは多々あるのですが、残念ながら期待していません</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者がいないため残念です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人を出しても希望者がいない。燃料費高、運賃が下がっている為、給料が安い。今は長距離ドライバーが減っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域が多く、事業所の拡大増設が難しい。しぼりがなくなればと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①直面していることは豊明テクノパークの従業員駐車場不足。</li> <li>②豊明テクノパークと前後駅間の公共交通機関も検討いただきたい。</li> <li>①については、借地候補地を提示いただいた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を増やしてほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職安が遠い。市役所や商工会等で社会保険の手続きや、採用活動（求人票の提供等）を行いたい。社内にはいろいろな問題があるが、商工会など気軽に相談できる場所がないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品加工受注先希望</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当支店行員全13人の内9人が、前後駅から名鉄バス「祐福寺経由の赤池行き」を利用し通勤していますが、バスの本数が少ないうえになかなか定刻通りに出発できないことが多く不便を感じています。雨天時には30分以上遅れたこともあります。前後駅からの交通アクセスの改善に努めていただくと助かります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後働いてくれるパートさんがなかなか見つかりません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の中小・零細企業が潤わないため、豊明市全体にお金が廻っていない状態である。地元企業に仕事が行きわたり、活性化することが、税収の伸び、雇用の安定に繋がると思うので、それに向けた施策を望みます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市の名物など頭に浮かぶものがありません。小売業としては、地域密着店舗としての運営が欠かせませんので、情報提供・共有化などに期待したいです。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊明ひきずり」→意味がわからないと思います。交通事故のひきずりとつながります。何か他のB級グルメを考えていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「花の街とよあけ」を掲げて、花の街とよあけ推進委員会及び、同協議会に「豊明市」が構成員として入っておりますが、委員会における実働部隊としてのご協力がなかなか難しいようで、当組合と商工会事務局の負担が大きくなりつつある状況です。産業振興課の人数では、現状維持も難しいということなら、部署間の連携で協力頂く様、ものすごく期待したいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①前後駅の発展がなくて残念です。</li> <li>②前後駅電車の乗り降りが多いのに、食事をするところ、居酒屋、催し物など。</li> <li>③花き市場があるのに豊明駅前の淋しさ！</li> <li>④町の活性化なし（町のあかりがほしい）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老齡の為、農地での作業軽減の必要あり</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材提供</li> </ul>

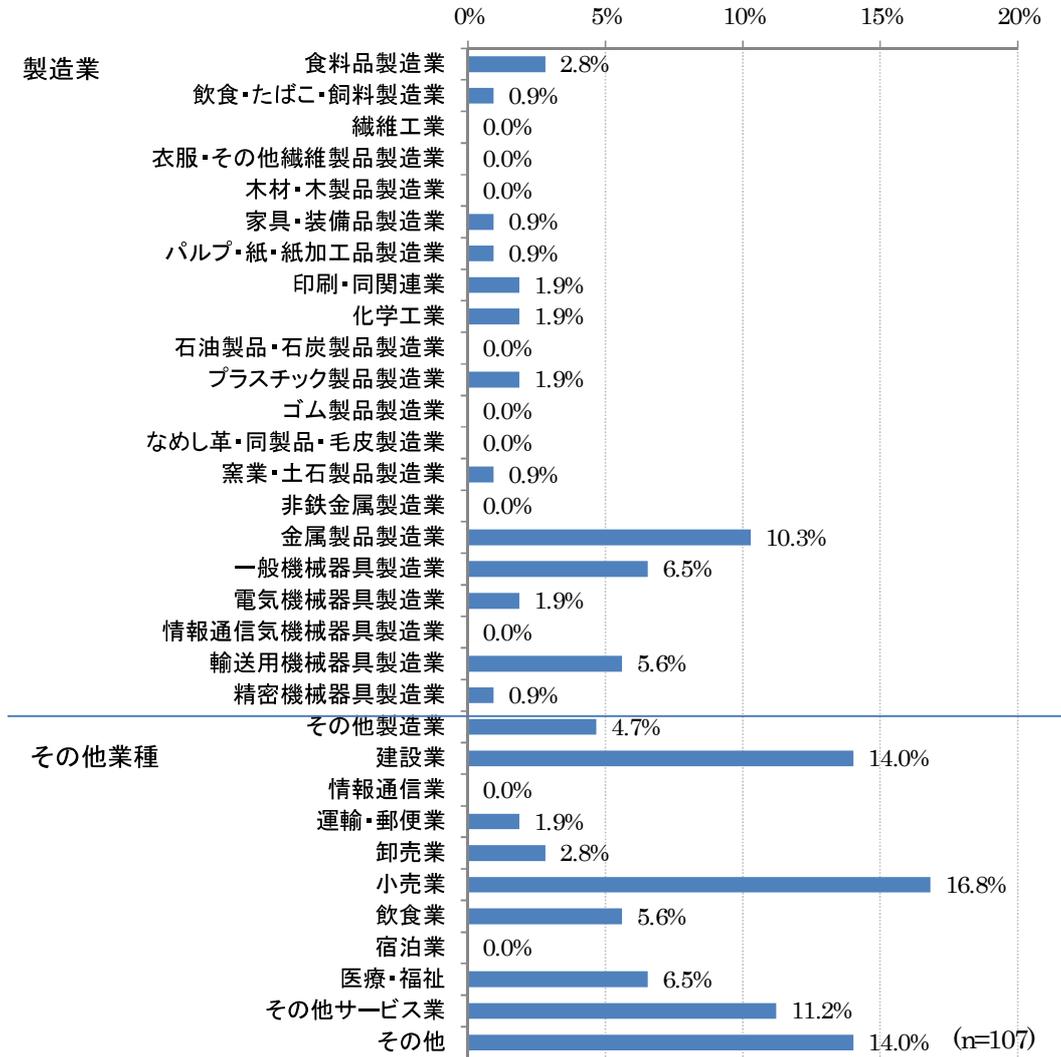
## 7. 豊明市の産業振興に対する自由意見（F A）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生大との包括支援から、医療・介護関連の機器ロボット等、コア企業誘致による産業振興を。</li> <li>・過去4年間に渡り産業振興に停滞をもたらした為、多大な損失だった。官民（商工業者）一体となって、雇用促進、事業者繁栄、人口増、税収増に向けてばん回してほしい。一般市民からの理想論では、実践では無理な面もあるため、やはり市としてのある程度の方向性、主導は必要だと思います。</li> </ul>
<p>※市の職員の方は優秀な方が多いので、これからは大いに期待できると思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市、市周辺の中小企業の存在や中身を、小中学生に、もっと広く知れ渡るようなしくみを。「大企業」「公務員」だけじゃない、自分に合った世界を知るためにも。</li> <li>・企業、大型店の進出・誘致を期待する。</li> <li>・豊明市内の農地保全または運用と、農業担い手の育成。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的な考えになってしまいますが、周辺地域に比べ、特徴があまり少ない。例えば、競馬場、藤田学園など、全国レベルの施設もあり、もっと県内のみならず全国へ発信し、知名度のある市として躍進したい。全面的な協力もしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾岸道路、名鉄、RIのインフラ及び保衛大病院を生かした振興策をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光による他県からのお客様を取り入れ、店舗への客数増につながる様な政策をお願いしたいです。</li> <li>・事業継続のための支援政策。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモールを誘致してほしい。トヨタ系大工場を誘致してほしい。</li> <li>・豊明に工業団地（本社工場のみ）をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空宇宙産業への支援促進</li> <li>・ビジョンを示してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地が少なく、農地の宅地変更をする。</li> <li>・各産業界の意見交換をする。話し合いの場をつくる。</li> <li>・何かしているのですか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者が安心してらせる、働けるよう、グループホームが増える事、多くの企業職場が連携し、労働力としてより活用できる、町が特色ある地域として開ける可能性となる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理を計画し、製造業企業の誘致をすすめる。自動車関連企業が多く、伊勢湾岸高速や名二環へのアクセスが良い立地条件を活かした区画整理が必要です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関の整備。</li> <li>・住宅開発を主として、地域活性化、振興</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントの中で企業が直接個人のお客様に自社のモノやサービスを提供できる機会を増やしてほしい。BtoC重視</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市は名古屋・三河両産業圏へのアクセスは良いのですが、残念ながら国道23号線インター付近には空地が散々としており、不動産業者から売り物件の情報もあります。他地域への不動産情報の提供等により豊明市への企業誘致に更に力を入れれば、事業先の増加・労働人口の増加に繋がると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「花の街とよあけ」というキャッチフレーズをよく聞きますので、豊明市全体を清潔で華やかなイメージに整え、市外の人でも豊明で消費してくれるような、楽しい街にしてほしいです。例えば、豊明インターから豊明市役所に至る道が殺風景ですので、花や緑で視覚を整え、朝夕の渋滞を緩和し、豊明に来やすくすることも大切だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q17で産業連携と回答しましたが、市にとっては新たな”まちおこし”となり、我々小売業にとっては、新しいマーケットチャンスを得ることが出来る様、取り組んでみたいと考えております。共に地域社員を盛り上げる事が必要だと考えております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の街とよあけでは、人々が来てくれないと思います。歴史の町とよあけを追加していただければ、観光の街として名前が有名になると思います。又、企業も応援のキャッチコピーを作れば良いと思います。</li> </ul>

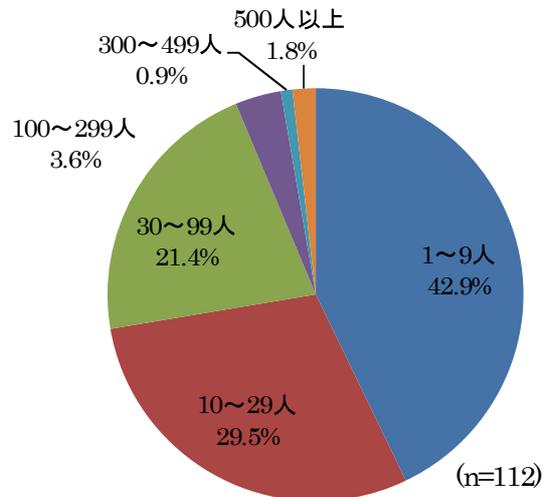
- ①豊明市内の「灯」がほしい。
- ②豊明市内の「勢」という灯ほしい。③豊明市内の「人」と人との絆がほしい。
- ④異業種の方とも交流の場がほしい。
- ⑤商工会の催し物、旅行等も並ばないと権利がない（並ぶとか出来ない人もある）。いつも同じ人の集まりだとか聞いております。

・沿路サービス等、地域使用指定変更をして、土地有効活用できるように。有能は人達に地域活性化の働きをお願いしたい。固定資産税を支払っても、自己収入金を増やしたく思う。

8. 回答者属性  
[業種]



[豊明市内事業所に勤務する従業員数]



■採用状況について

貴社の豊明市内の事業所を対象に、ご回答ください。

Q1 豊明市内事業所の昨年の新規採用状況並びに中途採用の状況についてお伺いします。採用区分毎に該当する番号1つに○印をつけてください。

採用区分		採用状況	採用あり			採用なし
			男女とも採用	女性のみ採用	男性のみ採用	
新規学卒者	4年生大学	事務・営業系	1	2	3	4
		技術系	1	2	3	4
	短大・高専	事務・営業系	1	2	3	4
		技術系	1	2	3	4
	高校卒	事務・営業系	1	2	3	4
		技術系	1	2	3	4
中途採用			1	2	3	4

Q2 Q1の「中途採用」で女性を採用(1または2に○)した企業にのみお聞きします。出産・育児期に一度就業を中断し、子育てが一段落したところで再就職する女性を採用しましたか。該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 常用雇用者として採用	2. パートとして採用	3. 採用なし
---------------	-------------	---------

Q3 現在、次のAからHに該当する各部署において男女の配置状況はどうなっていますか。該当する番号を A～ H 列毎に1つ○で囲んでください。

	A人事 総務・経理	B企画 調査・広報	C研究開発	D情報処理	E営業	F販売 サービス	G生産	Hその他
男女とも配置	1	1	1	1	1	1	1	1
女性のみ配置	2	2	2	2	2	2	2	2
男性のみ配置	3	3	3	3	3	3	3	3

Q4 採用環境についてお伺いします。男女別に該当する番号1つに○印をつけてください。

		男性		女性	
新卒	①大学・大学院・短大・高専	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし
	②高校生・専門学校生	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし
中途	③正社員	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし
	④パート社員	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし	1. 厳しい 3. 順調	2. 普通 4. 採用予定なし

**Q5 採用者の卒業学校の所在地**

		回答欄	
		男性	女性
新卒	①大学・大学院・短大・高専	1. 県内 ( ) 人 2. 愛知県を除く東海エリア ( ) 人 3. 首都圏 ( ) 人 4. 関西圏 ( ) 人 5. その他 ( ) 人	1. 県内 ( ) 人 2. 愛知県を除く東海エリア ( ) 人 3. 首都圏 ( ) 人 4. 関西圏 ( ) 人 5. その他 ( ) 人
	②高校生・専門学校生	1. 県内 ( ) 人 2. 愛知県を除く東海エリア ( ) 人 3. 首都圏 ( ) 人 4. 関西圏 ( ) 人 5. その他 ( ) 人	1. 県内 ( ) 人 2. 愛知県を除く東海エリア ( ) 人 3. 首都圏 ( ) 人 4. 関西圏 ( ) 人 5. その他 ( ) 人

地域の定義：愛知県を除く東海エリア：静岡県、三重県、岐阜県

首都圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県 関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

**Q6 求人・採用に対する課題についてお伺いします。選択肢から該当する番号すべてに○印をつけてください。**

1. 新卒採用が難しくなっている 2. パート採用が難しくなっている 3. 希望する専攻・学科の学生・生徒が採用できない 4. 採用後の離職が多くなっている 5. 愛知県内の学校からの採用が難しくなっており、他県からの採用に努力している 6. その他 ( )
--

**■育児・介護休業等の休業制度・再雇用制度等についてお伺いします**

**Q7 下記の各制度の規定はありますか。また、ありの場合は、取得可能な期間についてお伺いします。区分毎に該当する番号1つに○印をつけてください。**

区分	既定の有無	→左で「あり」の場合の取得可能な期間
育児休業制度	1. なし 2. あり	1. 1歳まで 2. 1歳6ヶ月まで 3. 2歳まで 4. 3歳まで 5. その他(具体的に )
介護休業制度	1. なし 2. あり	1. 1ヶ月 2. 2ヶ月 3. 3ヶ月 4. その他(具体的に )
子の看護休暇制度	1. なし 2. あり	
配偶者出産休暇制度(配偶者出産時の男性労働者休暇制度)	1. なし 2. あり	

**Q8 各制度は非正規社員にも適用されますか。区分毎に該当する番号1つに○印をつけてください。**

区分	適用あり	適用なし
育児休業制度	1	2
介護休業制度	1	2
子の看護休暇制度	1	2
配偶者出産休暇制度(配偶者 出産時の男性労働者休暇制度)	1	2

**Q9 育児に関して講じている勤務時間の短縮等の措置について、それぞれの規定はありますか。区分ごとに該当する番号1つに○印をつけてください。H27.4.1現在の状況で回答願います。**

項目	選択肢 (2. なしの場合は今後の予定も要回答)
短時間勤務制度	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)
フレックスタイム制度	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)
始業・終業時刻の繰上・繰下	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)
所定外労働の免除	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)
育児サービス利用の費用助成	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)
職業家庭両立推進者の選任	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)
事業所内託児施設の設置	1. あり 2. なし ⇒ 今後の予定 (7. あり 4. なし)

### ■用地、施設需要について

**Q10 貴事業所では、豊明市内あるいは豊明市周辺において、拡張用地や新設用地などが必要になっていますか。該当する番号1つに○印をつけてください。**

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. すぐにでも必要である        | 2. 近い将来必要である           |
| 3. 状況によって必要となる可能性がある | 4. 必要ではない →次ページの Q12 へ |

**Q11① 用地の取得・確保は、いつ頃までに必要となりそうですか。該当する番号1つに○印をつけてください。**

- |         |          |          |         |          |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 1年以内 | 2. 2～3年後 | 3. 4～5年後 | 4. 6年以上 | 5. 分からない |
|---------|----------|----------|---------|----------|

**Q11② その用地は、どのような利用をお考えですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。**

- |              |              |              |          |
|--------------|--------------|--------------|----------|
| 1. 生産施設 (工場) | 2. 研究開発施設    | 3. オフィス、事務所  | 4. 店舗    |
| 5. 研修施設      | 6. 倉庫、配送センター | 7. トラックターミナル | 8. 資材置き場 |
| 9. 従業員用駐車場   | 10. 社宅、社員寮   | 11. その他 ( )  |          |

Q11③ その用地の面積はどの程度ですか。おおよそで結構ですので、面積(m<sup>2</sup>)をご記入ください。

m <sup>2</sup>
----------------

**■豊明市や商工会の企業支援について**

Q12 行政の企業支援事業等の活用を考える場合、どの機関に相談しようとお考えですか。上位3つに○印をつけてください。

1. 取引先の銀行	2. 税理士・会計士またはその所属事務所
3. 豊明市役所	4. 豊明市商工会
5. 組合・業界の加盟事務所	6. 県または公益財団法人あいち産業振興機構
7. 中部経済産業局	8. その他 ( )
9. 相談しようと思わない・分からない	

Q13 これまで行政の企業支援事業等を活用した時に、実際に利用または相談した機関はありますか。過去3年間で、実際に利用・相談した機関について、該当する番号すべてに○印をつけてください。

1. 取引先の銀行	2. 税理士・会計士またはその所属事務所
3. 豊明市役所	4. 豊明市商工会
5. 組合・業界の加盟事務所	6. 県または公益財団法人あいち産業振興機構
7. 中部経済産業局	8. その他 ( )
9. 利用したことがない・分からない	

Q14 豊明市、豊明市商工会に対して、企業活動支援の面で、期待するものについて、期待する分野(①の選択肢)から上位3つまでを選び、それぞれについて期待する機能(②の選択肢)から各2つまで選んでください。

**【回答選択肢】**

**①期待する分野**

- 1. 経営革新・経営改善
- 2. 新ビジネス・新事業への展開
- 3. 販路開拓
- 4. 技術開発
- 5. 資金繰り
- 6. 雇用・採用
- 7. 人材育成
- 8. 不動産（用地・建物）の投資・売却

**②期待する機能**

- 1. 補助金・助成金の情報提供
- 2. コーディネーター・専門家の紹介
- 3. 制度、規制、税金などの説明
- 4. パートナー企業や企業マッチング
- 5. 公的機関や試験研究機関等の問合せ先の紹介
- 6. 売り先・仲介先などの紹介
- 7. マーケティング情報、海外情報などの提供
- 8. 催事やイベント等の情報提供

**【回答欄】**

		期待する分野 〔①欄から一つずつ〕	期待する機能 〔②欄から①の分野についてそれぞれ2つまで〕
豊明市、豊明市商工会に期待するもの	第1位		
	第2位		
	第3位		

Q15 貴事業所にとって必要とお考えの施策について、該当する番号すべてに○印をつけてください。

1. 立地支援体制の整備	2. 事業継続支援	3. 研究開発・設備投資支援
4. 販路開拓支援	5. 雇用・人材支援	6. 企業連携支援
7. 経営革新支援	8. 知的財産・ブランド化支援	9. 農商工連携支援
10. 海外進出支援	11. 観光支援	12. 子育て支援
13. 介護支援	14. 余暇環境の整備・支援	15. 通勤環境の支援
16. その他 ( )		

■産学連携について

Q16 貴事業所は、大学等と共同研究、相談など産学連携を実施していますか。該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 共同研究を実施している	2. 技術相談をしている	3. 何もしていない
4. その他 ( )		

Q17 今後大学等と産学連携を実施したいとお考えですか。該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 共同研究を実施したい	2. 技術相談をしたい	3. 考えたことがない
4. その他 ( )		

■自由意見欄

Q18 現在お困りになっていることはありますか。また、その解決において豊明市に期待することはありますか。

自由回答欄

Q19 豊明市の産業振興について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

自由回答欄

■ 貴事業所について

貴社名	部署名																																				
役職名	お名前																																				
電話番号	FAX番号																																				
e メールアドレス																																					
所在地(豊明市内事業所) :																																					
所在地(本社) :																																					
創業年 西暦_____年	豊明市内事業所の設立年 西暦_____年																																				
<p>豊明市内にある事業所の業種について、該当する番号すべてに○印をつけてください。</p> <p><b>【製造業】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 食料品製造業</td> <td>2. 飲食・たばこ・飼料製造業</td> <td>3. 繊維工業</td> </tr> <tr> <td>4. 衣服・その他繊維製品製造業</td> <td>5. 木材・木製品製造業</td> <td>6. 家具・装備品製造業</td> </tr> <tr> <td>7. パルプ・紙・紙加工品製造業</td> <td>8. 印刷・同関連業</td> <td>9. 化学工業</td> </tr> <tr> <td>10. 石油製品・石炭製品製造業</td> <td>11. プラスチック製品製造業</td> <td>12. ゴム製品製造業</td> </tr> <tr> <td>13. なめし革・同製品・毛皮製造業</td> <td>14. 窯業・土石製品製造業</td> <td>15. 非鉄金属製造業</td> </tr> <tr> <td>16. 金属製品製造業</td> <td>17. 一般機械器具製造業</td> <td>18. 電気機械器具製造業</td> </tr> <tr> <td>19. 情報通信気機械器具製造業</td> <td>20. 輸送用機械器具製造業</td> <td>21. 精密機械器具製造業</td> </tr> <tr> <td>22. その他製造業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【その他】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 建設業</td> <td>2. 情報通信業</td> <td>3. 運輸・郵便業</td> </tr> <tr> <td>4. 卸売業</td> <td>5. 小売業</td> <td>6. 飲食業</td> </tr> <tr> <td>7. 宿泊業</td> <td>8. 医療・福祉</td> <td>9. その他サービス業</td> </tr> <tr> <td>10. その他 (</td> <td></td> <td>)</td> </tr> </table>		1. 食料品製造業	2. 飲食・たばこ・飼料製造業	3. 繊維工業	4. 衣服・その他繊維製品製造業	5. 木材・木製品製造業	6. 家具・装備品製造業	7. パルプ・紙・紙加工品製造業	8. 印刷・同関連業	9. 化学工業	10. 石油製品・石炭製品製造業	11. プラスチック製品製造業	12. ゴム製品製造業	13. なめし革・同製品・毛皮製造業	14. 窯業・土石製品製造業	15. 非鉄金属製造業	16. 金属製品製造業	17. 一般機械器具製造業	18. 電気機械器具製造業	19. 情報通信気機械器具製造業	20. 輸送用機械器具製造業	21. 精密機械器具製造業	22. その他製造業			1. 建設業	2. 情報通信業	3. 運輸・郵便業	4. 卸売業	5. 小売業	6. 飲食業	7. 宿泊業	8. 医療・福祉	9. その他サービス業	10. その他 (		)
1. 食料品製造業	2. 飲食・たばこ・飼料製造業	3. 繊維工業																																			
4. 衣服・その他繊維製品製造業	5. 木材・木製品製造業	6. 家具・装備品製造業																																			
7. パルプ・紙・紙加工品製造業	8. 印刷・同関連業	9. 化学工業																																			
10. 石油製品・石炭製品製造業	11. プラスチック製品製造業	12. ゴム製品製造業																																			
13. なめし革・同製品・毛皮製造業	14. 窯業・土石製品製造業	15. 非鉄金属製造業																																			
16. 金属製品製造業	17. 一般機械器具製造業	18. 電気機械器具製造業																																			
19. 情報通信気機械器具製造業	20. 輸送用機械器具製造業	21. 精密機械器具製造業																																			
22. その他製造業																																					
1. 建設業	2. 情報通信業	3. 運輸・郵便業																																			
4. 卸売業	5. 小売業	6. 飲食業																																			
7. 宿泊業	8. 医療・福祉	9. その他サービス業																																			
10. その他 (		)																																			
<p>豊明市内にある事業所の従業者数をお教えてください(役員や非正規雇用者、あるいは事業主や無給家族従事者なども含む、働いている人すべての人数)。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 1～9人</td> <td>2. 10～29人</td> <td>3. 30～99人</td> </tr> <tr> <td>4. 100～299人</td> <td>5. 300～499人</td> <td>6. 500人以上</td> </tr> </table> <p>うち 女性従業者の割合 約 ( ) 割</p>		1. 1～9人	2. 10～29人	3. 30～99人	4. 100～299人	5. 300～499人	6. 500人以上																														
1. 1～9人	2. 10～29人	3. 30～99人																																			
4. 100～299人	5. 300～499人	6. 500人以上																																			

本アンケート調査へのご協力、誠にありがとうございました。  
 このアンケート票を返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。 よろしくお願ひ致します。



## 豊明市地方創生ヒアリング(金融機関)

団体名	市内に店舗のある金融機関様（９機関）
場所	豊明市役所 視聴覚室
実施日時	平成 27 年 8 月 7 日（金） 午後 1 時 30 分～
実施担当者	豊明市 小川、矢野 MURC 永柳

## ■住宅ローンの状況について

## ○個人ローンの状況について

- ・ マンションを売却して戸建てに買い換える人が増えているが、戸建ては緑区や西三河地域で建設している。
- ・ 豊明市内に開発用地がなく、住宅ローンは厳しい状況が続いている。
- ・ 豊明市内には物件が少ないため、近隣市町村で所得するケースが多い。
- ・ 市外からの転入によるローン需要は少ない。
- ・ 住宅用地が限定的であり、開発案件などの情報が入ってこない。ハウスメーカーもあまり積極的なエリアとみていない。

## ○アパートローンの状況について

- ・ アパートの建設物件自体が少なく、２～３階の小規模物件が多い。
- ・ 緑区の徳重が、地下鉄駅もあって利便性が高いため、豊明市では入居の心配があり、アパートの建設が減っている。
- ・ アパートローンは減少傾向にある。
- ・ 駅の近くは需要が高いが、開発用地がない。
- ・ 駅近くでも、ライオンズマンションが中京競馬場前駅の近くに建ったが売れていない。中京競馬場のイメージもあるようだ。子どもと一緒に遊べる施設として、もっとPRしてみてもどうか。

## ■豊明市の人口拡大に向けて

- ・ 名古屋市と西三河地域の間地点に豊明市は立地していることから、両地域のベッドタウンとして機能発揮する。託児所、保育園、医療費、学費支援など、共働き世帯、子育て世帯を積極的に支援する。
- ・ 小児医療の充実、保育サービスの充実など近隣市町村に負けない子どものサービスを充実させる。
- ・ リニア新幹線の開業を見越して、ベッドタウンとしての豊明市の魅力をアピールする。
- ・ 大規模店舗を核とした土地区画整理事業により、住宅用地を確保することが望まれる。
- ・ マンションは駅近が必須であり、駅から離れると売れなくなる。
- ・ 当地域はトヨタ関係者が多く、子どもに求める教育環境のレベルも高く、それに応えていく必要がある。
- ・ 団地が老朽化し、高齢化が進んでいることから、若年世帯への家賃補助やリノベーション

ョンなどの対応が求められる。

- ・ 藤田衛生保健大学を活用し、医療のまちをアピールする。
- ・ 駅からの交通アクセスが非常に悪いため、改善が必要である。
- ・ 市街化区域を拡大し、宅地供給を増やすことが重要である。
- ・ 人口拡大には働く場所が必要であり、大型商業施設や企業を誘致することが求められる。
- ・ 大規模開発では、高所得層にターゲットを絞ったコンセプトのある開発をする。

#### ■企業の設備投資の状況について

- ・ 中小製造業の設備投資需要は殆どみられないが、老朽化した機械の更新需要が少しずつ出始めている。
- ・ 消費税増税前の駆け込みで大規模な設備投資があったが、景気の先行きの見通しが立たないため、小規模な投資となっている。
- ・ 東京オリンピックやリニア名古屋駅周辺開発に関連する需要が出始めている。

#### ■豊明市の雇用拡大、企業誘致について

- ・ 名古屋、西三河の中間点にあり、立地、道路条件に恵まれているため、物流センターを誘致する。
- ・ 宿泊施設がなく、公共輸送手段もバスで時間的制約が多いことから、企業誘致に向けては周辺の基盤整備を進めていくことが求められる。
- ・ 農地の活用が重要である。企業が農業経営に進出する場合は、農地の集団化、企業誘致にあたっては、種地となる農地の再生・保全・運用が求められる。
- ・ 花き市場があるが、アクセスが悪い。流通の観点からも道路整備が必要である。また、道の駅などの集客施設の併設も重要である。
- ・ 中京競馬場のイメージはあまり良くないが、イベントで人を集めて魅力的なまちづくりをすると良い。
- ・ 藤田学園と提携して医療、人間ドック、研究で利用すると良い。
- ・ 藤田学園を核に独立開業する医師を支援する。
- ・ 不動産需要はあるが、物件情報が少ないため、不動産情報の提供が求められる。
- ・ 企業によって様々な雇用形態があるため、それらの情報交換の場があってもよい。
- ・ 国のものづくり補助金を契機に設備投資をする動きがみられる。補助金のアピールをすべき。
- ・ 豊明市内に用地がなく、市外へ移転するケースが見られる。開発許可の見直しやインター周辺の用地開発など、市内で事業継続しやすい環境づくりが求められる。
- ・ 小規模事業者が後継者問題で廃業するケースがみられ、対策が必要である。また、新規創業に対しても、利子補給などのバックアップが必要である。
- ・ 大型商業施設を誘致するには、長久手市のIKEAや東郷町のららぽーとなど、近隣自治体にはない施設を誘致しなければ差別化は図れない。
- ・ 教育は、名古屋市、岡崎市が良いと聞く。大規模開発で高所得者をターゲットに絞った開発をする。岡崎よりも近く、名古屋市よりも自然があつて環境が良い。

## 豊明市地方創生ヒアリング(企業経営者)

団体名	市内の企業経営者・幹部の皆様（６名）
場所	豊明市役所 会議室
実施日時	平成 27 年 8 月 20 日（木） 午後 1 時 30 分～
実施担当者	豊明市 小川、矢野 MURC 永柳、本橋

## ■豊明市の雇用環境について

## ○新卒採用

- ・ 新卒採用の人が集まりにくく、良い人材が採用できない。
- ・ 今いる人材の育成・教育でサポートして欲しい。
- ・ リーマンショック以降、控えていた新卒採用を数年前より再開したが、人が集まらず、計画的な採用が難しい。豊明市商工会には就職希望者を共同で募ってほしい。
- ・ 豊明市内からの応募がない。市内にどんな企業があり、どのような仕事をしているか発信が必要である。
- ・ ターゲットを絞った上で商工会や市による企業フェア等を開催すると効果があるかもしれない。
- ・ 一企業から学校等に紹介を依頼しても人が集まらない。市内企業全体として一定数の斡旋をしてほしい。

## ○中途採用

- ・ 中途採用は良い人材が集まる傾向にある。

## ○居住環境等

- ・ 鉄道駅が 3 箇所あるが、いずれも市内へのアクセスに問題がある。
- ・ 市外に居住する社員が多いため、家賃補助など市外に住む社員が豊明市内に転居するようなインセンティブがほしい。
- ・ 豊明市には商業施設が少なく、家賃も名古屋市内とあまり差がない。豊明居住に対する「特典付」雇用支援策がほしい。
- ・ 中国から実習生を受け入れているが、市内に適切な賃貸物件がなく、刈谷から自転車通勤している。住む場所の提供をお願いしたい。

## ■販路開拓や技術開発の環境づくりについて

- ・ 商工会が技術開発ニーズなどを取りまとめて紹介してほしい。また、1社では対応できないニーズを情報共有できれば、他社と共同で問題解決できる可能性がある。
- ・ 豊明市や商工会から、開発力のあるメーカー等とのネットワークづくりやニーズについてヒントをいただけるとありがたい。
- ・ 国の補助金、助成金の情報提供をして欲しい。

## ■操業環境について

- ・ 交通アクセスが悪く、道が狭いところがある。
- ・ 用途地域により工場の拡張や新しい設備の導入が難しいので、用途変更をお願いしたい。
- ・ 地元の中学生の職場体験を受け入れたが、教育の場で地元企業についてしっかり教えてほしい。
- ・ 駅からのアクセスが悪いため、コミュニティバス等を上手く活用してほしい。
- ・ 商業施設が少なく、特にお客さんを接待に連れて行くところがない。
- ・ 市の業務委託を出来るだけ地元業者でやって頂きたい。地元経済の活性化に繋がる。

## 豊明市地方創生ヒアリング(子育て、女性活躍)

団体名	栄保育園 ご父兄様
応対者	8名の母親が参加
場所	栄保育園内
実施日時	平成27年8月19日(水) 午前9時30分～
実施担当者	豊明市 小川、矢野 MURC 永柳、河合

## 質問1 子育て環境について

- 豊明市で子育てを通じて、良かった点と困った点をそれぞれお聞かせください。  
○どのような子育て支援サービスがあれば良いと思いますか。

## 【良い点】

- ・保育園が充実しており入園しやすい。
- ・保育士がしっかりしているので、安心して子どもを預けることができる。
- ・赤ちゃん訪問は、いろいろな情報が把握でき、相談もできて良い。
- ・図書館栄分室など身近な図書館があり使いやすい。

## 【困った点】

## (病後児保育)

- ・病後児保育で預ける施設がない。派遣型病児保育サービスは金額が高く使いにくい。ファミリーサポートセンターも手続き面など使い勝手が悪いと感じている。たとえば、高齢者の方に協力してもらい、助け合いができるようなネットワークづくりが進むとよい。

## (育休時の退園)

- ・子どもが3歳児クラスまでの場合、次子の育休に入った場合には8週間で退園しなければならない。子どもの負担が大きく、家族計画にも影響がある。

## (施設面)

- ・ゼロ歳児保育の受入施設が限られているので、数を増やしてほしい。
- ・図書館の絵本が少ない。また痛んでいる本が多い。
- ・子ども連れの利用しやすいスーパーマーケット(エレベーターやベビーカーが充実していない)がない。子ども連れの母親にやさしいスーパーマーケットにしてほしい。
- ・落合公園など公園の遊具が古い。トイレもきたなく、紙がない。
- ・落合公園のなかの植木・街路樹の木の根が成長して地面から盛り上がり、子どもが歩くと危ないところが多い。また公園内で子どもが遊ぶ広いスペースがない。
- ・大蔵池公園は、池に柵のないところがある。また遊具がない。
- ・小さな公園が多く、人通りも少ない公園になっている。大府のみどり公園のような大きな公園がほしい。

## 【期待する子育て支援サービス】

- ・児童クラブが小学3年生までなので、小学6年生まで拡大してほしい。
- ・予防接種の種類によっては、近隣自治体と異なり有料のものがある。近隣と水準を合わせてほしい。
- ・1ヶ月検診での母親の受診料を無料にしてほしい。(名古屋市は無料)

## 質問2 仕事と子育ての両立について

- 仕事と子育ての両立について、困った点をお聞かせください。
- 仕事と子育ての両立ができる環境づくりのため、豊明市に期待することはありますか。

### (保育園)

- ・年度途中の入園が認められず、4月入園のみである。育休1年で復帰しようとしても延長せざるを得ず、また育児休業給付金も1年で終わってしまうため、経済的に苦しくなってくる。
- ・入園の条件が4月1日からの母親の職場復帰である。一方、入園直後はならし保育期間であり、保育時間が短いため、時短や有休などで復帰直後に休まざるを得ず、職場に対して気が引ける。復帰1ヶ月前からならし保育の受入をするなど条件を緩和してほしい。
- ・通勤時間が早い場合もあり、子どもを預かってもらえる時間を朝7時半よりも少し早くしてほしい。
- ・保育時間が4月より短くなり、7:30~18:30となった。これまで余裕をもって迎えに行けたが、終業後の着替えなどを含めると、迎えに行くのがぎりぎりになっているので、もとの時間帯に戻してほしい。
- ・通勤時間が早い場合もあり、子どもを預かってもらえる時間を朝7時半よりも少し早くしてほしい。
- ・小売店舗、サービス業の職場は、かならずしも土日が休みではない。名古屋市のように学生アルバイトが確保できる地域は、平日は女性パートが、休日は学生といったシフトができるが、豊明市では学生アルバイトが少ないので、どうしても土日勤務をお願いされることになる。そうした場合、豊明市にやってみたい勤め先があっても働けない。週のなかで弾力的に通園日を選べるような保育園があれば利用したい。

### (子育て支援センター)

- ・駅前に支援センターがあるときは使わせてもらったが、内山保育園にセンターが移動したため使いにくくなった。
- ・パルネスのなかに子育て支援センターがあるとよい。

### (児童館)

- ・児童館の夏休みのお弁当が予約制になっているが、柔軟な対応をしてほしい。
- ・児童館が小学校から離れているため、子どもの移動が不安である。児童館を学校の隣地に設けてもらうか、名古屋市のトワイライトスクールのように校舎内で放課後預かってもらえるとうちが安心である。

### (その他)

- ・子どもを、終日でなく預かってもらえるような施設があればよい。
- ・保育園と病院が連携して、看護師が常駐してもらえると、保育園で急に発熱した場合などでも安心して子どもを預けることができる。
- ・子どもが順番に風邪を引いてしまった場合、近くに親族がいないと2週間近く会社を休まなければならないため、病中病後児保育の充実が望まれる。
- ・親に預けて働きにいける環境が整うことが望ましいひとつの姿である。豊明市では2世代居住できるような住宅がないので、市外にでるといふ方もいるのではないか。

(男性の子育て支援)

- ・イクメン講座等を充実させてほしい。土日に参加できるイベントを増やして、料理、家事等の面で男性の気づきを与えるような機会をふやしてほしい。

### 質問3 女性が活躍できる環境づくりについて

○女性が活躍できる会社は、どのような会社だと思いますか。

(どのような会社が豊明市にあれば良いと思いますか)

○女性が活躍できる会社が多くなるために、豊明市に期待することはありますか。

#### 【期待する会社像】

- ・社内託児所があるとよい。例えば、土日祝日に出勤する必要がある場合や夏休みなどの長期休暇の場合に子どもを預かってくれる場所があるとよい。
- ・職場の意識改革が重要である。育休や時短制度などが整っていても、職場の同僚に遠慮して取得率が低い状況にある。
- ・残業がない会社。突然残業を命じられると、子どものお迎えの時間をずらしたり、誰かにお願いする必要が生じるため、定時で帰宅できる会社が良い。
- ・ファミリーサポートのようなサービスを利用せずに済む会社。
- ・育児休暇給付金の支給が終了しても、育児休暇中は代替となる補助を行う会社。

#### 【市への期待】

- ・育児中、お母さんが職場に迷惑をかけることに対する心理的な負担感を軽くするため、例えば行政から職場に対して通達を出すなど、子育てに対する理解を深めるような支援をお願いしたい。
- ・ライフワークバランスについて、企業の意識づくりをもっと進めてほしい、勤労会館や商工会議所でのもっとセミナーを開いてほしい。
- ・男性が休日をとりやすい環境づくりが必要。
- ・子育て世帯への取組を先進的に行っている企業を表彰して、他の企業の取組を促していくことが求められる。
- ・働きたい人は多くいると思うが、働くと子育てが疎かになると思って働けない。子育て支援に理解のある働き場だとわかっていれば求職もしやすい。そういった子育てに理解のある企業を紹介してほしい。
- ・働き先の周りの社員が子育てに対する理解を持ってもらうことが必要。職場のなかには子どもを持っていない人も多く、子育てが大変であることもわからない。職場で母親教室が開かれれば、そうした人への理解も広がるので、そういった職場への直接的な取組みを支援してほしい。



## 豊明市地方創生ヒアリング(次世代高校生)

団体名	学校法人 名古屋石田学園 星城高等学校
応対者	7名の高校生が参加
場所	星城高等学校
実施日時	平成27年8月17日(月) 午前11時30分～
実施担当者	豊明市 小川、矢野 MURC 永柳、本橋

## ① 将来の自分と豊明市の関係について

- ・自分が大人(20歳代)になった時を考えて、どのような職場がほしいか、どのような住まいがほしいか。
- ・豊明市で、それが実現できるのか、できないのか。イメージできない場合は、どうしてイメージできないのか。

## ○職場

- ・看護師になりたい。藤田の大きな病院がある。小さな病院が密集している
- ・保育師になりたい。教師になりたい
- ・ダンスを教える立場になりたい
- ・会社をもっと建設してみる
- ・心理カウンセラーとして働く
- ・動物を育てる
- ・心理カウンセラーとして働く
- ・自分の夢は美容師になることで、大学に行ったり、資格を取るには豊明市にいたら無理だと思う

## ○ない職場 クリエーター・デザイナー、大きな職場

- ・トヨタに関わる工場を増やしてみても…
- ・豊明市にはIT関係やコンピュータ関連の企業が少ない
- ・デザイナーになりたい。デザイン科のある学校もないし、豊明より大きな都市に出た方がデザインも広がる

## ○住まいなど

- ・田んぼが多くて田舎過ぎるから、都会に住んでみたい
- ・たくさんお店のある場所に住む
- ・子どもにバスケットを教える

- ・畑を持つ

## ②豊明市の課題について

- ・豊明市の働く場、住む場について、どのようなことが課題なのか。
- ・どういった働く場や住まいがあればいいか。

### ○駅からの交通が悪い

- ・住むなら電車の中がいい。駅の周辺に更にマンションを建てる
- ・もっとバスが止まる場所を増やす
- ・前後駅は便利だが、駅の遠い地域が多いからバスなどの交通
- ・他県や県内から多くの人があるような施設や名所などがない

### ○団地に若い人が住みづらい

- ・団地をもっと広い部屋に。お洒落に
- ・団地に若い人がいない
- ・若い人を団地に入れる
- ・団地の無機質なイメージを変える
- ・二世帯→一世帯に変えてみる

### ○駅前

- ・前後駅という便利な駅があるので、豊明市に住みながら様々なところに仕事に行くことができる
- ・駅前が便利
- ・もっと人を集めたい（駅などで）
- ・前後駅をもっと活性化させる…もう土地がない…
- ・グループで勉強できる場所がほしい。（今の駅前ショッピングセンターのフードコートは追い出されないのも使いやすい）。
- ・サイゼリアがあれば…、スターバックスがあれば
- ・大きな本屋がほしい、カラオケがほしい
- ・駅前ショッピングセンターは、服やゲームがあるけど、小さくて面白くない、プリクラ機がない
- ・雑貨屋がほしい

### ○駅

- ・駅のシェルターが少ないので、雨の日になると人でごった返して、行き来にくい。
- ・藤田学園の学生さんなどが、名鉄バスに乗る時間は、駅が大変混雑している

- ・駅が便利になっても豊明市には行くところがない

#### ○職場

- ・豊明市にどんな企業があるか知らない。看板を大きくみせるなど工夫してほしい。
- ・地元の職場をもっと知る機会を増やす

#### ○活気

- ・明るいまち。便利なまち。人がたくさんいる雰囲気がよいまち。
- ・交流館等やプールなど、たまり場がほしい
- ・家から駅が遠くて出かけたくなる
- ・交通の便をよくする
- ・遊べるところが少ない→人が集中する
- ・遊べる場所を作る
- ・立派な学校が多いので、その周辺に子どもの遊べる場所がほしい

#### ○バランスが良い町ということを PR してみては

- ・都会に行けて住みやすいまち
- ・自然とまちのバランスがよい
- ・おだやか
- ・一方でイメージがないことが課題である

#### ○その他

- ・名古屋に近い。友達がいる
- ・買い物のできる大きな施設がほしい。・イオンかアウトレットを作る
- ・ペットと一緒に楽しめる店がほしい
- ・イオンかアウトレットを作る
- ・老人の集まる場所はある



## 豊明市地方創生ヒアリング(商業者)

事業者名	生活協同組合 コープあいち とよあけ店
応対者	店長 鈴木 真澄
場所	パルネス内 テナント会議室
実施日時	平成27年8月19日(水) 午後1時30分～
実施担当者	豊明市 小川、MURC 永柳

## 1. コープあいち とよあけ店の特徴

- ・土曜や日曜は、組合員が多いものの、平日のとよあけ店は、未組合員の来店が多く、レジ数で見ると3～4割が未組合員である。他のコーポ店舗は、組合員の割合がもっと大きい。旧店舗(杓掛店)では、未組合員の売り上げは限定的であったので、駅前に立地したことで業績は良くなった。
- ・コーポでは宅配も行っており、団地の利用者も多い。駅前店での注文や商品引き取りができることで宅配事業との関係も良い。

## 2. 駅前スーパーの課題と利便性向上について

- ・パルネス全体でのテナントをもっと魅力的なものにしていく必要がある。高齢者向けの婦人服が多く、若い人向けのテナントが少ない。シニア層が多いコーポの購買層とテナント顧客の年代が合致している状況にもあるが、将来的にみれば、現状のテナントであれば、売上は減っていくのではないかと。
- ・イベントは、地元の夏祭りへの協賛以外には特に行っていない。
- ・エレベーターがなく、子供用カートがスーパー以外には用意されていないことから、子連れの来店者には使いにくいショッピングセンターだと思われる。多目的室も狭い。
- ・現在の営業時間は、パルネスの営業時間とあわせて、夜8時までであるが、夜9時までであれば商売できる可能性があると思われる。来店者のピーク時間は午後4時ぐらいであるが、駅前立地であるため、帰宅途中の買い物も多く、午後9時までであれば試してみる価値がある。パルネスのなかでコーポ店舗のみ夜9時までの営業となった場合は、動線やセキュリティ等で検討が必要であろう。

## 3. 豊明市の地元製品の取り扱いについて

- ・安定した供給をいただけるのであれば、取り扱うことは可能である。阿智村の生産者と連携して、火曜日と金曜日は、阿智村の生鮮品を販売している。
- ・贈答品(メロンなど)であれば、予約等もでき、売れ残りリスクもないので、地元農産物を扱うことができるのではないかと。
- ・ただし、コーポあいちとして商品仕入れを行っているので、店長の権限でできる範囲は限られている。実際に販売するとなれば調整が必要である。



# 豊門市人口ビジョン 骨子案

## 2. 人口動向を踏まえた豊門市の強みと課題

**目的**  
「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国・愛知県の「長期ビジョン」を勘案しつつ、目指すべき将来の方向や2060年までの人口の将来展望を提示する。

### 1. 豊門市人口の現状分析

#### 〈総人口〉

- ・総人口は、1970年代に大きく増加。1985年以降は増加が鈍化。2005年以降は増加が鈍まいとなり、2010年の69,745人(国勢調査より)をピークに、2015年9月現在68,602人(住民基本台帳より)となっている。
- ・人口の高齢化が進み、2010年国勢調査の65歳以上人口割合は20.5%。(愛知県は20.3)。愛知県下において、高い伸び率を示す。
- ・豊明団地では、経済成長期に転入した団塊世代の高齢化が進展しており、今後、後期高齢者の増加が見込まれている。

#### 〈合計特殊出生率〉

- ・豊門市1.42であり、全国1.38を上回る水準。但し、愛知県では1.51、また隣接市区では、名古屋市緑区1.60、大府市1.73、刈谷市1.77と高い出生率になっており、本市との格差がみられる(ここでは、自治体比較を行うため、人口動態推計・市町村別統計；2008年～2012年ベース推定値を用いた)。

#### 〈自然増減〉

- ・自然増を維持しているものの、2008年以降大きく減少し2014年は35人、10年前の2004年は245人。

#### 〈社会増減〉

- ・戸建て分譲のあった2013年を除き、2004年以降、連続でマイナス。2014年は158人のマイナス。
- ・隣接市区(名古屋市緑区、東郷町、大府市など)が社会増を示している状況とは対照的。
- ・年代別移動率(自然増減影響を排除した年代移動時の社会移動率)をみると、高校生、大学生、就職等に流入がみられるものの、マイホーム取得時の流出が大きいことが特徴。

#### 〈転出入先と転出理由〉

- ・転出先は、名古屋市、大府市、東郷町等の隣接市町。また、転入元は、豊田市、刈谷市等の西三河地区。また、首都圏への転出(大学入学、就職など)も多くなっている。
- ・転出理由(転出者アンケート結果から)は、住宅取得が最も大きな要因。

#### 〈昼夜間人口〉

- ・周辺自治体から高校生・大学生が流入している状況がみられるが、生産年齢人口区分のほとんどの世代が流出。
- ・一方、名古屋市、刈谷市からの流入人口も多く、周辺に居住し通勤している人も多い。

#### 〈基本推計〉

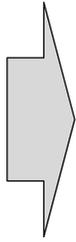
- ・総合計画にて実施した基本推計(現状推移ベース)では、2020年以降、人口減少となり20年後の2035年は、63,400人、45年後の2060年は50,500人まで人口減少が進むものと予測された。

	強み	課題
自然増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○愛知県及び隣接市区は、全国平均を大きく上回る合計特殊出生率を確保しており、豊門市においても出産や子育て環境等の整備により、合計特殊出生率をあげる余地が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1970年代に流入した団塊世代の高齢化、若いファミリー層の市外転出等により、今後、人口減少が見込まれる。</li> <li>○団地では、後期高齢者の増加が見込まれ、超高齢社会が到来。</li> <li>○隣接地区と比べ、合計特殊出生率が低く、安定した雇用の促進が課題。</li> </ul>
社会増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校、大学が集積し、周辺からの通学流入がみられる。</li> <li>○豊田市、刈谷市からの転入が多く、周辺の成長都市の住宅地として可能性が見込まれる。</li> <li>○戸建て分譲があった年次は、社会増加となっており、良い物件があれば、転入増が見込まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅取得を契機とした転出が多くなくなっており、若いファミリー世代が減少している。周辺の社会増の状況とは対照的であり、新規住宅供給が課題。</li> <li>※5階建、エレベーターのない豊明団地は、若いファミリー層の受け皿になりにくい状況。</li> <li>○大学入学、就職等の時点での首都圏への転出が多い。</li> </ul>
地域構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名古屋市と西三河地区の間であり、成長都市に囲まれている。リニア新幹線の供用に伴う名古屋駅のビジネス集積の高まりにあわせた活性化が期待できる。</li> <li>○通勤環境に恵まれており、周辺市町間での通勤・通学が多い。</li> <li>○大学や医療機関が充実している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街化区域内の人口密度が高く、新たな住宅供給の余力がない</li> <li>○雇用吸収の拠点となる産業集積が乏しい</li> <li>○都市イメージの発信力が弱い</li> <li>○都市としての拠点がはっきりしない</li> </ul>



### 3. めざすべき方向性と人口の将来展望

- 若いファミリー世代を中心に、住宅取得を契機とする周辺市町への転出が顕微している。現状が推移すれば、人口減少が一層進むこととなるため、この流れを是正する必要がある。
- リニア新幹線供用（目標 2027 年）による名古屋駅再開発、西三河地域のものづくり集積の高度化と同期した人口増大の取組みを進める必要がある。



#### ◆人の流れを変える 人口の流出に歯止めをかけ、流入を目指す

- 名古屋市や西三河地域の諸都市に近接する恵まれた立地環境を活かし、若い世代に受け入れられる魅力的な住宅供給を図ることで人口流出を抑制するとともに、社会増を図っていくことが急務。
- 近隣から豊明市内の職場に通動している従業員の市内居住を進めていくことが必要。

#### ◆出生率を向上させる 安心して出産ができ、子育てのできる環境、社会づくりを進める

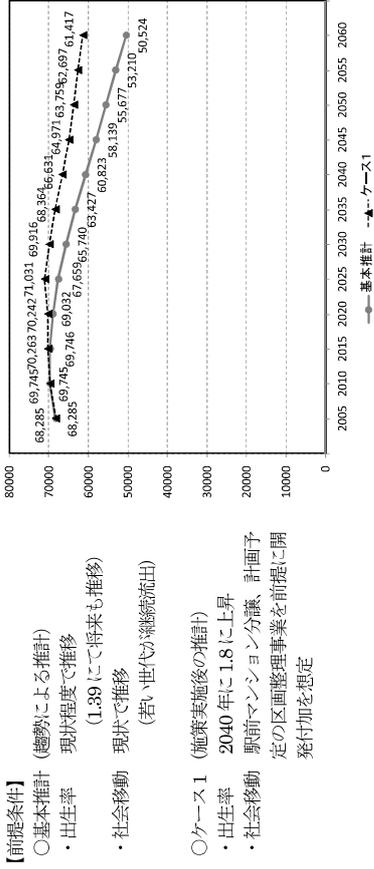
- 国の「長期ビジョン」では、若い世代の結婚・子育ての希望が実現すれば、わが国の出生率は 1.8 程度まで向上するとしており、豊明市においても、1.8 を念頭に置きつつ、若い世代の出産、子育て環境の充実を図っていくことが必要。
- 女性が安心して出産ができ、子育てのできる社会づくりに向けた取り組みを、行政と企業が一体取り組む必要がある。

#### ◆活力ある地域をつくる 選ばれたまちになるために、まちの魅力を高める

- 若い子育て世代と、高齢者の双方にとって、魅力的で、誇りや生き甲斐につながる教育環境を提供し、「学びのまち」としていくことが必要。
- 次世代人材の育成等の地域産業の活性化、次世代自動車産業・ヘルスケア産業等の育成等を図り、持続的な雇用機会の確保と、若者・女性にとって新たな職場づくりを進めることが必要。
- 住みたい都市、住み続けたい都市とするため、駅前等の生活利便施設の充実とともに、都市ブランド・都市イメージの拡充を図り、まちの魅力を発信していくことが必要。

### 【豊明市人口の長期的な見通し】

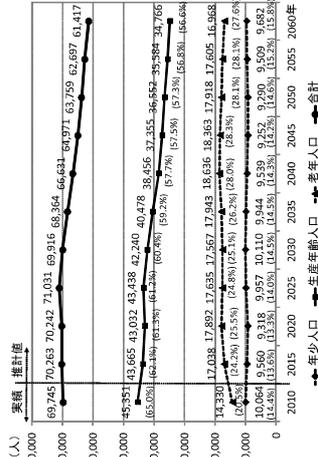
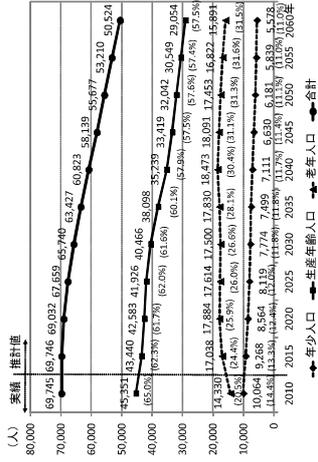
豊明市 将来人口推計結果



※ケース1が実施できれば、2025年に71,000人が確保でき、2060年も61,000人を確保できる。また、人口ピラミッドも安定的なものに推移し、持続的な地域運営が可能になる。

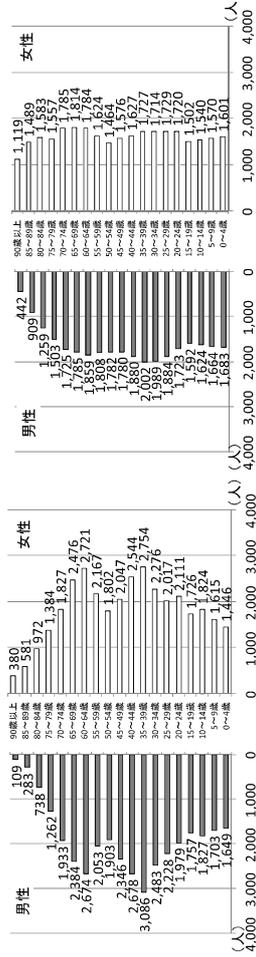
基本推計（趨勢による推計）

ケース1（施策実施後の推計）



現状（平成22年）

将来（ケース1/施策実施後の推計）



# 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 骨子案

## 人口ビジョン

### 人口減少問題の克服

#### ◆人の流れを変える

人口の流出に歯止めをかけ、流入を目指す。

#### 若い世代の

#### 人口流出をストツブ

#### ◆出生率を向上させる

出産・子育て環境を整え、出生率を向上させる。

2040年までに1.8へ上昇

#### ◆活力ある地域をつくる

選ばれるまちになるために、まちの魅力を高める。

#### 学びのまち

#### 地域産業の活性化

#### にぎわいの創出

## 総合戦略（平成27年度～平成31年度5カ年）

①地方における安定した雇用を創出する

### しごと活力創生プロジェクト

若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる。

【考えられるKPIの例】

- ・若者の雇用創出数
- ・新規起業数
- ・企業誘致件数

②地方への新しい人の流れをつくる

### 住みたいまち創生プロジェクト

誰もが訪れたい、住みたいと思えるまちをつくる。

【考えられるKPIの例】

- ・観光交流客数
- ・転出者数
- ・転入者数
- ・新築住宅の着工件数

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

### 子どもの学びと育ち創生プロジェクト

教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる。

【考えられるKPIの例】

- ・教育環境の満足度
- ・子育て女性の就業率
- ・保育園待機児童数
- ・男性の育児休業取得者数

④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。

### 暮らしの魅力創生プロジェクト

医療環境、公共交通など魅力ある暮らしの充実したまちをつくる。

【考えられるKPIの例】

- ・犯罪発生件数
- ・医療環境の満足度
- ・一年間に防災訓練に参加した団体の数
- ・公共交通の満足度

- ・商品又は役務の開発及び販路を開拓するための支援
- ・事業の承継及び維持継続の支援
- ・創業及び第二創業の促進
- ・雇用の促進並びに職業能力の開発及び向上
- ・企業誘致
- ・融資制度及び信用補完事業の充実
- ・地域の商店、経済の活性化

- ・移住の促進
- ・空き家対策
- ・新市街地開発の推進
- ・史跡を活かしたまちづくり事業
- ・地域のブランディング事業

- ・妊娠前から切れ目のない子育て支援（ネウボラ）
- ・学習機会の充実
- ・学びのための環境の充実
- ・認定こども園、民間保育園の支援強化
- ・小学生の預かりの充実
- ・病後時保育
- ・復職支援
- ・就労支援
- ・婚活支援

- ・豊明市、藤田保大、UR都市機構などとの医療介護連携
- ・地域包括支援センター事業の充実
- ・市内の地域交通の強化
- ・防災防犯を基点とした地域づくり



## ＜ 事業提案書 ＞

別紙、「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 骨子案」をご覧ください、各委員様の団体が主体者となり得る事業で、基本方針、施策に関連する、豊明市の創生につながるような事業提案がございましたら、下記の様式に従って記入して下さい。  
(任意様式でも構いませんが、各項目の内容を明記してください。)

委員名 \_\_\_\_\_

<b>1：事業名</b>
<b>2：関連する基本方針（関連するものを○で囲んで下さい(複数可)）</b>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>①しごと活力創生プロジェクト</span> <span>②住みたいまち創生プロジェクト</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>③子どもの学びと育ち創生プロジェクト</span> <span>④暮らしの魅力創生プロジェクト</span> </div>
<b>3：事業の「(1)ターゲット」及び「(2)目標（K P I※）」</b> 誰を(何を)、どのような状態にすることを目標(K P I※)にするのか記載して下さい。 (※K P I(重要業績評価指標)=事業実施による成果指標(アウトカム))
<p>(1)ターゲット（誰を、何を）</p> <p>(2)目標(K P I)</p>
<b>4：事業概要</b>
<b>5：事業実施に係る概算費用（※分かれば記載してください）</b>
<b>6：その他に、事業実施の際に連携し得る主体者を全て記入して下さい</b>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>・</span> <span>・</span> </div>

【 提出期限：平成 27 年 10 月 16 日(金) 】

提出先: 豊明市役所企画政策課 (担当 小川、矢野)	T E L : 0562-92-8318    F A X : 0562-92-1141 E メール: <a href="mailto:kikaku@city.toyoake.lg.jp">kikaku@city.toyoake.lg.jp</a>
-------------------------------	---

